教職員研修計画

2025

３月確定版

岐阜県総合教育センター

GifuPrefecturalGeneralEducationCenter

目 次

ページ

1 研修コンセプト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2 教職員研修計画2025の主な構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

3 令和7年度研修体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

4 校長及び教員としての資質の向上に関する指標 ・・・・・・・ 3

5 キャリアステージを踏まえた研修の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

6 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励と振り返りの流れ
（教職員の1年間の見通し例）・・・・・ 13

7 研修講座受講に当たって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

8 幼稚園、こども園、私立学校等の研修申込から研修修了について・・・・・・ 18

9 研修講座一覧 ・・・ 19

10 おすすめ講座 ・・・ 53

- ■ 重点講話
- ■ スクールリーダーアラカルト研修
- ■ 「学習指導」に関わる研修プログラムの案内（小・中・義）
- ■ 授業改善講座校内研修（高・特）
- ■ 特別支援学校教員の専門性向上講座
- ■ DXやICT活用に係る研修講座
- ■ スクールリーダー養成研修
- ■ 各課が主催する研修講座

11 総合教育センターからのお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

- ■ 中堅教諭等資質向上研修（小・中・義）
- ■ 校内研修の活性化に向けて
- ■ 研修主事サポート出前講座（小・中・義）
- ■ 自ら学び続ける教職員研修支援事業
- ■ 図書・教育資料室の利用について
- ■ 教職員のための教育支援相談
- ■ 岐阜県総合教育センター　見取図
- ■ 岐阜県総合教育センター　駐車場
- ■ 参考資料の関係リンク先

12 「新たな教師の学び」に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72

1　研修コンセプト

岐阜県教育を通して「目指す人間像」

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

岐阜県が求める教師像

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師【高い倫理観・使命感】
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師　【確かな専門性】
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師　【学び続ける向上心】

目指す姿　自ら学び続ける教職員

研修の基本方針

指標に基づき、教職員が自らキャリアアップを図る研修の充実
－ 岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標と研修履歴の活用 －

研修に関する重点

①新たな研修プログラムによる自己課題の明確化と主体性の向上
②今日的な教育課題に関する講座の充実による対応力の向上
③個別最適な学びと協働的な学びによる実践的指導力の向上

2　教職員研修計画2025の主な構成

■ 「岐阜県『教員のキャリアステージ』における資質の向上に関する指標」及び「第4次岐阜県教育振興基本計画」に基づいた研修体系となっています。
■ 「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律（令和4年法律第40号）」を受けて、指標に加え、「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励について【岐阜県教育委員会版】」を踏まえた内容となっています。
■ PDCAサイクルで各種研修の改善を図り、新たな研修観に基づいた研修の充実を図っています。
■ 今日的な教育課題への対応力を高めるため、喫緊の課題や、「令和の日本型教育」の構築を目指した教育に関する講座の充実を図っています。
■ 日々の実践につながる指導力の向上を図るため、ねらいや内容に適した個別最適な学びと協働的な学びによる研修を実施するとともに、校内外における日常的な自らの学びを支援します。

3　令和7年度研修体系図

※ 講座番号は、６桁中の上４桁を表示

方針と重点	【目指す姿】	自ら学び続ける教職員
	【研修の基本方針】	指標に基づき、教職員が自らキャリアアップを図る研修の充実 －岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標と研修履歴の活用－
	【研修に関する重点】	① 新たな研修プログラムによる自己課題の明確化と主体性の向上 ② 今日的な教育課題に関する講座の充実による対応力の向上 ③ 個別最適な学びと協働的な学びによる実践的指導力の向上

岐阜県教員のキャリアステージ	基礎形成期	資質向上期	資質充実期	資質貢献期
	意欲的に実践し、教職の基礎を固める。	組織の中核として、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	組織管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。

基本研修

【講座番号】1001-1039

経験年数に応じて、必要な資質能力の向上を図る。

- 経年研修
  - 初任者研修
  - 新規採用研修
  - 常勤講師研修
  - 養護助教諭研修
  - 事務職員研修
  - 新任学校司書研修
  - 基礎形成研修（2～5年目）
  - 6年目研修
  - 中堅教諭等資質向上研修（7～12年目）
- 職務研修
  - 校長研修、新任校長研修
  - 新任副校長研修、新任教頭研修
  - 新任部主事研修
  - 新任主幹教諭研修
  - 新任指導教諭研修
  - 新任3主任研修、研修主事研修

【講座番号】1101-1130

職務に応じた研修や学校悉皆で担当者への研修を行い、各校の課題への対応力の向上を図る。

- 県立学校ICT活用担当者研修
- 県立学校情報管理担当者研修、県立学校はじめての情報管理担当者研修
- 校務支援システム（e-教務）担当者研修
- 特別支援学級・言語通級指導教室・特別支援学校新任担当教員研修
- 特別支援学校介護員・介護専門職・寄宿舎指導員研修
- 市町村立小中学校等事務職員主任・主査・課長補佐研修
- 学校司書エリアマネージャー研修（高）、事例を通して学ぶいじめ事案対応

選択研修

【講座番号】2000番台

教科、領域等の指導に必要な資質能力の向上を図る。

重点講話 2001-2004	①DX・情報社会　②教育課程　③人権教育　④特別支援教育 ※ 経験年数・校種など幅広い教員を対象とし、今日的な教育課題に焦点を当てた研修。校内研修でも活用可！
管理職向け選択研修（管理職アラカルト） 2011-2019	※ 管理職に必要な資質能力向上を目指した研修。リスクマネジメント、業務改善、学校経営、生徒指導、人材育成、教育課程、ICT活用、危機管理・わいせつ対応　等
学習指導 2101-2186	※ 学習指導、評価、教科等の専門性や指導力向上に関する研修。幼児教育指導力向上講座、教科指導基礎力向上講座、授業改善講座、道徳教育、総合的な学習・探究の時間　他
生徒指導 2201-2219	※ 生徒指導、教育相談、キャリア教育等に関する研修。学級・HR経営講座、教育相談基礎・実技講座、児童生徒理解講座、外国人児童生徒への指導力向上講座　他
経営・分掌 2301-2324	※ カリキュラム・マネジメント、人権教育、危機管理等に関する研修。メンタリング、ファシリテーション講座、防災教育スペシャリスト養成研修　他
特別な配慮や支援を必要とする幼児児童生徒への対応 2401-2425	※ 特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒への支援に関する研修。ユニバーサルデザインの授業づくり、発達障がいのある幼児児童生徒への支援、重複障がい学級の指導　他
ICTや情報・教育データの利活用 2501-2520	※ DXによる教育の情報化の推進やICT活用に関する研修。教育データの活用、ICT活用実践研修、放課後学べる！ミニICT講座、AIの教育における活用　他
2601　育児休業からの復帰支援のための研修	

連携・各課

【講座番号】3000番台～

課題に応じて、資質能力の向上を図る。

3001-3003　スクールリーダー養成研修（岐阜大学教職大学院との連携）
3101-3108　県博物館、県美術館、サイエンスワールド等の文化施設での体験研修

40** 義務教育課、41** 高校教育課、42** 特別支援教育課
43** 体育健康課、44** 学校安全課

その他

- □【派遣研修】国・県・民間・大学等派遣研修、国外大学等プログラム
- □ OJT　※ 校内研修の活性化の支援を行います。
- □ 自ら学び続ける教職員研修支援事業　※ 校内外で学び続ける自主的な研究や活動に対して助成を行います。

4　校長及び教員としての資質の向上に関する指標

校長（管理職）の指標

項　目	指　　標	求められる資質や能力等の具体例	関係法令等
経営ビジョン	○確かな教育理念と経営ビジョンをもち、保護者・地域に信頼される学校経営ができる。	□憲法及び教育基本法の理念に基づき、教育の目的の実現のために、組織の経営責任者として、使命感と責任感、子どもへの深い愛情をもって学校経営にあたることができる。 □国及び県（及び市町村）の教育振興基本計画や教育方針等を踏まえ、社会に求められる教育の変化を見据え、学校の教育目標の設定とその具現のための学校経営ビジョンを教職員や児童生徒に具体的に示すことができる。 □学校運営協議会制度や学校評議員制度を活用し、学校運営に保護者や地域の声を反映させるとともに、学校経営計画や自校評価、学校関係者評価等の公表により学校の説明責任を果たし、保護者や地域と信頼関係を築くことができる。 □常に自ら研究と修養に励み、管理職としての資質・能力を磨くとともに、社会の変化や国・県（及び市町村）の動向に注視しながら学校経営に必要な知識と見識を高め、組織の長としての自覚をもち、責任をもって学校経営に取り組むことができる。	○教育基本法 ○学校教育法 ○学習指導要領 ○教育振興基本計画 ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律
1 労務管理	○「子どものために」という教職員の熱意と労務管理を両立し、働きがいのある職場をつくり出すことができる。	□労働安全衛生法（労働基準法）に基づき、産業医との連携のもと、常に教職員の勤務時間の管理と心身の健康に配慮しながら、過重な業務や心理的な負荷のないよう、適切な労務管理を行うことができる。 □「チーム学校」として効果的・効率的な業務遂行のための基本方針を明示し、業務の仕分け、行事の精選やスリム化、組織の見直しや再編等、教職員の働き方改革のための組織マネジメントができる。 □職場環境を悪化させるハラスメントについて、法令に従い、雇用管理上の措置義務を果たし、ハラスメントを許さない姿勢を明確に示すとともに、職員間のコミュニケーションを大切にして、風通しの良い職場環境をつくることができる。	○労働基準法 ○労働安全衛生法 ○労働施策総合推進法 ○男女雇用機会均等法
2 人材育成（組織マネジメント）	○職員に対する温かさをもち、キャリアデザインを共有して適切に指導するなど、人材を育成することができる。	□組織の長として人材育成の責務を自覚し、定期的な面談等を通して、教職員一人一人のキャリアステージに応じた課題を明確にしながら、公正かつ厳正な人事評価とキャリアアップに資する適切な指導・助言を行うことができる。 □職員集団の年齢構成も踏まえ、「仕事が人を育てる」ことを意識しながら、個々の職員の能力や適性を十分に発揮させ、組織の対応力を向上させる校務分掌の編制や主任等の任命、研修派遣や人事異動等、組織マネジメントの長としての責任を果たすことができる。 □主任や中堅教諭等の適切な人材をメンターとしたOJT（現場内訓練）や校内研修を実施し、人材育成のための精神的なサポートができる組織を構築することができる。	○地方公務員法 ○教育公務員特例法
3 教育課程・学力向上（カリキュラム・マネジメント）	○学力向上に関する具体策の成果を常に検証し、教育課程の改善と授業について的確な指導ができる。	□学習指導要領の趣旨を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、新しい時代を生きる子どもたちに必要な力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）を明確にした上で、教科横断的な視点に立って、児童生徒の心身の発達段階や特性及び学校や地域の実態を考慮しながら、適切な教育課程を編成することができる。 □教育課程の実施においては、教職員が相互に連携しながら、学校の特色を生かしたより質の高い教育を実践できるよう指導・助言するともに、PDCA サイクルを機能させ、組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図ることができる。 □Society 5.0 の時代を見据え、ICT の積極的な活用により学習効果を高めるとともに、児童生徒1人1台端末の学習環境において、新しい技術や発想を取り入れた授業改善に取り組み、学びの個別最適化を進めることができる。	○学校教育法 ○学校教育法施行規則 ○学習指導要領 ○学校教育の情報化の推進に関する法律
4 生徒指導	○いじめや不登校等、生徒指導上の諸問題に対し、関係機関と連携し、リーダーシップを発揮して組織的に解決を図ることができる。	□生徒指導上の諸問題に対して、自らリーダーシップを発揮して、保護者及び関係諸機関と連携を図りながら、未然防止・早期発見・早期対応に努めて問題の解決を図るとともに、指導の過程を通して児童生徒の成長と教職員の指導力の向上を図ることができる。 □特にいじめの対応については、いじめ防止対策推進法、学校いじめ防止基本方針の趣旨を十分に踏まえ、法令等に則り、正確な事実の把握と情報の共有、保護者との連携、的確な判断と迅速で組織的な対応を自ら陣頭指揮し、解決後も継続的な見守りや支援を行うことができる。また、「特別の教科道徳」の導入の趣旨を踏まえ、考え議論する「道徳」への質的転換を図り、いじめの防止に積極的に関わろうとする児童生徒や教職員を育てることができる。 □教職員と児童生徒の間で日常的な信頼関係が構築できるよう、生徒指導の状況や児童生徒の実態について十分に把握するとともに、児童生徒に関する情報共有が管理職まで確実になされ、校内組織が十分に機能するよう、校内体制を整備することができる。 □人権感覚を磨き、各種法令及び指針等に則り、少数者や特別な配慮を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育相談や支援を推進するための校内体制を整備することができる。	○いじめ防止対策推進法 ○障害者差別解消法 ○義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律
5 服務規律・危機管理（リスク・マネジメント）	○服務規律やコンプライアンスをはじめ、危機管理に対する高い見識と行動力がある。	□服務の管理監督責任者として、常に教育公務員としての使命感や倫理観に関する自覚を促し、法令遵守と不祥事（体罰や児童生徒との不適切な関係等、信用失墜行為）の未然防止に努めるとともに、事案発生時には、法令に従い、関係諸機関と連携を図り、児童生徒の安心安全を最優先に迅速に対応することができる。 □個人情報保護、公文書管理、公金管理等の最高責任者として、職員の危機管理意識を高め、関係法令を踏まえた適切な執行管理及び諸帳簿管理を徹底するとともに、問題発生時に法令に従い、速やかな報告及び事後対応等の適切な対処ができる。 □学校保健安全法の趣旨を踏まえ、児童生徒の命を守り切ることを第一に、校舎内外の学校施設の修繕や安全管理を徹底するとともに、学校の立地する地域の実情や児童生徒の実態を踏まえ、実効性のある防災計画・避難計画及び危機管理マニュアルを策定することができる。 □学校事故や感染症等の発生に対し、常に最悪の事態を想定しながら、保護者や関係諸機関（警察、消防、病院、教育委員会、司法、児童相談所、保健所等）とも連携し、応急処置や避難行動等、対応しうる最善策を判断し、迅速な指示を行うことができる。	○学校教育法 ○地方公務員法 ○教育公務員特例法 ○教育職員免許法 ○学校保健安全法
6 家庭・地域との連携	○家庭や地域と積極的に連携し、人的資源の活用等により、ふるさとへの誇りと愛着を培う魅力ある学校経営ができる。	□児童生徒の健全な育成を願う保護者や地域社会と、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという目標を共有しながら、学校の教育活動について情報の共有と連携を図り、地域活性化の核としての学校の役割を果たすことができる。 □地域の産業・経済界、行政、その他関係諸機関と連携し、地域の魅力ある人材や教育資源を活用し、地域の課題解決に協働して取り組むなど、「社会に開かれた教育課程」の実現と「ふるさと教育」の推進に取り組み、魅力ある学校づくりを行うことができる。	○教育基本法 ○社会教育法 ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

清流の国ぎふ　岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標【幼稚園等】

～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に保育実践や集団づくりに取り組み、教職の基礎を固める。	園の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある園運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	園の管理や同僚への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
保育	保育構想	幼稚園教育要領における、健康、人間関係、環境、言葉、表現の各領域に関するねらい、内容、内容の取扱い等について、総合的・一体的に扱うものであることを理解している。	幼稚園教育要領のねらいや内容、内容の取扱い等を踏まえ、幼児一人一人への願いを明確にした指導計画を作成することができる。	小学校への円滑な接続を見通して、発達の課題を踏まえて指導計画を作成することができる。	自園の課題、幼稚園教育要領の趣旨を踏まえた指導計画を作成し、他の教員に広めていくことができる。	幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ自園の課題の解決に努め、日常的な保育の改善に向けて研究体制を整えることができる。
保育	保育実践		各領域のねらい・内容を含めた総合的・一体的な保育となるよう環境の構成を適切に行うことができる。	各領域のねらいとその特性を理解し、幼児一人一人が健やかに成長するよう指導・援助を行うことができる。	各領域等を総合的・一体的に扱う保育のモデルを示すなど、保育実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員に広めていくことができる。	自園の課題を踏まえ人格形成の基礎を培う実践について、他の教員に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
保育	評価改善		指導計画に基づいて幼児一人一人の活動の様子を見届け、長期及び短期の指導に生かすことができる。	保育の評価を適切に行い、継続的な保育の改善を行うとともに、各領域の特性に応じた指導力の向上に努めることができる。	自園の保育力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員に対して、保育実践の評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。
教育環境の創造	幼児理解	幼児と共に活動する楽しさや喜びを経験し、幼児理解の重要性について理解している。 環境構成の意味、保育の展開等に関する基本的な事項や指導方法等について理解している。 クラス・園・家庭・地域が一体となって、幼児を育むことを理解している。	進んで声をかけ、共に活動をする中で、幼児一人一人のよさや課題を客観的かつ共感的に把握することができる。	幼児の言動とその背景にある思いを把握し、共感的に理解した上で、個に応じた指導を行うことができる。	様々な情報に基づいて幼児一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。	継続的に幼児の言動を見届け、価値付ける指導を行ったり、幼児の捉え方について助言を行ったりすることができる。
教育環境の創造	生活の展開		問題等を早期に発見し、関係職員に相談して迅速に対応することができる。	関係職員と共に幼児の状況を共有し、適切な指導方法を判断して対応することができる。	関係職員や保護者等と協力して、幼児の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。	幼児に対する指導を組織的・計画的に実践できるように、体制を整えるとともに問題の未然防止の取組を実践することができる。
教育環境の創造	発達の課題		幼児一人一人の発達の課題に応じた基本的な生活習慣の指導を行うことができる。	その年齢の発達の課題に応じた生活が展開できるなど、自己有用感が育まれるような指導を行うことができる。	幼児の多様な発達の課題を明確にし、それに対応する方策を提案し、園の実践の基点となって実践することができる。	幼児の多様な発達の課題に対する方策を明確にもち、モデルとなる実践を行うとともに、指導内容の改善に向けて助言を行うことができる。
経営・分掌	学級・学年・園経営	教員の職務内容や園組織等について理解している。 危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項等について理解している。	担当する分掌の役割を理解し、責任をもって行うことができる。	担当する分掌に軸足を置きながら、園全体も意識して、課題を改善しながら分掌を果たすことができる。	自園の分掌全般に関して理解を深め、組織を生かしながら各分掌を推進することができる。	自園の教育目標具現に向けて、園の組織間の連絡・調整を行うとともに若手教員の育成をすることができる。
経営・分掌	連携・協働		他の教員等のよさに学び、相談・協力することができるとともに、保護者との連絡を密にし、望ましい関係を築くことができる。	組織の一員として、他の教員等と声をかけ合いながら、協力して取り組むことができる。	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をしながら対応することができる。	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、組織を生かした対応をすることができる。
経営・分掌	危機管理		幼児の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。	自園を取り巻く環境について、家庭・地域・関係機関との協力体制を整えるとともに、適切に対応することができる。
特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応		特別な配慮や支援を必要とする幼児について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの保育に生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した保育や校務の推進及び幼児に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	保育や校務等にICTを活用でき、幼児の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための保育実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した保育実践等を行い、校務の効率化及び幼児の学びや生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	自園のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
・自分の得意な内容、領域を見付けられる。	・自分が得意な内容、領域を磨いている。 ・他の人がもっているもののよさに気付き、取り入れてみる。	・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。 ・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。	・若手や同僚に共感する。 ・自分の知恵や経験を活かす場がある。 **教員が成長し続けるために大切な姿**

清流の国ぎふ　岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標【小学校】

～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に授業実践や学級経営に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	小学校に関する学習指導要領、評価規準・評価方法等を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	小・中学校９年間の系統性、児童の発達の段階を踏まえて指導計画を作成することができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画を作成し、他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画が作成され、全校体制で取り組めるよう働きかけることができる。
学習指導	授業実践		免許教科を主軸とした得意分野をもち、ねらいを明確にした授業となるよう指導・援助を行うことができる。	各教科の特性を理解し、児童一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。	授業モデルを示すなど、授業実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題を踏まえ、学力向上に向けた実践を他の教員等に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
学習指導	評価改善		評価計画に沿って児童一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。	適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、教科の特性に応じた指導力の向上に努めることができる。	学校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員等に対して、授業における評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。
生徒指導	児童理解	児童と共に活動する楽しさや喜びを経験し、児童理解の重要性について理解している。 教育相談、生徒指導、キャリア教育等に関する基本的な事項や指導方法等について理解している。	進んで声をかけ、共に活動をする中で、児童一人一人のよさや課題を客観的かつ共感的に把握することができる。	児童の行動とその背景にある思いを把握し、共感的に理解した上で、個に応じた指導を行うことができる。	様々な情報に基づいて児童一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。	継続的に児童の行動を見届け、価値付ける指導を行ったり、児童の捉え方について助言を行ったりすることができる。
生徒指導	生徒指導		問題行動等を早期に発見し、学年職員等に相談して迅速に対応することができる。	関係職員と共に児童の状況を共有し、適切な指導方法を判断して対応することができる。	関係職員や保護者等と協力して、児童の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。	児童に対する指導を組織的・計画的に実践できるように体制を整えるとともに、問題の未然防止の取組を実践することができる。
生徒指導	キャリア教育		発達の段階に応じた基本的な生活習慣の指導を行うことができる。	学年の発達の段階に応じた役割をもたせる等、自己有用感をもたせる指導を行うことができる。	学校のキャリア発達課題を明確にし、その方策を提案し、学校の基点となって実践することができる。	学校のキャリア発達課題に対する方策を明確にもち、モデルとなる実践を行うとともに、指導内容の改善に向けて助言を行うことができる。
経営・分掌	学年・学校経営	教員の職務内容や学校組織等について理解している。 危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項等について理解している。	担当する校務の役割を理解し、責任をもって行うことができる。	学校全体を見渡し、課題を改善しながら校務を行うことができる。	校務全般に関して理解を深め、組織を生かしながら校務を推進することができる。	学校の教育目標具現に向けて、校内組織間の連絡・調整を行うことができる。
経営・分掌	連携・協働		他の教員等のよさに学び、相談・協力することができるとともに、保護者との連絡を密にし、望ましい関係を築くことができる。	組織の一員として、他の教員等と声をかけ合いながら、協力して取り組むことができる。	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をしながら対応することができる。	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、組織を生かした対応をすることができる。
経営・分掌	危機管理		児童の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。	学校を取り巻く環境について家庭・地域・関係機関との協力体制を整えるとともに、適切に対応することができる。
特別な配慮や支援を必要とする児童への対応		特別な配慮や支援を必要とする児童について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した学習指導や校務の推進及び児童に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、児童の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び児童の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
・自分の得意な内容、領域を見付けられる。	・自分が得意な内容、領域を磨いている。 ・他の人がもっているもののよさに気付き、取り入れてみる。	・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。 ・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。	・若手や同僚に共感する。 ・自分の知恵や経験を活かす場がある。 教員が成長し続けるために大切な姿

清流の国ぎふ　岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標【中学校】

～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に授業実践や学級経営に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	中学校に関する学習指導要領、評価規準・評価方法等を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	小・中学校９年間の系統性、生徒の実態を踏まえて指導計画を作成することができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画を作成し、他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画が作成され、全校体制で取り組めるよう働きかけることができる。
	授業実践		教科の指導内容を適切に理解し、ねらいを明確にした授業となるよう指導・援助を行うことができる。	教科の専門性を踏まえて、生徒一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。	授業モデルを示すなど、授業実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題を踏まえ、学力向上に向けた実践を他の教員等に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
	評価改善		評価計画に沿って生徒一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。	適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、自己の専門性向上に努めることができる。	学校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員等に対して、授業における評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。
生徒指導	生徒理解	生徒と共に活動する楽しさや喜びを経験し、生徒理解の重要性について理解している。 教育相談、生徒指導、キャリア教育等に関する基本的な事項や指導方法等について理解している。	進んで声をかけ、共に活動をする中で、生徒一人一人のよさや課題を客観的かつ共感的に把握することができる。	生徒の行動とその背景にある思いを把握し、共感的に理解した上で、個に応じた指導を行うことができる。	様々な情報に基づいて生徒一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。	継続的に生徒の行動を見届け、価値付ける指導を行ったり、生徒の捉え方について助言を行ったりすることができる。
	生徒指導		問題行動等を早期に発見し、学年職員等に相談して迅速に対応することができる。	関係職員と共に生徒の状況を共有し、適切な指導方法を判断して対応することができる。	関係職員や保護者等と協力して、生徒の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。	生徒に対する指導を組織的・計画的に実践できるように体制を整えるとともに、問題の未然防止の取組を実践することができる。
	キャリア教育		生徒一人一人が目標をもち、計画的に取り組むことができるよう指導を行うことができる。	生徒が見通しをもったり振り返ったりして学ぶよう指導を行うなど、教育課程全体を通じてキャリア教育を推進することができる。	社会や職業との関連をより意識して生き方を考えられるように、地域との連携を図りながら指導することができる。	キャリア教育の視点を踏まえた生き方指導のモデルを実践したり、他の教員等が適切に指導できるよう、助言を行ったりすることができる。
経営・分掌	学年・学校経営	教員の職務内容や学校組織等について理解している。 危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項等について理解している。	担当する校務の役割を理解し、責任をもって行うことができる。	学校全体を見渡し、課題を改善しながら校務を行うことができる。	校務全般に関して理解を深め、組織を生かしながら校務を推進することができる。	学校の教育目標具現に向けて、校内組織間の連絡・調整を行うことができる。
	連携・協働		他の教員等のよさに学び、相談・協力することができるとともに、保護者との連絡を密にし、望ましい関係を築くことができる。	組織の一員として、他の教員等と声をかけ合いながら、協力して取り組むことができる。	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をしながら、対応することができる。	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、組織を生かした対応をすることができる。
	危機管理		生徒の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。	学校を取り巻く環境について家庭・地域・関係機関との協力体制を整えるとともに、適切に対応することができる。
特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応		特別な配慮や支援を必要とする生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した学習指導や校務の推進及び生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
・自分の得意な内容、領域を見付けられる。	・自分が得意な内容、領域を磨いている。 ・他の人がもっているもののよさに気付き、取り入れてみる。	・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。 ・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。	・若手や同僚に共感する。 ・自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿

清流の国ぎふ　岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標【高等学校】

～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に授業実践やＨＲ経営に取り組み、教職の基礎を固める。	専門性と指導力を高め、実践力を磨く。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	教科の専門性を身に付け、高等学校に関する学習指導要領の内容、評価の観点・評価方法等を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、生徒の実態に応じた指導と評価の計画を作成することができる。	生徒の実態やニーズに応じ、教科における見方・考え方を踏まえた指導と評価の計画を作成することができる。	中長期的な視点で、指導と評価の計画を作成することができるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の教育目標や学習指導要領の改訂等を踏まえ、教科横断的な視点で指導と評価の計画を立案し、推進することができる。
	授業実践		生徒の実態と指導と評価の計画を踏まえ、身に付けさせたい力を明確にした授業を行うことができる。	生徒の実態やニーズに応じ、教科における見方・考え方を踏まえ、生徒が確かな学力を身に付ける授業を行うことができる。	各教科における見方・考え方を踏まえ、生徒が確かな学力を身に付ける授業の実践について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	生徒の自ら学ぶ姿勢を育成する授業を行うための研修計画を立案し、推進することができる。
	評価改善		観点に基づいた評価規準を設けるとともに、自らの授業の方法や内容を客観的に評価し、改善することができる。	生徒の実態やニーズに応じた授業評価の方法や観点を工夫し、継続的な授業改善ができる。	観点に基づいた評価規準を踏まえた継続的な授業改善について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	観点に基づいた評価規準を踏まえた継続的な授業改善を行う体制を整え、推進することができる。
生徒指導	生徒理解	生徒理解の重要性について理解している。 教育相談・生徒指導・キャリア教育の理論及び方法について理解している。	生徒個々の資質能力や背景にある状況を、観察や資料等から客観的かつ共感的に把握することができる。	生徒の実態や状況について、自らのもつ情報と周囲からの情報を合わせて分析し、多面的に把握することができる。	生徒の実態の多面的な把握と分析の方法について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	個々の生徒に対応する人的・物的に環境を整え、学校全体で生徒理解ができる組織づくりを推進することができる。
	生徒指導		生徒の声を共感的に聴くとともに、時と場を捉えて適切な指導を行うことができる。	個や集団の実態や状況に応じて、生徒の自己指導能力の育成を促すための継続的な働きかけを行うことができる。	生徒の自己指導能力の育成を促す指導や今日的な課題への対応について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	生徒の自己指導能力を高めるような教育相談・生徒指導を学校全体で行うための計画・組織を立案し、推進することができる。
	キャリア教育		生徒自身が望ましい職業観や自立について考え、自らの生き方を選択しようとする態度を育成する指導を行うことができる。	生徒自身が自らの生き方を多様な可能性を基に考える指導を行うとともに、生徒の実態やニーズに応じた進路指導を行うことができる。	生徒自身が自らの生き方を多様な価値観を基に考える学習活動となるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の教育目標を実現するための系統的なキャリア計画を立案し、それを実施する組織づくりを推進することができる。
経営・分掌	ＨＲ・学校等経営	教員の職務内容と学校組織等について理解している。 危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項について理解している。	担当した校務を責任をもって行うことができる。	校務の課題についての建設的な改善策を他の教員等に提案し、組織的に働きかけながら実践することができる。	中長期的な視点で校務の改善について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の教育目標を具現するために、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
	連携・協働		迅速な報告・連絡を心がけ、生徒の成長のために保護者や他の教員等と力を合わせて対応することができる。	周囲の人材と専門性を活用し合うなど、生徒の成長のための効果的な指導をチームとして行うことができる。	チームとしての指導と対応の視点や対策について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	家庭や地域、外部機関等との連携について、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
	危機管理		生徒の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	事故等の未然防止と選択すべき行動について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	事故等の未然防止や緊急時に、場面に応じて迅速に対応する組織づくりについて、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応		特別な配慮や支援を必要とする生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した学習指導や校務の推進及び生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
・高い倫理観と使命感の基、探究心をもって、謙虚に学ぶ。	・自ら課題をもって、自律的に学び、実践につなげる。	・自己研鑽に励み、周囲の学ぶ意欲を高める。	・学び続ける姿を示し、学校の組織力の向上に寄与する。

教員が成長し続けるために大切な姿

清流の国ぎふ　岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標

【特別支援学校】

～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に授業実践や学級・ＨＲ経営に取り組み、教職の基礎を固める。	実践を積み上げ、専門性を高め、学校の推進力となる。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	特別支援教育及び教科に関する学習指導要領の内容、評価の観点・評価方法等を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	幼児児童生徒の健康・障がいの状態、発達の段階、興味・関心等の観点を踏まえて個別の指導計画等を作成し、他の教員等から指導・助言を受けながら授業を計画することができる。	幼児児童生徒の健康・障がいの状態、発達の段階、興味・関心等の観点から、実態を的確に把握して個別の指導計画等を作成し、それに沿った授業を計画することができる。	個別の指導計画等を作成する際に、関係機関の情報等の客観的観点を取り入れるとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学習指導要領の改定等を踏まえた個別の指導計画等の作成が成されるように研修を行う等、校内体制を整備し、推進することができる。
	授業実践		個別の指導計画等に基づいて、適切な教材・教具を活用する等、幼児児童生徒へ効果的な指導・援助を行うことができる。	個別の指導計画等に基づくと共に、活動時の状況に応じて指導方法・体制等を変更する等、他の教員等と協働して、幼児児童生徒への効果的な指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の状態等に配慮して適切な指導・援助を行うとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学習指導要領改訂等を踏まえた適切な指導・援助ができるように、校内の研究体制を整備し、推進することができる。
	評価改善		幼児児童生徒への指導・援助について、健康・障がいの状態、発達の段階、興味・関心等の観点に基づいて授業評価を行い、授業の内容や方法、個別の指導計画等を改善することができる。	幼児児童生徒への指導・援助について、自身の授業実践とともに、チームとしての授業実践について適切な授業評価を行い、授業の内容や方法、個別の指導計画等を改善することができる。	幼児児童生徒の実態と社会や地域から求められるニーズに対応するという視点に立って授業評価や授業改善を行うとともに、他の教職員等に指導・助言を行うことができる。	授業の評価改善のために必要な観点、評価・指導の方法等について研究し、普段の授業改善を行う校内体制を整備し、推進することができる。
生徒指導	幼児・児童・生徒理解	幼児児童生徒とともに活動する楽しさや喜びを経験し、児童生徒理解の重要性について理解している。 教育相談、生徒指導、キャリア教育、人権教育等に関する基本的事項や指導・援助方法等について理解している。	観察、保護者との情報交換、他の教職員からの情報、過去の資料等から幼児児童生徒の実態を的確に把握することができる。	幼児児童生徒の実態や状況について、自らのもつ情報と周囲からの情報を合わせて分析し、多面的に把握することができる。	幼児児童生徒の多面的な把握と分析に必要な情報収集を行うとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校全体で幼児児童生徒の理解を深めるために、環境整備と組織づくりを推進することができる。
	生徒指導		幼児児童生徒の実態を踏まえて、一人一人のよさが発揮できるように指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の発揮させたいよさと具現したい姿を具体的に想定し、その実現のための中・長期的なプランを想定した指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒一人一人のよさの発揮と具現したい姿の実現のために、適切な指導・援助を行ったり保護者等と連携をはかったりするとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	幼児児童生徒への適切な指導・援助が行われるように、他の教員等や保護者・関係機関等との連携体制を整備し、推進することができる。
	キャリア教育		個別の教育支援計画等に基づき、社会自立を目指して、幼児児童生徒への指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の実態やニーズに基づいた社会自立を目指し、個別の教育支援計画等を活用し、保護者、関係機関と連携し、他の教員等と協働して指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の社会自立を目標とした指導・援助を行う際に、他の教員等に個別の教育支援計画等や、関係機関から収集した情報等の効果的な活用について、指導・助言を行うことができる。	適切な個別の教育支援計画等の作成と改善がなされるように、他の教員等や保護者、関係機関等と連携できる組織づくりを推進することができる。
経営・分掌	学級(HR)・学年・部・学校経営	教員の職務内容や学校組織等について理解している。 危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項等について理解している。	個別の教育支援計画等を立案し、それに基づき、学級（ＨＲ）全体を見渡した年間指導計画等を作成し、計画に沿った学級経営を行うことができる。	学校・部等全体を見通した年間指導計画等を作成し、他の教員等と協働して、学級（ＨＲ）・学年経営を行うことができる。	学年・部・学校全体の学級（ＨＲ）経営が適切に行われるように、部・学校の特色を踏まえて他の教員等に指導・助言を行うことができる。	特色ある学校経営を推進するために、校内の体制を整備し、「安全に安心して過ごせる環境」「自立に向けて個性を生かす体制」を整備し推進することができる。
	連携・協働		幼児児童生徒の健康・成長を常に念頭において、他の教員等や保護者等と協力し、迅速な報告連絡を心がけて業務を行うことができる。	幼児児童生徒の健康・成長を常に念頭において、他の教員等と強みを生かし合える関係を結び、保護者等と円滑な関係を保つことを意識しながら、業務を行うことができる。	幼児児童生徒へ、保護者等と協力・連携しつつ、チームとしての指導・援助にあたるとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	自校の使命を達成するために、学校内外の関係機関等との連携体制を構築するとともに、校内の業務が円滑に遂行される体制を整える。
	危機管理		幼児児童生徒の安全や個人情報の重要性を理解するとともに常に心がけ、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	学校の危機管理について、周囲と連携し、迅速に対応するとともに、より適切に対応できるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	事故等の未然防止や緊急時に、適切かつ迅速に対応する組織づくりについて、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した学習指導や校務の推進及び幼児児童生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、幼児児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び幼児児童生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
・目の前の幼児児童生徒の適切な実態把握や指導・援助の方法を、謙虚に学ぶ。	・学級(HR)・学年の幼児児童生徒に対する、チームでの適切な実態把握や指導・援助の方法を自ら学び、チームに伝える。	・自分が得意とする分野の知識・技能を深めつつ、校内の教員等への有効的な伝え方を工夫する。	・自分が深めてきている知識・技能、学びの手段等を、学校内外の多くの人に対して伝え、役立てる。

教員が成長し続けるために大切な姿

清流の国ぎふ　岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標

【養護教諭】

～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に保健管理や健康指導に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、学校及び研究団体等においてリーダーシップを発揮する。	学校管理や同僚への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行うとともに、後進の育成に尽力する。
保健管理	応急処置	保健管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けている。	けがや疾病に応じた応急処置を迅速に行うことができる。	緊急時に備えた救急体制を整備し、応急処置を的確に行うことができる。	緊急時に備えた救急体制を整備し、教職員等への周知と啓発を行うことができる。	救急体制の整備と教職員等への啓発について、指導的立場を果たすことができる。
保健管理	心身の健康管理	保健管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けている。	健康診断や管理指導表等に基づく児童生徒等の健康管理や、感染症の予防対策ができる。	児童生徒等の適切な健康管理や、感染症の効果的な予防対策ができる。	最新の知見を収集し、児童生徒等の健康管理や感染症の予防対策に生かすことができる。	児童生徒等の心身の健康管理や感染症の予防対策について、指導的立場を果たすことができる。
保健管理	学校環境の管理	保健管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けている。	学校環境衛生基準に基づく環境衛生検査が適切に実施でき、改善に努める。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るための環境づくりを推進できる。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るための環境づくりを推進できる。	学校環境の管理について、指導的立場を果たすことができる。
健康指導	児童生徒理解	児童生徒の体と心の状態を把握しようと努力している。	児童生徒の健康状況を把握し、関係づくりに努めることができる。	児童生徒を取り巻く環境や背景を理解し、児童生徒の理解を図ることができる。	児童生徒の自己肯定感を高めることを意図した指導を行うことができる。	児童生徒理解について、指導的立場を果たすことができる。
健康指導	保健教育	児童生徒の体と心の状態を把握しようと努力している。	指導計画に基づく保健教育等を行うことができる。	担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育等を行うことができる。	ヘルスプロモーションの理念に基づき、自己の健康をつくろうとする指導を行うことができる。	保健教育について、指導的立場を果たすことができる。
健康指導	健康相談活動	児童生徒の体と心の状態を把握しようと努力している。	健康相談の基本プロセスを理解し、健康相談が実施できる。	日常の児童生徒の健康状態を把握し、個々の健康課題に応じた相談活動が実施できる。	心身の健康課題を総合的にとらえ、保護者や校内組織と連携した健康相談活動が実施できる。	コンプライアンス意識を高くもち、健康相談活動について、指導的立場を果たすことができる。
経営・分掌	保健室管理	分からないことは同僚や近隣の先輩に聞きながら、自分の仕事に取り組んでいこうとしている。	学校保健活動のセンター的役割を理解して、保健室経営ができる。	学校保健活動のセンター的役割が機能した保健室経営ができる。	学校の教育目標の具現を意図した保健室経営ができる。	保健室経営について、指導的立場を果たすことができる。
経営・分掌	保健組織活動	分からないことは同僚や近隣の先輩に聞きながら、自分の仕事に取り組んでいこうとしている。	保健組織活動の意義を理解し、各種会議等に意欲的に参画できる。	保健組織活動の意義を理解し、保健組織活動を企画・運営することができる。	校区の学校や地域の関係機関、団体と連携した保健組織活動を、企画・運営することができる。	保健組織活動について、指導的立場を果たすことができる。
経営・分掌	危機管理	分からないことは同僚や近隣の先輩に聞きながら、自分の仕事に取り組んでいこうとしている。	管理職、保護者、医療機関等への報告・連絡・相談を遅滞なく行うことができる。	危機を予見し、未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応に努めることができる。	正しい情報収集と組織的な対応に努め、対応後の見届けまで確実に行うことができる。	未然防止や対応のノウハウ等について、事例をもとに指導的立場を果たすことができる。
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		特別な配慮や支援を必要とする児童生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育のニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した学習指導や校務の推進及び児童生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び児童生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
・自分の得意な内容、領域を見付けられる。	・自分が得意な内容、領域を磨いている。 ・他の人がもっているもののよさに気付き、取り入れてみる。	・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。 ・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。	・若手や同僚に共感する。 ・自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿

清流の国ぎふ　岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標
【栄養教諭】

～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間としてあたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に給食管理や食に関する指導に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、学校及び研究団体等においてリーダーシップを発揮する。	学校管理や同僚への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行うとともに、後進の育成に尽力する。
給食管理	学校給食に関する計画	給食管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けている。	献立や教科との関連を図った食に関する全体計画の立案・実践ができる。	学校の食に関する課題を明確にした食に関する全体計画の立案・実践ができる。	学校や地域の実態を把握し、校内外との連携を図った食に関する全体計画の立案・実践・評価ができる。	学校の教育目標の具現を視点に持ち、食に関する全体計画の立案・実践をマネジメントすることができる。
給食管理	栄養管理		食事摂取基準や学校給食摂取基準を理解し、食物アレルギー等、適切に栄養管理を行うことができる。	食品構成や、地場産物の活用などを考慮した年間献立計画をもとにして、適切な献立作成等を工夫できる。	学校給食摂取基準を、児童生徒や地域の実情等に十分配慮し、弾力的に適用するよう工夫・改善に努める。	実態把握に基づき、食に関する指導と給食管理の一体化を図った献立作成の工夫・改善に努める。
給食管理	衛生管理		食品衛生法と学校給食衛生管理基準を理解し、関係諸帳簿の整備など適切に衛生管理ができる。	食中毒や異物混入の未然防止について調理従事員や児童生徒へ適切な指導を行い、徹底を図ることができる。	作業動線図や作業工程表の充実を図るとともに、衛生管理体制の強化を図ることができる。	学校給食衛生管理基準に基づく、評価と改善を行い、調理場において徹底することができる。
食に関する指導	児童生徒理解	児童生徒の体と心の状態を把握しようと努力している。	児童生徒の食生活の状況を把握するとともに、関係づくりに努めることができる。	児童生徒を取り巻く環境を理解し、児童生徒の理解を的確に行うことができる。	教職員の共通理解を図る方途を工夫し、児童生徒の食習慣の状況を的確に把握することができる。	児童生徒の食習慣の状況に応じて、食に関する自己管理能力を高めるための指導助言ができる。
食に関する指導	教育指導		食に関する年間指導計画をもとに、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行うことができる。	給食献立と各教科等との関連を図り、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導をすることができる。	児童生徒の実態を考慮し、生きた教材として学校給食の活用を図った食に関する指導の立案ができる。	児童生徒が食に関する課題に主体的に向き合い、実践に結び付く食に関する指導を行うことができる。
食に関する指導	個別的な相談指導		食に関する年間指導計画をもとに、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行うことができる。	疾病やスポーツ栄養に関する基礎的知識を習得し、食に関する相談指導ができる。	保護者や校内組織と連携した個別的な相談指導体制を整備し、活用することができる。	コンプライアンス意識をもち、学級担任等と連携を密にした積極的な個別的な相談活動が実施できる。
経営・分掌	調理場との連携・調整	分からないことは同僚や近隣の先輩に聞きながら、自分の仕事に取り組んでいこうとしている。	設備や食品の管理など、担当する校務の役割と、食に関する指導の両立をすることができる。	受配校や近隣の学校の実態を把握し、調理場を活用した食に関する指導や情報発信等ができる。	地域全体の食育を充実させる観点から、関係機関と連携した委員会の整備と活性化ができる。	給食管理と食に関する指導を一体化した組織的な運営等に参画し、工夫改善に取り組むことができる。
経営・分掌	給食組織活動		食育推進委員会で資料提供したり、児童生徒給食委員会を運営したりできる。	食育推進委員会や児童生徒給食委員会の、計画的・効果的な経営ができる。	給食管理と食に関する指導が一体化した活動となるよう、給食組織活動を改善することができる。	給食管理と食に関する指導を一層関連づけた活動となるよう、給食組織活動を改善・強化することができる。
経営・分掌	危機管理		管理職、学級担任、保護者、学校関係機関・団体等への、報告・連絡・相談を確実に行うことができる。	危機を予見し、未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応に努めることができる。	正しい情報収集と組織的な対応に努め、対応後の見届けまで確実に行うことができる。	危機管理や対応のノウハウ、ヒヤリハット事例をもとに、根本的な対応のあり方を広めることができる。
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		特別な配慮や支援を必要とする児童生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	多様性を尊重し共に成長する集団づくりや、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、職員の連携による指導の体制を整え、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した学習指導や校務の推進及び児童生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び児童生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
・自分の得意な内容、領域を見付けられる。	・自分が得意な内容、領域を磨いている。 ・他の人がもっているもののよさに気付き、取り入れてみる。	・自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。 ・異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。	・若手や同僚に共感する。 ・自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿

5　キャリアステージを踏まえた研修の概要

資質充実期

資質向上期

基礎形成期

基本研修・選択研修・連携研修を受講

■基礎形成期から資質充実期における経年研修（基本研修）を示しています。

中堅教諭等資質向上研修

学校（園）運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教員として、学習指導の力、生徒指導の力及び経営・分掌を推進する力の向上を図る。

	幼認		小中義高特		養護・栄養	
	園外研修	園内研修	校外研修	校内研修	校外研修	校内研修
7～11年目	―	―	4日	―	3日	―
12年目	8日	10日	3日	18日	3日	5日

6年目研修

学校の中核教員としての学習指導等を中心とした実践的指導力の向上を図る。

小中義		高特		養護・栄養	
校外研修	校内研修	校外研修	校内研修	校外研修	校内研修
4日 （うち2日は0.5日）	3日	高：3日 特：2日	3日	3日	1日

基礎形成研修

自己課題を明確にし、課題に応じた研修を実施することで、教員としての基礎を固める。

小中義		高特	養護・栄養
2、3年目	4、5年目	2、3年目	「養護教諭・栄養教諭の実践から学ぶ」を希望により受講
3以上	2以上	3以上	

初任者研修・新規採用研修

教育公務員としての使命感、幅広い知見の獲得、教員としての基礎的素養を学ぶ。

幼認		小中義高特		養護・栄養	
園外研修	園内研修	校外研修	校内研修	校外研修	校内研修
8日	10日	小中義 14日以上 高特 15日	150時間	養護：11日 栄養：　6日	養護：15日 栄養：13日

資質貢献期

基本研修・選択研修・連携研修を受講

■主に資質貢献期における管理職や部主事等を対象とした職務研修（基本研修）を示しています。

新任校長研修

講座番号					
1101（小・中・義）	研修日数 3日				
	集合 0.5日	集合 0.5日	集合 1日	オンライン 0.5日	オンデマンド 0.5日
1102（高・特）	研修日数 4日				
	集合 1日	集合 1日	集合 1日	オンライン 0.5日	オンデマンド 0.5日

新任副校長研修

講座番号	
1103（高・特）	研修日数 0.5日
	集合 0.5日

新任教頭研修

講座番号						
1104（小・中・義）	研修日数 3.5日					
	集合 0.5日	集合 0.5日	集合 0.5日	オンライン 0.5日	オンライン 0.5日	指定研修※から 2又は1講座選択
1105（高・特）	研修日数 4.5日～					
	集合 1日	集合 1日	集合 1日	集合 1日	指定研修※から 1講座選択	

新任部主事研修

講座番号		
1106（特）	研修日数 2日	
	集合 1日	集合 1日

新任主幹教諭研修

講座番号			
1107（小・中・義）	研修日数 2日		
	集合 0.5日	オンライン 0.5日	スクールリーダー養成研修A 1日

新任指導教諭研修

講座番号		
1108（小・中・義）	研修日数 2日～	
	集合 1日	指定研修※から1講座選択（多文化共生・特別支援教育）

新任3主任研修

講座番号		
1109（高・特）	研修日数 1.5日	
	オンライン 0.5日	スクールリーダー養成研修A～C から1講座選択 1日

研修主事研修

講座番号		
1110（小中義）	研修日数 0.5日～	
	オンライン 0.5日（新任＋希望者）	集合 0.5日（各事務所にて開催）
1111（高・特）	研修日数 1.5日	
	オンライン 0.5日	集合 1日

※ 指定研修は、開催要項で確認してください。

6　研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励と振り返りの流れ（教職員の1年間の見通し例）

教職員として専門職性を高めていくために、下記を参考に1年間の見通しをもち、児童生徒等の学びのロールモデルとして、「自分自身にとって必要な学び」を、主体的に行っていきましょう。

年度当初（期首面談等以前）

①　「教員のキャリアステージ」から「自分の強みや弱み」を見つめてみましょう。

必要に応じて管理職と相談しましょう。

■　指標の自分のキャリアステージ（❶）を目安にし、指標の観点（❷）から、「自分の強みや弱み」を見付けましょう。例：印を付けるなど、書き加えてみましょう。

指標

❶ / ❷			【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
		スタートライン	意欲的に授業実践や学級経営に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	小学校に関する学習指導要領、評価規準・評価方法等を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	小・中学校９年間の系統性、児童の発達の段階を踏まえて指導計画を作成することができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画を作成し、他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画が作成され、全校体制で取り組めるよう働きかけることができる。
	授業実践		免許教科を主軸とした得意分野をもち、ねらいを明確にした授業となるよう指導・援助を行うことができる。	各教科の特性を理解し、児童一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。	授業モデルを示すなど、授業実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題を踏まえ、学力向上に向けた実践を他の教員等に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
	評価改善		評価計画に沿って児童一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。	適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、教科の特性に応じた指導力の向上に努めることができる。	学校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員等に対して、授業における評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。

②　研修履歴を確認してみましょう。

必要に応じて管理職と相談しましょう。

■　Plant全国教員研修プラットフォームから研修履歴を閲覧し、過去にどのような研修を受講しているか、確認してみましょう。

※自分のログインIDとパスワードでログインし、上側のメニューバーから「受講閲覧」をクリックすると、過去に受講した研修履歴を閲覧することができます。旧システムが運用された令和元年度からの研修履歴が表示されます。（平成21年度以降に受講した研修履歴が表示されます。）

③ 「今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割」を踏まえて、今後どの分野の学びを深めるべきか、考えてみましょう。

必要に応じて管理職と相談しましょう。

■ ①で考えた「自分の強みや弱み」や②で確認した研修履歴を踏まえて、指標から、今後どのような分野の学びを深めていくべきか考えてみましょう。

指標

❶ ❷			【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
		スタートライン	意欲的に授業実践や学級経営に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	小学校に関する学習指導要領、評価規準・評価方法等を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	小・中学校９年間の系統性、児童の発達の段階を踏まえて指導計画を作成することができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画を作成し、他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画が作成され、全校体制で取り組めるよう働きかけることができる。
	授業実践		免許教科を主軸とした得意分野をもち、ねらいを明確にした授業となるよう指導・援助を行うことができる。	各教科の特性を理解し、児童一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。	授業モデルを示すなど、授業実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題を踏まえ、学力向上に向けた実践を他の教員等に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
	評価改善		評価計画に沿って児童一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。	適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、教科の特性に応じた指導力の向上に努めることができる。	学校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員等に対して、授業における評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。

④ 学びを深めていきたい分野について、どのような機会や場面を活用して学ぶのかを考えるとともに、「研修講座一覧」から「自己課題に応じた研修」を選択しましょう。

必要に応じて管理職と相談しましょう。

■ OJTや校内研修をはじめとする学校における様々な機会や場面を活用して、学びを深めていきましょう。

■ 本冊子にある「研修講座一覧」から、関係する研修講座を選択し、**期日や開催方法等を確認**しましょう。

■ 開催要項で期日や開催方法等の詳細を確認できます。
Plant全国教員研修プラットフォームにログインし、調べたい研修講座を検索し、開催要項を確認しましょう。【令和7年度の開催要項は令和7年4月9日(水)より閲覧可能となります。】
※Plant全国教員研修プラットフォームで、開催要項の閲覧は可能です。その場合は、トップページ上部のメニューバーにある青色の**「研修検索」**をクリックし、調べたい研修講座を検索し、開催要項を確認しましょう。

期首面談等

⑤ 「年度目標」や「自分自身にとって必要な学び」について、管理職と面談をしましょう。

「どのようなことを研修等で学んでいきたいか」、「自分の強みや弱み」、「今後伸ばすべき力」、「学校で果たすべき役割」などを踏まえながら、目標を設定し、管理職と面談をしましょう。

⑥ Plant全国教員研修プラットフォームにログインし、研修講座を申し込みましょう。

総合教育センターHP のPlant全国教員研修プラットフォーム　ログイン画面へ
https://plant.nits.go.jp/

ID「210005p職員番号」
初期パスワード「　　」

※パスワードをお忘れの方は、教職員用マニュアルP8をお読みください。
　ID、パスワードも分からない方は、教育研修課研修企画係　058－271－3450に連絡ください。

⑦ 研修講座受講後、研修での学びを活用していきましょう。

必要に応じて管理職と相談しましょう。

■ 研修講座受講に関わる留意点等については、P16～P18を参照してください。

■ 研修での学びを生かして、「自分自身にとって必要な学び」を深めていきましょう。
また、研修での学びを校内で共有していきましょう。
・研修での学びから、どのような内容を活用していくことができそうか考えてみましょう。
・活用できそうな場面を考えてみましょう。
例）授業や授業以外の場面での指導等、研究授業、各種会議、校内研修やOJT・・・

校内での学び【校内研修やOJT等】

校外での研修を学校現場で生かす、還元する　往還　校内研修、学校現場での経験を生かして学ぶ

校外での研修【岐阜県総合教育センター】

※研修講座で配付された資料等を、校内での研修等に活用する場合は、二次使用となりますので、使用の可否について、講座担当者に確認をお願いします。

期末面談等

⑧ 「年度目標」や「自分自身にとって必要な学び」の成果等を振り返り、次年度以降の目標等について、管理職と面談をしましょう。

OJTや校内研修、校外研修などによる学びの成果や自らの成長実感、今後の課題などを振り返り、次年度以降の目標等について、管理職と面談をしましょう。

次年度以降へ・・・

7 研修講座受講に当たって

1 研修申込期間

■ A:すべての悉皆研修及び、8/31までに実施予定の選択研修
申込期間　令和7年4月9日(水)～4月16日(水)17時締切
受講確定　令和7年4月25日(金)まで

■ B:9/1以降に実施予定の選択研修
申込期間　令和7年4月9日(水)～7月4日(金) 17時締切
受講確定　令和7年7月11日(金)まで

● 定員超過の場合は、
A日程は、4月25日(金)までに、
B日程は、7月11日(金)までに抽選を行います。

● 追加申込みは、定員に満たない場合に実施します。

2 留意事項【集合・オンライン研修共通】

① 開催要項の確認

必ず事前に、総合教育センターHP内のPlant全国教員研修プラットフォームに、個人のログインID・パスワードを用いてログインし、期日、内容等を確認しましょう。

② 研修修了

研修後のアンケートの回答で研修修了です。

③ 急な変更やお知らせ

所属先と本人にメール等での連絡や、総合教育センターHPのトップ画面にて掲載します。
⇒ https://www.gifu-net.ed.jp/ggec

④体調不良の時は受講を見送る

検温をはじめ、自らの体調確認に心掛け、体調不良の場合は、受講せず、所属先の管理職に相談の上、欠席の手続きをしてください。

⑤欠席・遅刻の対応

欠席・遅刻等	① 管理職から講座担当係に電話連絡 ② センターHPにある欠席届を管理職からメールで提出　gec@govt.pref.gifu.jp

⑥ 気象警報発表時の対応（オンライン研修も同様）

開始3時間前までに 研修会場の市町村の気象警報が全て解除された場合	研修実施
開始3時間前までに 研修会場の市町村の気象警報が全て解除されていない場合	研修中止
参加者の勤務する学校や園等がある市町村、または研修場所に向かう経路上の市町村に気象警報が発表されている場合 今後、気象警報が発表される見込みがある場合	所属長の指導を受け、出欠を判断

3 駐車場について

総合教育センター敷地内の研修受講者用駐車スペースには限りがあります。満車の場合は臨時駐車場の利用等にご協力をお願いします。
（当冊子の該当ページ[70ページ]、または総合教育センターHP参照）

4 オンライン研修の流れ

受講前

【確認・準備】
■ 受講場所
・ 一人で落ち着いて受講でき、Wi-Fiの近くなど通信状況が良い場所を準備
■ 開催要項
・ 研修資料のダウンロード・印刷
・ 研修講座の流れや提出物の有無、動画のURLの確認
※ Web会議のURLを絶対に間違えないことや、他人に教えないことに留意
・ 接続に不具合があった場合の対応を確認

受講当日

■ 受講前は、管理職に受講開始の連絡
■ 研修開始時、又は接続の不具合が30分続くようであれば、 管理職に報告

★ 研修の録画は、原則として禁止です。
・ 映像の著作権は、作成者に帰属します。
・ ダウンロードした資料や映像を自組織のウェブサイトにアップロードしたり複製したりすることは、著作権の侵害となります。営利目的でなくても著作権の侵害となります。
★ カメラを使用する研修では、背景に不適切なものが映らないように配慮が必要です。

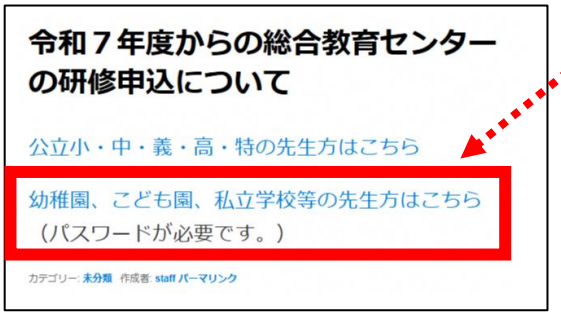
受講後

■ 受講後は、管理職に研修内容を報告
■ 研修申込システムの「研修後アンケート」「還元度アンケート」を回答
※回答時期については講座による。
■ レポート等の提出があれば、期日までに担当者に送付

8　幼稚園、こども園、私立学校等の研修申込から研修修了について（幼稚園、こども園、保育所、私立小・中・高等学校）

1　研修の申込の仕方について

■研修講座を確認する。
　総合教育センターHP内の研修講座実施要項をクリックし、パスワードを入力し、要項で研修の内容を確認する。



ここをクリックしてください。幼稚園、こども園、私立学校等の先生方のための、研修講座の要項、各種様式等が掲載されているページにいきます。

■研修申込をするための別紙様式を「幼稚園、こども園、私立学校等」のページからダウンロードする。
■別紙様式に必要事項を記入し、各園・学校で取りまとめ、下記アドレスに申込をする。
　総合教育センターアドレス　gec@govt.pref.gifu.jp

2　研修受講決定から研修受講について

①研修受講の状況について
　申し込んだ研修講座が受講できるかどうか受講決定については、所属先と本人にメールにてお知らせします。選外になったものについては、改めて別の研修講座を申し込む等の対応をしてください。

②研修受講について
　総合教育センターのHPの要項を確認して、研修講座を受講してください。また、メールでも研修講座に関わる情報をお知らせすることもありますので、メールもご確認ください。

3　研修の修了について

研修講座の修了について
　教育研修課から、研修講座の修了、未修了のお知らせを所属先と本人にメールにてお知らせします。その際、還元度アンケートのURLが一緒に送られるので、アンケートの回答をお願いします。

G 9　研修講座一覧表

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）	対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
基本研修　経年研修																												
1001 00	A	幼稚園等新規採用教員研修(幼・認)	教育公務員特例法の規定に基づき、幼稚園等の教育水準の維持向上を図るため、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。	初任者(幼・認)	【教育研修課主催】 ①5/21(水) ②6/11(水) ④7/16(水) ⑥11/27（木） 11/28（金） ⑧2/4(水) 【各教育事務所主催】 ③⑤⑦教育事務所の開催要項を参照	①②④⑧総合教育センター等 ②AM　OKBぎふ清流アリーナ ⑥岐阜県博物館 ③⑤⑦教育事務所主催場所	◆	－	－	－	－	－	－	－	♥	♥	♥	♥	♥	－	－	－	－	▲	－	－	700 基本研修
1002 00	A	初任者研修(小・義)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。	初任者(小・義)	①4/22(火) ②6/10(火) ③7/15(火) ④7/24(木) ～8/1(金) ⑤2/17(火) 【開催要項を参照】	①勤務校 ②勤務校 ③勤務校 ④総合教育センター ⑤各地区の指定の場所	－	◆	－	－	－	－	－	－	－	♥	♥	♥	♥	♥	－	－	－	－	▲	▲	－	700 基本研修
1003 00	A	初任者研修(中・義)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。	初任者(中・義)	①4/22(火) ②6/10(火) ③7/15(火) ④7/24(木) ～8/1(金) ⑤2/17(火) 【開催要項を参照】	①勤務校 ②勤務校 ③勤務校 ④総合教育センター ⑤各地区の指定の場所	－	－	◆	－	－	－	－	－	－	♥	♥	♥	♥	♥	－	－	－	－	▲	▲	－	700 基本研修
1004 00	A	初任者研修(高)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。	初任者(高)	【開催要項を参照】	【開催要項を参照】	－	－	－	◆	－	－	－	－	－	♥	♥	♥	♥	♥	－	－	－	－	▲	▲	－	700 基本研修
1005 00	A	初任者研修(特)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。	初任者(特)	【開催要項を参照】	【開催要項を参照】	－	－	－	－	◆	－	－	－	－	♥	♥	♥	♥	♥	－	－	－	－	▲	▲	－	700 基本研修
1006 00	A	新規採用養護教諭研修(小・中・義)	教職の基礎形成を図るため、実践的指導力と教育公務員としての使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。	新規採用養護教諭(小・中・義)	【開催要項を参照】	【開催要項を参照】	－	◆	◆	－	－	－	－	－	－	－	－	♥	♥	♥	♥	♥	－	－	▲	－	－	700 基本研修
1007 00	A	新規採用養護教諭研修(高・特)	教職の基礎形成を図るため、実践的指導力と教育公務員としての使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。	新規採用養護教諭(高・特)	【開催要項を参照】	【開催要項を参照】	－	－	－	◆	◆	－	－	－	－	－	－	♥	♥	♥	♥	♥	－	－	▲	－	－	700 基本研修
1008 00	A	新規採用栄養教諭研修（小・中・義・特） （新規採用・任用替）	教職の基礎形成を図るため、専門職としての知識及び技能を習得するとともに、児童生徒の食生活に関する現状と課題を捉える。そして、栄養教諭としての職務を適切に遂行できる実践的指導力と教育公務員としての使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける。	新任栄養教諭(小・中・義・特)	①4/22(火)終日 ②6～7月頃 ③7月～10月頃 ④9～10月頃 ⑤12/4(木) 終日	①勤務校 ②未定 ③未定 ④未定 ⑤総合教育センター	－	◆	◆	－	◆	－	－	－	－	－	－	♥	♥	♥	－	－	♥	♥	▲	▲	－	700 基本研修
1009 00	A	新規採用実習助手研修(高)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高めるとともに、実習助手としての基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、授業準備や教諭と連携した指導方法等について学ぶことで実践的指導力を高める。	新規採用実習助手(高)	①4/24(木) ②6/5(木) ③10月28日(火) 又は11月4日(火) ④12月中旬頃PM	①勤務校 ②総合教育センター ③高等学校(教科別) ④高等学校または総合教育センター(教科別)	－	－	－	◆	－	－	－	－	－	♥	♥	♥	♥	♥	－	－	－	－	▲	▲	－	700 基本研修
1010 00	A	新規採用実習助手研修(特)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高めるとともに、特別支援学校での実習助手としての基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、授業準備や教諭と連携した指導・支援方法等について学ぶことで実践的指導力を高める。	新規採用実習助手(特)	①4/24(木)終日 ②6/5(木)終日 ③9月下旬 終日 ④未定 終日	①勤務校 ②総合教育センター ③④特別支援学校(未定)	－	－	－	－	◆	－	－	－	－	♥	♥	－	♥	－	－	－	－	－	▲	▲	－	700 基本研修

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内　容（ねらい、形態、日程等）	対　象	期　日	会　場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検　索
1011 00	A	６年目研修(小・義)	学校の中核教員として実践力の向上を図るため、学習指導を中心とした日々の実践を振り返り、専門的な知識を基盤とした実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	6年目教諭(小・義)	①5/8(木)PM 5/15(木)PM ②8/18(月)～8/22(金)のうち1日 ③選択した講座の開催要項を参照	①勤務校 ②岐阜大学または総合教育センター ③開催要項を参照	—	◆	—	—	—	—	○	—	—	♥	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	▲	▲	—	700 基本研修
1012 00	A	６年目研修(中・義)	学校の中核教員として実践力の向上を図るため、学習指導を中心とした日々の実践を振り返り、専門的な知識を基盤とした実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	6年目教諭(中・義)	①5/8(木)PM 5/15(木)PM ②8/18(月)～8/22(金)のうち1日 ③選択した講座の開催要項を参照	①勤務校 ②岐阜大学または総合教育センター ③開催要項を参照	—	—	◆	—	—	—	○	—	—	♥	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	▲	▲	—	700 基本研修
1013 00	A	６年目研修(高)	学校の中核教員として実践力の向上を図るため、学習指導を中心とした日々の実践を振り返り、専門的な知識を基盤とした実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	6年目教諭(高)	①6/20(金) ②8/18(月)～22(金)のうち1日 ③11/11(火)、11/18(火)	①勤務校 ②岐阜大学または総合教育センター ③総合教育センター	—	—	—	◆	—	—	○	—	—	♥	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	▲	▲	—	700 基本研修
1014 00	A	６年目研修(特)	学校の中核教員として実践力の向上を図るため、学習指導を中心とした日々の実践を振り返り、専門的な知識を基盤とした実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	6年目教諭(特)	①6/20(金) ②8月下旬	①勤務校 ②岐阜大学または総合教育センター	—	—	—	—	◆	—	○	—	—	♥	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	▲	▲	—	700 基本研修
1015 00	A	６年目研修(養護教諭)	学校の中核教員として実践力の向上を図るため、日々の実践を振り返り、専門的な知識を基盤とした実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	養護教諭(6年目)	①5/8(木) ②8/21(木) ③11/19(水)	①②③総合教育センター	—	◆	◆	◆	◆	—	○	—	—	—	—	♥	♥	♥	♥	♥	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1016 00	A	６年目研修(栄養教諭)	学校の中核教員として実践力の向上を図るため、日々の実践を振り返り、専門的な知識や実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	栄養教諭(6年目)	①5/8(木)終日 ②8/21(木)大学連携 ③10月初旬	①総合教育センター ②総合教育センター ③未定	—	◆	◆	—	◆	—	○	—	—	—	—	♥	♥	♥	—	—	♥	♥	▲	—	—	700 基本研修
☆1017 00	A	６年目研修(実習助手)(高)	日々の実践を振り返り、専門的な知識を基盤とした実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	6年目の実習助手または実習教諭	①6/20(金) ②12月中旬頃PM	①勤務校 ②高等学校または総合教育センター	—	—	—	◆	—	—	○	—	—	♥	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	▲	▲	—	700 基本研修
☆1018 00	A	６年目研修(実習助手)(特)	日々の実践を振り返り、専門的な知識を基盤とした実践的指導力を身に付けるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	6年目の実習助手または実習教諭	①6/20(金) ②未定	①勤務校 ②特別支援学校(未定)	—	—	—	—	◆	—	○	—	—	♥	♥	—	♥	—	—	—	—	—	▲	▲	—	700 基本研修
1019 00	A	中堅教諭等資質向上研修(幼・認)【12年目対象】	活力ある園運営の実践力の向上を図るため、教育公務員特例法第２４条等の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、幅広い知見を習得するとともに、園運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭としての指導力や教育公務員としての自覚を高める。	12年目教諭(幼・認)	①6/4(水) ②8/27(水) 【210200:感性を育む幼児教育講座】に申込む ③【210101:幼児教育指導力向上講座】または【210102:幼児教育指導力向上講座】に申込む	①総合教育センター ②総合教育センター ③指定幼稚園	◆	—	—	—	—	—	—	○	—	♥	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1020 00	A	中堅教諭等資質向上研修(小・義)【12年目対象】	活力ある学校運営のための実践力の向上を図るため、教育公務員特例法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、幅広い知見を習得するとともに、学校運営の中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭としての指導力や教育公務員としての自覚を高める。	12年目教諭(小・義)	①5/19(月) ②各教育事務所ごと指定	①総合教育センター ②各教育事務所	—	◆	—	—	—	—	—	○	—	♥	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1021 00	A	中堅教諭等資質向上研修(中・義)【12年目対象】	活力ある学校運営のための実践力の向上を図るため、教育公務員特例法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、幅広い知見を習得するとともに、学校運営の中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭としての指導力や教育公務員としての自覚を高める。	12年目教諭(中・義)	①5/19(月) ②各教育事務所ごと指定	①総合教育センター ②各教育事務所	—	—	◆	—	—	—	—	○	—	♥	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修

講座番号 （☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～ （◆：履歴に残さない講座）	内　　容 （ねらい、形態、日程等）	対　象	期　　日	会　　場	校　種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検　索
							幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
1022 00	A	中堅教諭等資質向上研修(高) 【12年目対象】	活力ある学校運営の実践力の向上を図るため、教育公務員特例法第24条に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、幅広い知見を習得するとともに、学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教員として、学習指導の力、生徒指導の力及び経営・分掌を推進する力の向上を図る。	12年目教諭(高)	①6/27(金) ②12/5(金)	①勤務校 ②総合教育センター	―	―	―	◆	―	―	―	○	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	▲	▲	―	700 基本研修
1023 00	A	中堅教諭等資質向上研修(特) 【12年目対象】	活力ある学校運営の実践力の向上を図るため、教育公務員特例法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、幅広い知見を習得するとともに、学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭として、学習指導の力、生徒指導の力及び経営・分掌を推進する力の向上を図る。	12年目教諭(特)	①6/27(金) ②12/5(金)	①勤務校 ②総合教育センター	―	―	―	―	◆	―	―	○	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	▲	▲	―	700 基本研修
1024 00	A	中堅教諭等資質向上研修(養護教諭) 【12年目対象】	活力ある学校運営の実践力の向上を図るため、教育公務員特例法第24条に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、幅広い知見を習得するとともに、学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教員として、専門的知識、指導力の向上及び経営・分掌を推進する力の向上を図る。	養護教諭(12年目)	①5/19(月) ②7/25(金) ③12/4(木)	①②③総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	―	―	○	―	―	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	▲	―	―	700 基本研修
1025 00	A	中堅教諭等資質向上研修(栄養教諭) 【12年目対象】	活力ある学校運営の実践力の向上を図るため、食の今日的な課題を踏まえ、中堅の栄養教諭としての自覚を高めるとともに、専門的な知識の習得、指導力の向上を図る。	栄養教諭(12年目)	①5/19(月) ②7/25(金) ③12/4(木)	①総合教育センター ②総合教育センター ③総合教育センター	―	◆	◆	―	◆	―	―	○	―	―	―	♥	♥	♥	―	―	♥	♥	▲	―	―	700 基本研修
☆1026 00	A	中堅教諭等資質向上研修(実習助手)(高) 【12年目対象】	活力ある学校運営の実践力向上のため、今日的課題を踏まえ、中堅の実習助手として自覚を高めるとともに、専門的な知識、指導力の向上を図る。	12年目の実習助手または実習教諭	①6/27(金) ②教科ごとによる	①勤務校 ②高等学校または総合教育センター	―	―	―	◆	―	―	―	○	―	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	▲	▲	―	700 基本研修
☆1027 00	A	中堅教諭等資質向上研修(実習助手)(特) 【12年目対象】	活力ある学校運営の実践力向上のため、今日的課題を踏まえ、中堅の実習助手として自覚を高めるとともに、専門的な知識、指導力の向上を図る。	12年目の実習助手または実習教諭	①6/27(金) ②未定	①勤務校 ②特別支援学校(未定)	―	―	―	―	◆	―	―	○	―	♥	♥	―	♥	―	―	―	―	―	▲	▲	―	700 基本研修
1028 00	A	新規常勤講師研修(小・中・義)	小学校・中学校・義務教育学校の新規常勤講師に対し、初任者校内研修に準じた研修を実施し、教職員として必要な資質・能力を身に付け、実践できるようにする。	新規採用常勤講師 (実施要項を参照)	実施要項を参照	実施要項を参照	―	◆	◆	―	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	700 基本研修
1029 00	A	常勤講師研修(高)	本講座の受講経験がない常勤講師を対象に、教職の基礎を固めるため、生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを基盤とした実践的指導力を高めるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	新採用常勤講師(高)	①4/24(木) ②6/5(木)	①勤務校 ②総合教育センター	―	―	―	◆	―	―	―	―	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	▲	▲	―	700 基本研修
1030 01	A	常勤講師研修(特)	本講座の受講経験がない常勤講師を対象に、教職の基礎を固めるため、児童生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを基盤とした実践的指導力を高めるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	本講座の受講経験のない常勤講師	①4/24(木) ②6/5(木)	①勤務校 ②総合教育センター	―	―	―	―	◆	―	―	―	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	▲	▲	―	700 基本研修
1030 02	A			希望者	9月下旬	特別支援学校(未定)	―	―	―	―	◆	―	―	―	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	▲	―	―	700 基本研修
1031 00	A	養護助教諭研修(小・中・義)	本講座の受講経験がない養護助教諭を対象に、教職の基礎を固めるため、児童生徒理解や、保健室経営等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得することで実践的指導力を高めるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	本講座の受講経験がない養護助教諭(小・中・義)	10/9(木)PM	勤務校	―	◆	◆	―	―	―	―	―	―	―	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	▲	―	700 基本研修
1032 00	A	養護助教諭研修(高・特)	本講座の受講経験がない養護助教諭を対象に、教職の基礎を固めるため、児童生徒理解や、保健室経営等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得することで実践的指導力を高めるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	本講座の受講経験がない養護助教諭(高・特)	①4/24(木)終日 ②10/9(木)PM	①総合教育センター ②勤務校	―	―	―	◆	◆	―	―	―	―	―	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	▲	▲	―	700 基本研修
1033 00	A	市町村立小中学校等事務職員1年目研修	1年目の市町村立小中学校等事務職員として、職務に必要な知識及び技能を習得するとともに、事務職員としての使命感の高揚と勤務の能率化・円滑化を図る。	1年目小中学校等事務職員	①4/16(水)終日 ②7/28(月)終日 ③11/7(金)終日	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	700 基本研修
1034 00	A	市町村立小中学校等事務職員3年目研修	3年目の市町村立小中学校等事務職員として、職務に必要な知識及び技能を習得するとともに、事務職員としての使命感の高揚と勤務の能率化・円滑化を図る。	3年目小中学校等事務職員	7/29(火)終日	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	700 基本研修

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）	対象	期日	会場	校種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検索
							幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
☆1035 00	A	市町村立小中学校等事務職員5年目研修	5年目の市町村立小中学校等事務職員として、職務に必要な知識及び技能を習得するとともに、事務職員としての使命感の高揚と勤務の能率化・円滑化を図る。	5年目小中学校等事務職員	8/20(水)終日	総合教育センター	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1036 00	A	新任県立学校司書研修(高特)	県立学校図書館運営に関わる基本的な内容についての講義・実習を通して、学校司書としての使命感を高め、資質の向上を図る。	新任県立学校司書(高特)	①4月上旬 ②10月	①総合教育センター ②勤務校	—	—	—	◆	◆	—	—	—	—	♥	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1037 01	A	臨時的任用実習助手研修(高)	本講座の受講経験がない実習助手を対象に、教職の基礎を固めるため、実習助手としての基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、授業準備や教諭と連携した指導方法等について学ぶことで実践的指導力を高めるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	受講経験がない実習助手	①4/24(木) ②6/5(木)	①勤務校 ②総合教育センター	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	▲	▲	—	700 基本研修
1037 02	A			希望者	③10月28日(火) 又は11月4日(火) ④12月中旬頃PM	③高等学校(教科別) ④高等学校または総合教育センター(教科別)	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	▲	▲	—	700 基本研修
1038 01	A	臨時的任用実習助手研修(特)	本講座の受講経験がない実習助手(臨時的任用)を対象に、教職の基礎を固めるため、特別支援教育についての基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを基盤とした実践的指導力を高めるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	本講座の受講経験のない臨時的任用実習助手	①4/24(木) ②6/5(木)	①勤務校 ②総合教育センター	—	—	—	—	◆	—	—	—	—	♥	♥	—	♥	—	—	—	—	—	▲	▲	—	700 基本研修
1038 02	A			希望者	9月下旬	特別支援学校(未定)	—	—	—	—	◆	—	—	—	—	♥	♥	—	♥	—	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1039 01	A	特別支援学校採用教員研修	特別支援学校の教諭として必要な児童生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを基盤とした実践的指導力を高める。 【研修講座111801,111802と同日程で実施】	初任者研修免除者(受講済みの者)	①5/13(火) ②6/10(火) ③9/2(火)	①②③総合教育センター	—	—	—	—	◆	—	—	—	—	♥	♥	—	♥	♥	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1039 02	A			希望者	9月下旬	特別支援学校(未定)	—	—	—	—	◆	—	—	—	—	♥	♥	—	♥	♥	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
基本研修　職務研修																												
☆1101 01	A	校長研修(小・中・義)	校長として、本県における教育行政上の基本的事項や校長の役割について理解を深めるとともに、組織を動かしたり危機に的確に対応したりするマネジメント能力の伸長を図り、学校経営に必要な資質・能力を育むために、講義を通して学ぶ。	校長(小・中・義)	4/23(水) PM	勤務校	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—									—	▲	—	700 基本研修
1101 02	A	新任校長研修(小・中・義)	新任校長として、本県における教育行政上の基本的事項や校長の役割について理解を深めるとともに、組織を動かしたり危機に的確に対応したりするマネジメント能力の伸長を図り、学校経営に必要な資質・能力を育むために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。	新任校長(小・中・義)	①4/23(水) PM ②5/16(金) PM ③6/18(水) 終日 ④10/28(火) PM ⑤文部科学省主催校長研修(オンデマンド配信)を予定(実施時期未定)	総合教育センター 勤務校 各教育事務所 ※各開催要項を参照	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—									▲	▲	▲	700 基本研修
1102 00	A	新任校長研修(高・特)	新任校長として、本県における教育行政上の基本的事項や校長の役割について理解を深めるとともに、組織を動かしたり危機に的確に対応したりするマネジメント能力の伸長を図り、学校経営に必要な資質や能力を育むために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。 **※【要確認】申込→学校で承認まで4月9日に行ってください。**	新任校長(高・特)	①4/14(月) 終日 ②5/29(木) 終日 ③6/18(水) 終日 ④10/28(火) PM ⑤文部科学省主催新任校長研修(オンデマンド配信)を予定(実施時期未定)	総合教育センター 勤務校 ※各開催要項を参照	—	—	—	◆	◆	—	—	—	—									▲	▲	▲	700 基本研修
1103 00	A	新任副校長研修(高・特)	新任副校長として、本県における教育行政上の基本的事項や副校長の役割について理解を図るとともに、校長を助け、組織を動かしたり危機に的確に対応したりするマネジメント能力の伸長を図り、学校経営に必要な資質や能力を育むために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。	新任副校長(高・特)	5/29(木)終日	総合教育センター	—	—	—	◆	◆	—	—	—	—									▲	—	—	700 基本研修
1104 00	A	新任教頭研修(小・中・義)	新任教頭として、本県における教育行政上の基本的事項や教頭の役割について理解を深めるとともに、校長を補佐し、校務を整理し、保護者や地域から信頼される学校経営の推進に必要な資質・能力の向上を図るために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。 **※【要確認】申込→学校で承認まで4月9日に行ってください。**	新任教頭(小・中・義)	①4/16(水) AM ②5/7(水) PM ③6/4(水) PM ④6/23(月) PM ⑤教育事務所毎に設定 ⑥指定研修から1日分を選択	勤務校 各教育事務所 ※各開催要項を参照	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	♥	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	▲	▲	—	700 基本研修

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）	対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
1105 00	A	新任教頭研修(高・特)	新任教頭として、本県における教育行政上の基本的事項や教頭の役割について理解を深めるとともに、校長を補佐し、校務を整理し、保護者や地域から信頼される学校経営を推進するために必要な資質や能力の向上を図るために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。 ※【要確認】申込→学校で承認まで4月9日に行ってください。	新任教頭(高・特)	①4/10(木) 終日 ②5/9(金) 終日 ③6/23(月) 終日 ④10/3(金) 終日 ⑤指定研修から1講座選択	総合教育センター ※各開催要項を参照	－	－	－	◆	◆	－	－	－	－	♥	♥	♥	♥	♥	－	－	－	－	▲	▲	－	700 基本研修
1106 00	A	新任部主事研修(特)	新任部主事として、本県における教育行政上の基本的事項や部主事の役割について理解を深めるとともに、学部組織を協働的に経営するため資質や能力の向上を図る。	新任部主事	①4/18(金) ②5/23(金)	総合教育センター	－	－	－	－	◆	－	－	－	－	♥	♥	♥	♥	－	－	－	－	－	▲	－	－	700 基本研修
1107 00	A	新任主幹教諭研修(小・中・義)	新任主幹教諭として、主幹教諭の役割について理解を深めるとともに、生徒指導、へき地教育に関わる学校の課題に対して、校種や地域をまたいで組織的、機動的に問題解決するなど、必要な資質・能力の育成を図るために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。	新任主幹教諭(小・中・義)	①4/30(水) PM ②7/28（月） ※スクールリーダー養成研修Ａと同日 ③9/29（月）SRA	総合教育センター 勤務校 ※各開催要項を参照	－	◆	◆	－	－	－	－	－	－	－	♥	♥	♥	♥	－	－	－	－	▲	▲	－	700 基本研修
1108 00	A	新任指導教諭研修(小・中・義)	新任指導教諭として、指導教諭の役割について理解を深めるとともに、特別支援教育、多文化共生に関わる基本的な事項についての幅広い知見を身に付けるなど、必要な資質・能力の向上を図るために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。	新任指導教諭(小・中・義)	①4/21(月) 終日 ②多文化共生・特別支援教育の指定研修から1講座選択	総合教育センター ※各開催要項を参照	－	◆	◆	－	－	－	－	－	－	－	♥	♥	♥	♥	－	－	－	－	▲	▲	－	700 基本研修
1109 01	A	新任３主任研修(高・特)	新任3主任（教務主任・生徒指導主事・進路指導主事）としての職務を円滑に行うため、役割や各分掌の業務の基本事項について理解を図るとともに、組織マネジメントや労務管理について、講義や交流を通して学ぶ。 01:教務主任	左記の新任	4/17(木)PM	勤務校	－	－	－	◆	◆	－	－	－	－	♥	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	700 基本研修
1109 02	A		02:生徒指導主事	左記の新任	4/17(木)PM	勤務校	－	－	－	◆	◆	－	－	－	－	－	♥	♥	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	700 基本研修
1109 03	A		03:進路指導主事	左記の新任	4/17(木)PM	勤務校	－	－	－	◆	◆	－	－	－	－	♥	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	700 基本研修
1110 00	A	新任研修主事研修(小・中・義)	研修主事として、研修主事の役割について理解を図るとともに、教職員の資質向上や学校課題への対応に向けた校内研修や日常的な校内での学びを活性化するための資質・能力の育成を図る。 【こちらを申し込んだ方は、合わせて、研修主事研修111001～111006より自校の地区で申込をしてください。】	新任研修主事及び希望する研修主事	5/1(木)PM	勤務校	－	◆	◆	－	－	－	－	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	700 基本研修
1110 01	A	研修主事研修(小・中・義)	教職員の資質向上や学校課題への対応に向けた校内研修を通した学び合い文化の醸成を目指すために、日常的な校内での学びを活性化させるための資質・能力の育成を図る。(各地区事務所参集)	岐阜地区の研修主事	11/19(水)PM	総合教育センター	－	◆	◆	－	－	－	－	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	700 基本研修
1110 02	A			西濃地区の研修主事		西濃総合庁舎																						700 基本研修
1110 03	A			美濃地区の研修主事		中濃総合庁舎																						700 基本研修
1110 04	A			可茂地区の研修主事		可茂総合庁舎																						700 基本研修
1110 05	A			東濃地区の研修主事		恵那総合庁舎																						700 基本研修
1110 06	A			飛騨地区の研修主事		飛騨総合庁舎																						700 基本研修
1111 00	A	研修主事研修(高・特)	研修主事として、研修主事の役割について理解を図るとともに、教職員の資質向上や学校課題への対応に向けた校内研修や日常的な校内での学びを活性化するための資質や能力の育成を図る。	研修主事(高・特)	①4/18(金)終日 ②10/31(金)終日	①総合教育センター ②総合教育センター	－	－	－	◆	◆	－	－	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	700 基本研修
1112 00	A	県立学校ＩＣＴ活用担当者研修(高・特)	県立学校のＩＣＴ環境整備を踏まえ、各学校の教育活動における効果的なＩＣＴ活用に向け、現状の把握と活用に向けた具体的な取組方法を共有し、日々の実践に生かすための活用力を身に付ける。	ICT活用担当者(高・特)	5/26(月)	総合教育センター	－	－	－	◆	◆	－	－	－	－	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	700 基本研修
1113 01	A	県立学校情報管理担当者研修(高・特)	校務用パソコンや校内ネットワークの管理、コンピュータウイルス対策のための知識及び技術などについて理解する。 01:岐阜地区の学校(高・特)	情報管理担当者(高・特)	6/16(月)PM	総合教育センター	－	－	－	◆	◆	－	－	－	－	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	700 基本研修
1113 02	A		02:西濃地区の学校(高・特)		6/3(火)PM	大垣西高等学校																						700 基本研修
1113 03	A		03:中濃地区の学校(高・特)		6/5(木)PM	関高等学校																						700 基本研修
1113 04	A		04:東濃地区の学校(高・特)		6/10(火)PM	多治見工業高等学校																						700 基本研修
1113 05	A		05:飛騨地区の学校(高・特)		6/20(金)PM	飛騨高山高等学校																						700 基本研修

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
1114 00	A	県立学校はじめての情報管理担当者研修(高・特)	学校間総合ネットの概要や手続きの方法、授業での利活用などの基礎的な知識を、演習を通して身に付ける。		新任情報管理担当者(高・特)	4/14(月)PM	総合教育センター	—	—	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	♥	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1115 01	A	校務支援システム(e-教務)担当者研修(高)	校務支援システム担当者に対して、エフワンより、基礎から応用までの操作方法について、研修を行う。＊初めて担当になった、久しぶりに担当になったなど、校務支援システムの操作に不安があるものは受講を強く勧める。	01:(web研修) 基本的な機能、操作について	校務支援システム担当者(希望者)	4/24(木)PM	勤務校	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	♥	—	♥	—	—	—	—	—	▲	—	700 基本研修
1115 02	B			02:(web研修) 年次更新作業の方法について	校務支援システム担当者(希望者)	2/12(木)PM	勤務校	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	♥	—	♥	—	—	—	—	—	▲	—	700 基本研修
1116 01	A	特別支援学級(小・義)・言語通級指導教室　新任担当教員研修	児童一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な知識や実践的な指導力及び学級経営力を身に付ける。 言語通級指導教室担当者の2日目は、【研修講座241400で実施】	01:岐阜地区	新任特別支援学級担任・言語通級指導教室担当	①5/28(水) ②小義8/1(金) ②言語7月25日（金） ③9・10・11月初旬までの個人設定日に在勤校研修1日 ④岐阜11/27(木) 西濃12/10(水) 美濃11/28(金) 可茂12/4(木) 東濃11/17(月) 飛騨12/1(月)	①②③勤務校 （②言語担当者は、総合教育センター） ④教育事務所の指定の場所及び勤務校	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	♥	—	—	—	—	—	▲	▲	▲	700 基本研修
1116 02	A			02:西濃地区																									700 基本研修
1116 03	A			03:美濃地区																									700 基本研修
1116 04	A			04:可茂地区																									700 基本研修
1116 05	A			05:東濃地区																									700 基本研修
1116 06	A			06:飛騨地区																									700 基本研修
1117 01	A	特別支援学級(中・義)　新任担当教員研修	児童一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な知識や実践的な指導力及び学級経営力を身に付ける。	01:岐阜地区	新任特別支援学級担任	①5/28(水) ②7/29(火) ③9・10・11月初旬までの個人設定日に在勤校研修1日 ④岐阜11/27(木) 西濃12/10(水) 美濃11/28(金) 可茂12/4(木) 東濃11/17(月) 飛騨12/1(月)	①②③勤務校 ④教育事務所の指定の場所及び勤務校	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	♥	—	—	—	—	—	▲	▲	▲	700 基本研修
1117 02	A			02:西濃地区																									700 基本研修
1117 03	A			03:美濃地区																									700 基本研修
1117 04	A			04:可茂地区																									700 基本研修
1117 05	A			05:東濃地区																									700 基本研修
1117 06	A			06:飛騨地区																									700 基本研修
1118 01	A	特別支援学校　新任担当教員研修(特)	特別支援学校の教諭として必要な児童生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを基盤とした実践的指導力を高める。 【研修講座103901,103902と同日程で実施】		新任特別支援学校担任(小中籍)	①5/13(火) ②6/10(火) ③9/2(火)	①②③総合教育センター	—	—	—	—	◆	—	—	—	—	♥	♥	—	♥	♥	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1118 02	A				希望者	9月下旬	特別支援学校(未定)	—	—	—	—	◆	—	—	—	—	♥	♥	—	♥	♥	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1119 00	A	特別支援学校介護員･介護専門職研修	介護員・介護専門職として、自己課題に応じて知識及び技能を習得して専門性の向上を図る。			年度内	各自による	—	—	—	—	◆	—	—	—	—	♥	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	▲	▲	▲	700 基本研修
1120 00	A	特別支援学校寄宿舎指導員研修	特別支援学校の寄宿舎指導員として、自己課題に応じて知識及び技能を習得して専門性の向上を図る。			年度内	各自による	—	—	—	—	◆	—	—	—	—	♥	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	▲	▲	▲	700 基本研修
1121 00	A	市町村立小中学校等事務職員主任研修	市町村立小中学校等事務職員の主任として、主体的に学校運営に参画するために必要な知識及び技能を習得するとともに、事務主任としての使命感の高揚を図る。		新任主任小中学校等事務職員	7/24(木)終日	総合教育センター	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1122 00	A	市町村立小中学校等事務職員主査研修	市町村立小中学校等事務職員の主査として、組織的に学校運営に参画するために必要な知識及び技能を習得するとともに、事務主査としての使命感の高揚を図る。		新任主査小中学校等事務職員	7/23(水)終日	総合教育センター	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1123 00	A	市町村立小中学校等事務職員課長補佐研修	市町村立小中学校等事務職員の課長補佐として、学校運営を適切に補佐するために必要な知識及び技能を習得するとともに、課長補佐としての使命感の高揚を図る。		新任課長補佐小中学校等事務職員	7/25(金)終日	総合教育センター	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修
1126 00	A	学校司書エリアマネージャー研修(高)	県立学校図書館支援に必要な知識やスキル、学校図書館を取り巻く最新の動向について再確認するとともに、エリアマネージャーとしての使命や心構えを学ぶ。		学校司書(係長・高)	5/14(水)終日	総合教育センター	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	700 基本研修

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）	対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
1127 00	A	事例を通して学ぶいじめ事案対応研修(小中義全ての校長)	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、管理職として平素から何に気を付けておくべきなのか、またいじめと疑われる事案の情報を受けたとき、何に留意する必要があるのか等、弁護士を講師に迎え、法に基づいた対応について、具体的な事例を通して学ぶ。	小中義全ての校長	5/21(水) 14:00～16:00 【112800】と同時に開催	勤務校(各校1回線)	―	◆	◆	―	―	―	―	―	○										―	▲	―	700 基本研修
1128 00	A	事例を通して学ぶいじめ事案対応研修(小中義全ての生徒指導主事)	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、生徒指導主事として平素から何に気を付けておくべきなのか、またいじめと疑われる事案の情報を受けたとき、何に留意する必要があるのか等、弁護士を講師に迎え、法に基づいた対応について、具体的な事例を通して学ぶ。	小中義全ての生徒指導主事	5/21(水) 14:00～16:00 【112700】と同時に開催	勤務校(各校1回線)	―	◆	◆	―	―	―	○	○	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	700 基本研修
1129 00	A	事例を通して学ぶいじめ事案対応研修～高・特の全ての管理職、生徒指導主事等～	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、管理職又は生徒指導主事として平素から何に気を付けておくべきなのか、またいじめと疑われる事案の情報を受けたとき、「学校いじめ対策組織」として、どのように対処すべきなのについて研修する。また、弁護士から法に基づいた対処方法や事例について、グループ演習形式で学ぶ。	高・特全ての管理職、生徒指導主事 （学校いじめ対策組織の主要メンバーも参加可）	6/5(木)PM	勤務校	―	―	―	◆	◆	―	―	―	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	700 基本研修
1130 00	A	事例を通して学ぶいじめ事案対応研修～高・特の生徒指導主事、教育相談担当、養護教諭、生徒指導担当等～	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、教職員として平素から何に気を付けておくべきなのか、また、いじめと疑われる事案を発見したとき、どのように初動対応すべきなのかを、事例研究を通してグループ演習形式で学ぶ。	高・特 【悉皆】生徒指導主事、教育相談担当、学年主任、養護教諭、生徒指導担当、担任・副担任等	5/29(木)PM	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	700 基本研修
選択研修　重点講話																												
2001 01	A	重点講話①　DX情報社会 情報活用能力を段階的に育むには？	小・中・高の発達段階に応じた情報活用能力を育成するために、岐阜県の情報教育の現状と改善点やこれからの情報教育を踏まえた、情報活用能力の育成について、元文部科学省視学官及び教科調査官の対談を通して学ぶ。	集合	7/7(月)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	♥	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	600 重点講話
2001 02	A			オンライン	7/7(月)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	♥	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	600 重点講話
2002 01	A	重点講話②　教育課程 令和の日本型学校教育～現行から次期学習指導要領を見据えて～	次期学習指導要領に向けた中教審の諮問を受け、現行の学習指導要領で求められていることを理解した上で日々の教育実践をするために、学習指導要領作成を総括してきた元文部科学省教育課程課教育課程企画室長の立場から、これからの教育課程を見据えた講話をいただくことにより、令和の日本型教育について学ぶ。	集合	9/11(木)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	600 重点講話
2002 02	A			オンライン	9/11(木)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	600 重点講話
2003 01	A	重点講話③　人権教育 核兵器のない平和な世の中を願う～新たな被爆者を生まないための活動を通して～	世界平和の実現と戦争による人権侵害の回復を求めるために、ノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会事務局長の木戸氏が結成から今日に至るまで、核兵器のない平和な世界を切に願い、訴え続けてきた思いやその背景などについて講演をいただくことで、平和と人権について考える。	集合	10/30(木)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	600 重点講話
2003 02	A			オンライン	10/30(木)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	600 重点講話
2004 00	B	重点講話④　特別支援教育 インクルーシブ教育の推進と学校現場での取り組み	現行の特別支援学校教育要領・学習指導要領解説の作成に携わった講師から、重度の心身障害を抱える子供の学習到達度チェックリスト（Sスケール）の具体的な活用方法や、インクルーシブ教育の視点からの授業づくりに関する講演をいただくことで、学習支援の本質について学ぶ。	オンライン	11/6(木)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	♥	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	―	600 重点講話
選択研修　スクールリーダーアラカルト研修																												
2011 00	A	スクールリーダーアラカルト研修 【リスクマネジメント】 学校外への説明責任	学校におけるリスクマネジメントについて理解を深めるため、具体的な事例に基づいて、学校側の対応や模擬保護者説明会の演習を行い、学校外への説明責任を果たすとはどういうことかを学ぶ。 ※【要確認】申込→学校で承認まで4月10日までに行ってください。	校長(園長)、副校長(副園長)	4/14(月)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	―	―	―	○										▲	―	―	300 管理職等
2012 01	A	スクールリーダーアラカルト研修 【業務改善】 教員のウェルビーイングを高める「働きやすさ・働きがい」改革	教師の働き方改革推進と同時に、やりがい・働きがいの向上を目指すため、学校を教職員のウェルビーイング実現の場とする方向性について、講義や演習を通じて考える。 01:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭を除く)、部主事の希望者	左記のとおり	6/11(水)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	―	―	―	○	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	300 管理職等
2012 02	A		02:新任教頭研修選択研修希望者	左記のとおり	6/11(水)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	―	―	―	○	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	300 管理職等
2012 03	A		03:所属長が認めた教職員(管理職以外)	左記のとおり	6/11(水)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	―	―	○	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	300 管理職等

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
2014 01	B	スクールリーダーアラカルト研修【生徒指導】『生徒指導提要(改訂版)』が示すこれからの生徒指導の方向性	生徒指導提要改訂の背景とポイント、学校現場での活用の方向性について理解するため、児童生徒の成長・発達を支援するチーム学校としての生徒指導のあり方について、講義を通して学ぶ。	01:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭を除く)、部主事の希望者	左記のとおり	9/29(月)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	○	—	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	300 管理職等
2014 02	B			02:新任教頭研修選択研修希望者	左記のとおり	9/29(月)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	○	—	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	300 管理職等
2014 03	B			03:所属長が認めた教職員(管理職以外)	左記のとおり	9/29(月)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	○	—	—	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	300 管理職等
2015 01	B	スクールリーダーアラカルト研修【人材育成】人を育てる仕事のあり方	個々の職員の資質や能力、適性を生かして、自己の能力を最大限発揮できる体制づくりのため、組織編成や人員配置、次代を担う教職員の育成の方策について、講義や演習を通じて学ぶ。	01:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭を除く)、部主事の希望者	左記のとおり	11/17(月)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	300 管理職等
2015 02	B			02:新任教頭研修選択研修希望者	左記のとおり	11/17(月)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	300 管理職等
2015 03	B			03:所属長が認めた教職員(管理職以外)	左記のとおり	11/17(月)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	○	—	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	300 管理職等
2016 01	B	スクールリーダーアラカルト研修【教育課程・ICT】ICTによる授業改善と校内研修の改革、学校DXの実現に向けて管理職として身に付けるべきリテラシー	「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を推進するため、ICT活用や校内研修の改革、学校DXの推進について、講義や演習を通じて学ぶ。	01:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭を除く)、部主事の希望者	左記のとおり	9/22(月)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	○	♥	—	♥	—	♥	—	—	—	—	▲	—	—	300 管理職等
2016 02	B			02:新任教頭研修選択研修希望者	左記のとおり	9/22(月)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	○	♥	—	♥	—	♥	—	—	—	—	▲	—	—	300 管理職等
2016 03	B			03:所属長が認めた教職員(管理職以外)	左記のとおり	9/22(月)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	○	—	♥	—	♥	—	♥	—	—	—	—	▲	—	—	300 管理職等
2017 01	B	スクールリーダーアラカルト研修【危機管理・わいせつ対応】「性犯罪から子どもを守る」4つの前提条件を理解して、よりよい就業環境を考える	学校でのわいせつやセクシャルハラスメントによる問題や犯罪を防止するため、4つの前提条件やストレスの解消、職場環境の改善について、講義を通じて考える。	01:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭を除く)、部主事の希望者	左記のとおり	10/28(火)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	300 管理職等
2017 02	B			02:新任教頭研修選択研修希望者	左記のとおり	10/28(火)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	300 管理職等
2017 03	B			03:所属長が認めた教職員(管理職以外)	左記のとおり	10/28(火)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	○	—	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	300 管理職等
2018 00	B	スクールリーダーアラカルト研修【学校マネジメント演習】令和の学校マネジメント(情報収集)	「正解」「唯一解」のない学校マネジメントに対応するため、各自の思考や行動の特徴について、ワークショップを通じてメタ認知し、より広い視野で判断・行動できる方策を共に学ぶ。		校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(高特の新任教頭を除く)の希望者	10/3(金)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	○	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	▲	—	—	300 管理職等
☆2019 00	A	スクールリーダーアラカルト研修【学校組織マネジメント】学校危機管理	組織を動かしたり、危機に的確に対応したりするため、人材育成や学校経営マネジメントについて、コーチングに関する講義や演習を通じて、組織的な不祥事対策を共に考える。		校長（園長）、副校長（副園長）	5/29（木）PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	300 管理職等
選択研修　学習指導　（内容中の★は重点項目）																													
2101 01	A	幼児教育指導力向上講座～環境構成の工夫や関わり方について考えよう～	幼児の自発的な活動としての遊びを生み出すために必要な環境構成の工夫や関わり方について、園長による講話や園内参観、園内参観を踏まえての交流や講義を通して研修し、ミドルリーダーに求められる実践的指導力の向上を図る。	01:公立幼稚園会場		10/28(火)	本巣市立真桑幼児園	◆	—	—	—	◆	○	○	○	—	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	200 幼児教育
2101 02	A			02:私立幼稚園会場		10/6(月)	はなぞの幼稚園	◆	—	—	—	◆	○	○	○	—	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	200 幼児教育
2102 00	A	感性を育む幼児教育講座～豊かな感性をもち、遊びや活動を楽しむ子どもを育てよう～	「運動遊び」「造形活動」「音楽表現」について、幼児の発達の段階に応じた適切な指導の在り方を理解し、保育における実践的な指導力を高める。		中堅教諭等資質向上研修(幼・認)を受講中の教員及び幼児教育について学びたい教員	8/27(水)	総合教育センター	◆	◆	—	—	◆	○	○	○	○	♥	—	—	♥	—	—	—	—	—	▲	—	—	200 幼児教育
2103 01	B	感性を育む絵画指導講座(幼・保・認・小(低)・義・特)～子どもの絵について、体験しながら考える一日～	絵画表現において子どもの感性を育むために、実技や講義、演習を通して、遊びの特性を生かした指導や仲間との交流、用具の適切な扱い方等の指導のポイントについて共に考える。			10/8(水)終日	岐阜県美術館	◆	◆	—	—	◆	○	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	200 幼児教育
2103 02	B					10/10(金)終日	岐阜県美術館																						200 幼児教育

講座番号 （☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～ （◆：履歴に残さない講座）	内　　容 （ねらい、形態、日程等）		対　象	期　　日	会　　場	校　種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検　索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
2104 00	B	幼保小連携講座 ～「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を通してつながろう～	幼児期の学びと小学校教育を円滑に接続し、学びの連続性が図られる、施設間、学校段階間の連携の在り方や、「接続期カリキュラム」の編成、改善について、講話や実践交流、演習を通して研修し、両者の教育と幼保小連携への理解の伸長を図る。			10/30(木)	総合教育センター	◆	◆	－	－	◆	－	○	○	－	♥	♥	♥	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	200 幼児教育
☆2105 01	A	他校種の教育活動から学ぶ ～校種の異なる学校の教育活動の参観を通して、発達段階に応じた指導を学ぶ～	学習指導や生徒指導、キャリア教育、特別支援教育等についての知見を習得するため、他校種の教育活動の参観を通して、児童生徒の成長の背景、発達段階に応じた指導を学ぶ。 ※小・中・義務教育学校の中堅教諭等資質向上研修の選択研修「校種の異なる学校等を訪問して行う研修」とすることが可能です。 ※小・中・義務教育学校の6年目研修の選択研修とすることが可能です。 ※小・中・義務教育学校の基礎形成研修の校外研修には代替できません。	01:専門学科・総合学科設置高等学校(全日制・定時制)の教育活動を参観して学ぶ。 （受講者が申込をした学校が指定する日時に各自集合する。）	小・中・義務教育学校の中堅教諭等資質向上研修対象者、 小・中・義務教育学校の7～11年目対象者、 小・中・義務教育学校の6年目研修対象者、 小・中・義務教育学校の希望者	日程調整中	希望調査中	－	◆	◆	－	－	○	○	○	○	♥	♥	♥	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
☆2105 02	A			02:特別支援学校の教育活動を参観して学ぶ。 （受講者が申込をした学校が指定する日時に各自集合する。）		日程調整中	希望調査中	－	◆	◆	－	－	○	○	○	○	♥	♥	♥	♥	－	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2106 00	A	食育・環境教育実践講座 ～土にふれよう、楽しく育てよう！～	園や学校で実施する食育活動や環境教育について、その指導力を高めるために、栽培や環境学習に関する基礎を学ぶとともに、演習、交流を通して実践力を身に付ける。			6/13(金)	総合教育センター	◆	◆	◆	－	◆	○	○	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	205 食育・環境教育
2107 00	A	小学校授業セレクト講座(小･義) ～教科の本質や指導のポイントを学び、楽しい授業づくりを目指そう～	教科の資質・能力を育成するために、講義や演習を通して、教科の本質や指導のポイント、子供が主体となる授業改善の基礎を学ぶ。 1コマ目　音楽・図工・家庭から1教科選択 2コマ目　国語・算数・外国語から1教科選択 3コマ目　社会・理科・体育から1教科選択 ※申し込みの段階で、3コマの第１希望を記入する。		初めて小学校で授業を行う教員及び小学校の授業力向上を目指す教員	6/9(月)	総合教育センター	－	◆	－	－	－	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2108 01	B	◆各教科の実践に関わるオンライン相談会 ～あなたの困り感に寄り添います。～	各教科の実践に関わる様々な疑問に対して指導主事が共に、単元(題材)づくり、単位時間づくり、教科の指導法など、先生方の相談・質問に対応した相談会を行う。 ※年度途中からの参加も可能。 【相談会という趣旨であるため、研修として履歴には残りません。】	01:国語		相談の上決定	勤務校	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	100 教科全般
2108 02	B			02:社会		相談の上決定	勤務校	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	100 教科全般
2108 03	B			03:算数、数学		相談の上決定	勤務校	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	100 教科全般
2108 04	B			04:理科		相談の上決定	勤務校	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	100 教科全般
2108 05	B			05:音楽		相談の上決定	勤務校	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	100 教科全般
2108 06	B			06:図画工作、美術		相談の上決定	勤務校	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	100 教科全般
2108 07	B			07:技術		相談の上決定	勤務校	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	100 教科全般
2108 08	B			08:家庭		相談の上決定	勤務校	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	100 教科全般
2108 09	B			09:体育、保健体育		相談の上決定	勤務校	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	100 教科全般
2108 10	B			10:外国語活動、外国語		相談の上決定	勤務校	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	100 教科全般
2108 11	B			11:その他		相談の上決定	勤務校	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	100 教科全般
2111 01	A	ステージアップ講座 (小・義　国語) ～資質・能力を育成し、児童が国語を学ぶ意義や喜びを実感する授業づくり～	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して資質・能力を育成する授業を構築するための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流、授業研究会を通して共に考える。 ★指導と評価の一体化	01:言葉による見方・考え方を働かせ、深い学びを実現する国語科の授業づくりや指導の工夫について学ぶ。（参集午後）		5/22(木)	総合教育センター	－	◆	－	－	－	○	○	○	○	♥	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	101 国語
2111 02	B			02:実践交流を行ったり、指導と評価の具体を明確にした授業実践の計画を立てたりする。（参集終日）		10/3(金)終日	総合教育センター	－	◆	－	－	－	○	○	○	○	♥	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	101 国語
2111 03	A			03:指導と評価の具体を明確にした授業実践の計画を立て、指導案の検討を行ったり、授業提供校に参集したりして研究会を行う。※受講者の中から授業者を募ります。 （参集・オンライン午後）		①7/1(火)PM ②9/8(月)PM ③10月下旬(PM)	①総合教育センター ②勤務校 ③授業提供校	－	◆	－	－	－	○	○	○	○	♥	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	▲	－	101 国語

講座番号 （☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～ （◆：履歴に残さない講座）	内　　容 （ねらい、形態、日程等）		対　象	期　　日	会　　場	校　種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検　索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
2112 00	A	ステージアップ講座 （小・義　社会） ～社会科教員のあなたを1年間サポートします～	社会的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業を構築するための指導のポイントについて、教材開発、教科部会への参加、指導案検討、授業研究会への参加等、受講者の要望に応じた研修計画を立て、継続的に研修を実施することを通して、受講者のサポートをする。 ※教科部員全員などグループで申し込む場合でも、一人一人が研修の申し込みをしてください。応募が多い場合には、教育研修課にて抽選を行います。2名程度を想定。			※受講者の希望による	※各勤務校及びオンライン	―	◆	―	―	―	○	○	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	―	102 社会・地理歴史・公民
2112 01	A	ステージアップ講座 （小・義　社会） ～社会科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた社会科指導の改善～	社会的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業を構築するための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流、授業研究会を通して共に考える。 ★指導と評価の一体化	01:基礎的・基本的な社会科の授業づくりについて学ぶ研修(オンライン午後)		7/3(木)	勤務校	―	◆	―	―	―	○	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	102 社会・地理歴史・公民
2112 02	A			02:授業実践の計画を立て、模擬授業や実践交流を行う。(①計画づくり:オンライン　②模擬授業・実践交流:参集)		①5/14(水) ②10/15(水)	①勤務校 ②総合教育センター	―	◆	―	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	―	102 社会・地理歴史・公民
2113 01	A	ステージアップ講座 （小・義　算数） ～資質・能力を子供たちに育むための算数科の授業づくり～	数学的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する算数科の授業を構築するための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流、授業研究会等を通して共に考え、実践力を高める。 ★指導と評価の一体化	01:数学的な見方・考え方を働かせた授業の在り方等、算数科の授業づくりについて学ぶ研修(オンライン午後)		6/6(金)	勤務校	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	103 算数・数学
2113 02	B			02:学調の結果等から実践を振り返り、授業改善を図る研修(参集終日)		10/1(水)	総合教育センター	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	103 算数・数学
2113 03	A			03:講義や指導案検討、授業研を通して、資質・能力を子どもたちに育むための算数科の授業の在り方を探る。(1日目:講義演習:参集午後、2日目:指導案検討:オンライン午後、3日目:授業研究会:授業提供校参集午後) ※受講者の中から授業者を募ります。		①6/20(金) ②9/11(木) ③10月未定	①総合教育センター ②勤務校 ③授業提供校	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	―	103 算数・数学
2114 01	A	ステージアップ講座 （小・義　理科） ～児童が主体的に問題解決に向かう授業づくりに向けて～	理科の見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業を構築するために、観察・実験の指導のポイントや授業改善、指導と評価について、講義や演習、実践交流等を通して共に考え、学ぶ。 ★指導と評価の一体化	01:観察・実験編 観察・実験の安全指導や教材検討に関する基礎・基本、予備実験の在り方について、簡単な観察、実験の演習や実践交流、外部講師の講義を通して学ぶ。 （終日参集）		6/24(火)終日	総合教育センター	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	―	104 理科
2114 02	A			02:基礎・基本実践編 単元指導計画や授業デザインについて検討し、模擬授業や授業参観、授業研究会を通して学ぶ。 （①単元指導計画、授業デザイン計画の作成、模擬授業、授業者の決定：終日参集、②指導案検討：オンライン午後、③授業参観、授業研究会：授業提供校へ参集）		①6/4(水)終日 ②9/5(金)PM ③授業者決定後に日程調整	①総合教育センター ②勤務校 ③授業提供校	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	―	104 理科
2114 03	B			03:指導と評価編 指導計画と評価規準・評価方法についての実践交流と演習を行い、研修後に行う単元の指導計画と評価について検討する。 （終日参集）		10/1(水)終日	総合教育センター	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	―	104 理科

講座番号 （☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～ （◆：履歴に残さない講座）	内　　容 （ねらい、形態、日程等）		対　象	期　　日	会　　場	校　種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検　索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
2115 01	B	ステージアップ講座 （小・義　音楽） ～児童の学びがつながり、広がり深まる授業の在り方について、仲間と共に考え、学び合う～	音楽科の資質・能力を育成するために、児童が音楽的な見方・考え方を働かせる音楽活動の具体やよりよい指導の手立てについて、講義や演習、実践交流を通して共に考え、実践力を高める。 ★指導と評価の一体化	01:歌唱分野における指導の基礎 （実際に歌唱しながら、児童への手立てを交流）		9/25(木)PM	総合教育センター	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	106 音楽
2115 02	B			02:器楽分野における指導の基礎 （実際に演奏しながら、児童への手立てを交流）		10/8(水)PM	総合教育センター	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	106 音楽
2115 03	B			03:音楽づくり分野における指導の基礎 （実際に音楽づくりをしながら、児童への手立てを交流）		10/22(水)PM	総合教育センター	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	106 音楽
2115 04	B			04:鑑賞領域における指導の基礎 （実際に鑑賞の模擬授業を考えながら、児童への手立てを交流）		9/4(木)PM	総合教育センター	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	106 音楽
2116 01	B	ステージアップ講座 （小・義　図画工作） ～生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成を目指して～	図画工作科に関わる資質・能力の育成を目指した授業を構築するために、学習指導要領の趣旨を深く理解し、個別最適な学びや協働的な学びの実現、ＩＣＴの利活用の視点を講義や演習、実践交流等を通して共に考え、実践力を高める。 ★指導と評価の一体化	01:教科指導の理論に関する基礎・基本を、講義や演習、体験を通して学ぶ研修（造形遊びなど）		10/15(水)終日	総合教育センター	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	107 図画工作・美術
2116 02	A			02:オンラインによる授業実践交流 （2日目の実践発表の代表者は1日目に決めます。） ※小・中連携につき213402と同時開催		①6/26(木)PM ②12/4(木)PM	①勤務校 ②勤務校・総合教育センター	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	―	107 図画工作・美術
2116 03	A			03:実践向上マンツーマン研修 指導主事が勤務校を訪問して、授業実践力を高めていく。児童への発問や声掛け、提示資料、題材間の指導内容のつながり等、自身では気づけないポイントを明らかにしながら進めていく。（希望多数の場合は抽選にて決定）		相談の上決定	勤務校（希望多数の場合は抽選にて決定）	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	107 図画工作・美術
2117 00	B	ステージアップ講座 （小・義　体育）～豊かなスポーツライフの実現に向けて～	学習指導要領を理解するとともに、体育の見方・考え方を働かせながら「主体的・対話的で深い学び」を実現するための手法や指導と評価等について、講義・演習・交流等によって学ぶ。 ・講義：指導要領に示されている３つの資質・能力についての説明を聞く。 ・演習：実技内容の一つを取り上げ、実際にその動きを行いながら見方・考え方や適切な助言、補助等について理解する。 ・交流：実技演習の中で、受講者同士でお互いの考えを伝えたり動きを獲得する際に試行錯誤したりする中で、「主体的・対話的で深い学び」についての理解を深める。 ★指導と評価の一体化			9/18(木)	総合教育センター ＯＫＢぎふ清流アリーナ	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	110 体育・保健体育
2118 00	B	ステージアップ講座 （小・義　家庭） ～授業づくりの悩みを解決、実践例を増やそう～	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業づくりのための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流を通して共に考える。 ★指導と評価の一体化			9/10(水)	総合教育センター	―	◆	◆	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	108 家庭・福祉
2119 00	A	ステージアップ講座 （小・義　生活） ～気付きの質を高める授業づくりに向けて～	「気付き」の質を高める生活科の授業を構築するために、単元指導計画や授業デザイン、めあての設定や振り返りの方法の工夫、発問や交流の場の設定の工夫等について、講義や演習、授業参観等を通して、共に考え、学ぶ。 （①外部講師の講義、単元指導計画、授業デザイン計画の作成、授業者の決定等：終日参集、②指導案検討：オンライン午後、③授業参観、授業研究会：授業提供校へ参集） ★指導と評価の一体化			①5/30(金)終日 ②9/24(水)PM ③授業者決定後に日程調整	①総合教育センター ②勤務校 ③授業提供校	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	―	105 生活

講座番号 （☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～ （◆：履歴に残さない講座）	内　　容 （ねらい、形態、日程等）		対　象	期　　日	会　　場	校　種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検　索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
2120 01	A	「NEW！GIFUウェブラーニング」に関する研修 ～データを活用して指導力アップ（入門編）～	教育データの利活用に関する教職の基礎形成を図るため、「NEW!GIFUウェブラーニング」の基本的な使い方の演習を通して、実際の授業での活用の基礎を学ぶ。	01:（基礎編）研修内容は両日ともに同様		6/6(金)PM	勤務校	―	◆	―	―	◆	○	○	○	―	♥	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	103 算数・数学
2120 02	A			02:（基礎編）研修内容は両日ともに同様		8/22(金)PM	勤務校	―	◆	―	―	◆	○	○	○	―	♥	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	103 算数・数学
2122 01	B	ステージアップ講座兼英語指導力向上講座(小・義) ～今の授業を見直し、さらに楽しくしよう！明日からできることを！～	小学校における英語の授業改善のために、外国語活動及び外国語科の指導と評価の在り方、言語活動の工夫、教科書の扱い方等について、授業参観・講義・演習を通して学ぶ。01.02の両方受講を奨励 ★指導と評価の一体化	01:（授業参観）英語教育推進校等の授業参観を通して、英語教育の理論や授業の作り方を学ぶ。英語科以外の先生、中学校の先生も可(小中連携)。		日程調整中	未定(小2校予定)	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	111 外国語活動・外国語
2122 02	B			02:（研修）教科書を活用した具体的な指導方法について学ぶ。また、他校の先生方との交流を通して、言語活動のアイディアを増やす。受講申し込みの際には、現在困っていること、知りたいことを記入すること(外部講師招聘の予定)。		9/26(金)PM	総合教育センター	―	◆	―	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	111 外国語活動・外国語
2123 01	A	小学校英語専科教員・英語科担当教員講座 ～専科・英語科教員としての指導力を向上させ、『中学校の英語学習に繋がる６年生出口で目指したい「英語の力」』を育成しよう～	中学校の英語学習に繋がる6年生出口で目指したい「英語の力」を明確にするために、学習指導要領を踏まえた小学校英語教育に求められる指導の在り方について、外部講師からの講義・演習を通して学ぶ。 ★指導と評価の一体化	01:（研修）音やリズムを楽しみながら、児童が自然に英語に慣れ親しみ、運用できる指導方法を学ぶ。 ※02と同じ研修内容です。令和6年度の研修内容とは異なります。		9/5(金)PM	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	111 外国語活動・外国語
2123 02	A			02:（研修）音やリズムを楽しみながら、児童が自然に英語に慣れ親しみ、運用できる指導方法を学ぶ。令和6年度の研修内容とは異なります。 ※01と同じ研修内容です。		9/17(水)PM	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	111 外国語活動・外国語
2124 00	A	e-Learning 小学校外国語講座 ～オンライン研修で指導力・英語力を向上させよう～	小学校における英語指導力を向上させるために、授業で言語活動を行う際に必要な英語力を含めた実践的な指導方法について、文部科学省主催のオンライン研修を通して身に付ける。希望すればオンライン英会話も有。 ※オンライン・オンデマンド研修は合計20時間程度、研修期間は5月～1月(予定)		英語の授業をしている者	文科省が定めた期間	各自の学習環境	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	111 外国語活動・外国語
2125 00	A	ステージアップ講座兼英語指導力向上講座 初めての小学校英語(初級) ～まずは楽しい授業を目指して～	小学校に赴任し、初めて英語を教えることになった教員を対象に、現在の困り感を解消するために、基本的な授業の流れ、教材と教科書の扱い方、具体的な言語活動について、講義・演習を通して学ぶ。また、将来教える可能性がある教員や英語の免許がなくても受講可能。継続的なサポートも希望可（放課後オンラインミニ相談会にて） ★指導と評価の一体化		小学校英語の経験が浅い者	5/9(金)PM	総合教育センター	―	◆	―	―	◆	○	○	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	111 外国語活動・外国語
2126 00	B	ステージアップ講座兼英語指導力向上講座(小・中・義)　～外部講師から学ぶ、思考力・判断力・表現力等の能力の高め方～	県でもキーワードとして大切にしている「指導と評価の一体化」を実現するために、英語の授業での実際の指導（言語活動）、教科書の扱い方、評価の改善点について、外部講師から学ぶ。 ★指導と評価の一体化			10/21(火)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	111 外国語活動・外国語
2127 00	A	ステージアップ講座兼英語指導力向上講座(出張講座)～英語教員のあなたを一年間支えます～	受講者は勤務校で研修を一年間継続して受講し、指導力を向上させるために、授業を見ての助言や、指導案づくり、教材開発、教科部会への参加などを研修課の主事が行います。みなさんのパートナーとなります。受講者の要望に応じ、時期や方法は変更可能。公表会や全校研究会を控えている先生方にもぴったりです。受講者と本研修のゴールを相談し、設定してから進めていきます。 ※一人一人が研修の申し込みをしてください。応募が多い場合には、教育研修課にて抽選を行います。小・中学校で合わせて5名程度を想定。			受講者の希望による	勤務校	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	111 外国語活動・外国語

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
☆2128 00	A	ステージアップ講座兼英語指導力向上講座(中・義) ～英語科CAN-DOリストの改善・活用講座～	現在、県内の全ての中学校に設定されているCAN-DOリストを効果的に活用するために、作成の意図、活用の仕方、今後の改善の方向について、講義・演習、交流を通して学ぶ。自校のCAN-DOリストを持参して、交流ができる方を対象とする。 ★指導と評価の一体化			6/27(金)PM	総合教育センター	—	—	◆	—	—	○	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	111 外国語活動・外国語
2129 01	A	ステージアップ講座 (中・義　国語) ～資質・能力を育成し、生徒が国語を学ぶ意義や喜びを実感する授業づくり～	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して資質・能力を育成する授業を構築するための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流、授業研究会を通して共に考える。 ★指導と評価の一体化	01:言葉による見方・考え方を働かせ、深い学びを実現する国語科の授業づくりや指導の工夫について学ぶ。（参集午後）		6/27(金)PM	総合教育センター	—	—	◆	—	—	○	○	○	○	♥	—	—	—	♥	—	—	—	—	▲	—	—	101 国語
2129 02	B			02:実践交流を行ったり、指導と評価の具体を明確にした授業実践の計画を立てたりする。（参集終日）		10/10(金)終日	総合教育センター	—	—	◆	—	—	○	○	○	○	♥	—	—	—	♥	—	—	—	—	▲	—	—	101 国語
2129 03	A			03:指導と評価の具体を明確にした授業実践の計画を立て、指導案の検討を行ったり、授業提供校に参集したりして研究会を行う。※受講者の中から授業者を募ります。（参集・オンライン　午後）		①7/8(火)PM ②9/12(金)PM ③10月下旬PM	①総合教育センター ②勤務校 ③授業提供校	—	—	◆	—	—	○	○	○	○	♥	—	—	—	♥	—	—	—	—	▲	▲	—	101 国語
2130 00	A	ステージアップ講座 (中・義　社会) ～社会科教員のあなたを1年間サポートします～	社会的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業を構築するための指導のポイントについて、教材開発、教科部会への参加、指導案検討、授業研究会への参加等、受講者の要望に応じた研修計画を立て、継続的に研修を実施することを通して、受講者のサポートをする。 ※教科部員全員などグループで申し込む場合でも、一人一人が研修の申し込みをしてください。応募が多い場合には、教育研修課にて抽選を行います。2名程度を想定。			※受講者の希望による	※各勤務校及びオンライン	—	—	◆	—	—	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	▲	—	102 社会・地理歴史・公民
2130 01	A	ステージアップ講座 (中・義　社会) ～社会科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた社会科指導の改善～	社会的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業を構築するための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流、授業研を通して共に考える。 ★指導と評価の一体化	01:基礎的・基本的な社会科の授業づくりについて学ぶ研修(オンライン午後)		7/1(火)	勤務校	—	—	◆	—	◆	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	102 社会・地理歴史・公民
2130 02	A			02:授業実践の計画を立て、模擬授業や実践交流を行う。(①計画づくり:オンライン、②模擬授業・実践交流:参集)		①5/15(木) ②10/16(木)	①勤務校 ②総合教育センター	—	—	◆	—	◆	○	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	▲	—	102 社会・地理歴史・公民
2130 03	B			03:事実認識を獲得し、価値認識を形成する社会科授業実践(美濃地区中学校)についての指導案検討、授業研究会に参加する。(①指導案検討:オンライン、②授業研究会:授業提供校参集)		①未定 ②10・11月頃	①勤務校 ②会場校(美濃地区中学校)	—	—	◆	—	◆	○	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	▲	—	102 社会・地理歴史・公民
2131 01	A	ステージアップ講座 (中・義　数学) ～資質・能力を子供たちに育むための数学科の授業づくり～	数学的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する数学科の授業を構築するための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流、授業研等を通して共に考え、実践力を高める。 ★指導と評価の一体化	01:数学的な見方・考え方を働かせた授業の在り方等、数学科の授業づくりについて学ぶ研修(オンライン午後)		6/12(木)	勤務校	—	—	◆	—	◆	○	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	103 算数・数学
2131 02	B			02:学調の結果等から実践を振り返り、授業改善を図る研修(参集終日)		10/8(水)	総合教育センター	—	—	◆	—	◆	○	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	103 算数・数学
☆2131 03	B			03:普段の授業において数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動の充実を図っていくためのツールとしてICTを活用した授業づくりを高等学校の数学科教員とともに行う。今年度はGeoGebraを活用した授業づくりを行う。(参集・終日)		9/26(金)	総合教育センター	—	—	◆	—	◆	○	○	○	○	♥	—	—	—	♥	—	—	—	—	▲	—	—	103 算数・数学
2131 04	A			04:講義や指導案検討、授業研を通して、資質・能力を子どもたちに育むための数学科の授業の在り方を探る。(1日目:講義演習:参集午後、2日目:指導案検討:オンライン午後、3日目:授業研究会:授業提供校参集午後) ※受講者の中から授業者を募ります。		①6/27(金) ②9/12(金) ③10月未定	①総合教育センター ②勤務校 ③授業提供校	—	—	◆	—	◆	○	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	▲	—	103 算数・数学

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
2132 01	B	ステージアップ講座（中・義　理科）～生徒が科学的に探究する授業づくりに向けて～	理科の見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業を構築するために、観察・実験の指導のポイントや授業改善、指導と評価について、講義や演習、実践交流等を通して共に考え、学ぶ。★指導と評価の一体化	01:観察・実験編 観察・実験の安全指導や教材検討に関する基礎・基本、小学校で学ぶ観察・実験の違い等について、簡単な観察、実験の演習や実践交流、外部講師の講義を通して学ぶ。（終日参集）		10/15(水)終日	総合教育センター	－	－	◆	－	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	104 理科
2132 02	A			02:基礎・基本実践編 単元指導計画や授業デザインについて検討し、模擬授業や授業参観、授業研究会を通して学ぶ。（①単元指導計画、授業デザイン計画の作成、模擬授業、授業者の決定：終日参集、②指導案検討：オンライン午後、③授業参観、授業研究会：授業提供校へ参集）		①6/19(木)終日 ②9/8(月)PM ③授業者決定後に日程調整	①総合教育センター ②勤務校 ③授業提供校	－	－	◆	－	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	▲	－	104 理科
2132 03	B			03:指導と評価編 指導計画と評価規準・評価方法についての実践交流と演習を行い、研修後に行う単元の指導計画と評価について検討する。（終日参集）		11/5(水)	総合教育センター	－	－	◆	－	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	104 理科
2133 01	A	ステージアップ講座（中・義　音楽）～生徒の学びがつながり、広がり深まる授業の在り方について、仲間と共に考え、学び合う～	音楽科の資質・能力を育成するために、生徒が音楽的な見方・考え方を働かせる学習活動の具体やよりよい題材構想の在り方について、講義や演習、実践交流や授業研究会等を通して共に考え、実践力を高める。★指導と評価の一体化	01:（基礎編）講義や演習、実践交流		①6/26(木)PM ②10/27(月)PM	①勤務校 ②総合教育センター	－	－	◆	－	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	▲	－	106 音楽
2133 02	A			02:（授業研究編:表現領域） 表現領域の授業研究会及び実践交流 ※②における授業者は、①の際に受講者の中から募ります。		①6/26(木)PM ②10/30(木)PM仮	①勤務校 ②授業提供校	－	－	◆	－	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	▲	－	106 音楽
2133 03	A			03:（授業研究編:鑑賞領域） 鑑賞領域の授業研究会及び実践交流 ※②における授業者は、①の際に受講者の中から募ります。		①6/26(木)PM ②10/23(木)PM仮	①勤務校 ②授業提供校	－	－	◆	－	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	▲	－	106 音楽
2134 01	B	ステージアップ講座（中・義　美術）～生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を目指して～	美術科に関わる資質・能力の育成を目指した授業を構築するために、学習指導要領の趣旨を深く理解し、個別最適な学びや協働的な学びの実現、ＩＣＴの利活用の視点を講義や演習、実践交流等を通して共に考え、実践力を高める。★指導と評価の一体化	01:教科指導の理論に関する基礎・基本を、講義や演習、体験を通して学ぶ研修（アニメーションなど）		10/16(木)終日	総合教育センター	－	－	◆	－	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	107 図画工作・美術
2134 02	A			02:オンラインによる授業実践交流（2日目の実践発表の代表者は1日目に決めます。） ※小・中連携につき211602と同時開催		①6/26(木)PM ②12/4(木)PM	①勤務校 ②勤務校・総合教育センター	－	－	◆	－	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	▲	－	107 図画工作・美術
2134 03	A			03:実践向上マンツーマン研修 指導主事が勤務校を訪問して、授業実践力を高めていく。生徒への発問や声掛け、提示資料、題材間の指導内容のつながり等、自身では気づけないポイントを明らかにしながら進めていく。（希望多数の場合は抽選にて決定）		相談の上決定	勤務校（希望多数の場合は抽選にて決定）	－	－	◆	－	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	107 図画工作・美術

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
2135 00	B	ステージアップ講座 （中・義　保健体育）～豊かなスポーツライフの実現に向けて～	学習指導要領を理解するとともに、体育の見方・考え方を働かせながら「主体的・対話的で深い学び」を実現するための手法や指導と評価等について、講義・演習・交流等によって学ぶ。 ・講義：指導要領に示されている３つの資質・能力についての説明を聞く。 ・演習：実技内容の一つを取り上げ、実際にその動きを行いながら見方・考え方や適切な助言、補助等について理解する。 ・交流：実技演習の中で、受講者同士でお互いの考えを伝えたり動きを獲得する際に試行錯誤したりする中で、「主体的・対話的で深い学び」についての理解を深める。 ★指導と評価の一体化			9月	総合教育センター ＯＫＢぎふ清流アリーナ	―	―	◆	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	110 体育・保健体育
2136 01	B	ステージアップ講座 （中・義　技術） ～技術の発達を主体的に支える力、技術革新を牽引する力を育もう～	技術の発達を主体的に支える力、技術革新を牽引する力を育むために、「指導計画」、「教材開発」、「授業づくり」について、日頃の授業実践における課題と照らし合わせ、各種演習を通して、実践力の向上を図る。 ★指導と評価の一体化	01:統合的な問題の解決(3年間の指導計画) 技術分野の最終ﾐｯｼｮﾝ「統合的な問題の解決」へとつながる指導計画立案の考え方について、第1学年から第3学年まで順を追って、自校の計画をもとに演習を通して学ぶ。		9/12(金)終日	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	109 技術
2136 02	B			02:生物育成の題材開発の進め方(教材開発①) 生物育成の学習における問題解決の難易度設定と、育成する野菜等の栽培時期と季節の関係をどのように考え、指導を進めていくとよいのかについて、演習を中心に学ぶ。		9/17(水)終日	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	109 技術
2136 03	B			03:双方向性・計測制御のプログラミング(教材開発②) 双方向性（D2)と計測制御（D3)のプログラムについて、演習を通して学ぶ。		10/16(木)終日	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	109 技術
2136 04	B			04:思考力・判断力・表現力を高める授業(授業づくり) 「設計・計画」の学習過程を大切にした授業実践の重要性を学ぶとともに、単位時間内の授業づくりの在り方を演習を通して学ぶ。		12/3(水)終日	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	109 技術
2136 05	A			05:実践力向上マンツーマン研修 指導主事が勤務校を訪問して、授業実践力を高めていく。子供への発問、提示する教材、前後の指導内容等、「校内1人教科」ならではの自身では気づけないポイントを明確に示しながら進めていく。 （希望多数の場合は抽選にて決定）		相談の上決定	勤務校（希望多数の場合は抽選にて決定）	―	―	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	109 技術
2137 00	B	ステージアップ講座 （中・義　家庭） ～生活を工夫し創造する資質・能力を育てる、楽しい家庭科授業～	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業づくりのための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流を通して共に考える。 ★指導と評価の一体化			11/26(水)	総合教育センター	―	◆	◆	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	108 家庭・福祉

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
2138 01	A	ステージアップ講座兼英語指導力向上講座(中・義) ～今の英語の授業を見直し、さらに楽しくしよう！明日からできることを！～	中学校における英語の授業改善のために、効果的な言語活動の考え方、教科書の扱い方等について、講義、授業参観や実践交流を通して学ぶ。01、02の両方受講を推奨。 ★指導と評価の一体化	01:(授業参観)実際に授業を参観して、理論や授業の作り方を学ぶ。小学校で英語を指導している教員も可(小中連携)。		未定（公開予定の中学校と調整中）	中学校で2校を予定	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	111 外国語活動・外国語
2138 02	A			02:(研修)外部講師の講義を通して、教科書を活用した言語活動の具体を学ぶ・交流する。言語活動の幅を広げ、楽しいコミュニケーション活動ができるようにする。		11/6(木)PM	総合教育センター	－	－	◆	－	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	111 外国語活動・外国語
2139 01	A	e-Learning 中学校英語講座 ～オンライン研修で英語指導力を向上させよう～	文部科学省主催のオンライン研修を通して、効果的な指導方法を身に付ける。※文部科学省からの要項発出後に詳しく記載			文部科学省が決めた期間	各自の学習環境	－	－	◆	－	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	▲	111 外国語活動・外国語
2139 02	A	e-Learning 高等学校英語講座 ～オンライン研修で英語指導力を向上させよう～	文部科学省主催のオンライン研修を通して、効果的な指導方法を身に付ける。※文部科学省からの要項発出後に詳しく記載			文部科学省が決めた期間	各自の学習環境	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	▲	111 外国語活動・外国語
2140 01	A	ステージアップ講座兼英語指導力向上講座(中・義・高) ～生徒の力を正しく把握し、指導に生かすためのテスト改善！テスト問題の種類を増やそう！～	テスト作成のアイディアを広げるために、外部講師からテストを作成する際の基本的な知識について、講義、交流を通して学ぶ（TOEICなどの外部試験を題材としながら、多様な問題形式を知る。他校の教員とも相談し合う。）。 ★指導と評価の一体化			7/28(月)終日	総合教育センター	－	－	◆	◆	－	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	111 外国語活動・外国語
2140 02	A	ステージアップ講座兼英語指導力向上講座(中・義) ～英語の研究の進め方～	英語科主任や研究に興味がある方を対象とし、研究テーマと研究内容の設定の仕方から、研究の進め方について学ぶとともに、他校の英語科主任の先生と研究について交流をする。その後も、継続的なサポートは可（放課後オンラインミニ相談会） ★指導と評価の一体化			6/16(月)PM	総合教育センター	－	－	◆	－	－	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	111 外国語活動・外国語
2141 01	A	教科指導基礎力向上講座(高) ～授業の基礎・基本を学び、教科指導力の向上を図ろう～	教職の基礎形成を図るため、授業の基礎・基本（授業規律、授業方法、適切な評価等）について、講義や演習、実践交流、授業研究を通して共に考える。	01:国語		①6月頃 ②11月頃	高等学校(予定)	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 02	A			02:地歴公民		①6/12(木) ②11月中旬	①総合教育センター ②高等学校	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 03	A			03:数学		①7/4(金) ②11月上旬	高等学校	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 04	A			04:理科		11月上旬	高等学校	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 05	A			05:外国語		①6月頃 ②11月頃	高等学校	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 06	A			06:保健体育		11/14(金) 予定	高等学校	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 07	A			07:音楽		11/14(金)	総合教育センター	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 08	A			08:美術		①6月中旬 ②11月中旬	総合教育センター又は指定する高等学校等	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 09	A			09:書道		①6月中旬 ②11月中旬	総合教育センター又は指定する高等学校等	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 10	A			10:家庭福祉		6月中の予定	高等学校	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 11	A			11:農業		11月中旬予定	高等学校	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 12	A			12:工業		11/14(金)	総合教育センター	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 13	A			13:商業		11/14(金)	総合教育センター	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般
2141 14	A			14:情報		11/14(金)	高等学校	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	100 教科全般

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
2142 01	B	授業改善講座(高　国語) ～実践から学び、実践で追究する！新時代を切り拓く力を育む国語の授業づくり～	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について学ぶ実践講座。研究授業の参観を通して新しい授業の在り方について研究し、授業力を高める。 ※授業力向上推進プロジェクトと合同開催。 ★指導と評価の一体化	01:論理的文章(予定)		11月上旬頃	高等学校(未定)	―	―	―	◆	◆	―	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	101 国語
2142 02	B			02:文学的文章(予定)		1月中旬頃	高等学校(未定)	―	―	―	◆	◆	―	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	101 国語
2143 00	A	授業改善講座(高　地歴公民)A	単元を見通した「問い」を設定し、「社会的な見方・考え方」を働かせる授業づくりを実現する手法や工夫について、演習や研究授業を通して共に考える。 ※初日は授業改善講座(高　地歴公民)Ｂと合同 ★指導と評価の一体化			①7/9(水)PM ②11月上旬PM	①総合教育センター ②高等学校(未定)	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲			102 社会・地理歴史・公民
2144 00	A	授業改善講座(高　地歴公民)B	生徒と教師が育つ評価を実現する授業改善の工夫について、授業における問いや評価に関わる演習を通して共に考える。 ※初日は授業改善講座(高　地歴公民)Ａと合同 ★指導と評価の一体化			①7/9(水)PM ②11/12(水)PM	総合教育センター	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲			102 社会・地理歴史・公民
2145 01	B	授業改善講座(高　数学) ～実践から学ぶ、授業力向上～	生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うための指導のポイントについて、研究授業の参観及び授業研究会並びに授業づくりを通して共に学ぶ。 ★指導と評価の一体化 ※01～03は授業力向上推進プロジェクトと合同で開催。 ※日程や会場は、8月以降に決定、更新予定	01:授業参観・授業研究		未定	高等学校(未定)	―	―	―	◆	◆	―	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	103 算数・数学
2145 02	B			02:授業参観・授業研究		未定	高等学校(未定)	―	―	―	◆	◆	―	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	103 算数・数学
2145 03	B			03:授業参観・授業研究		未定	高等学校(未定)	―	―	―	◆	◆	―	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	103 算数・数学
☆2145 04	B			04:普段の授業において数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動の充実を図っていくためのツールとしてICTを活用した授業づくりを中学校の数学科教員とともに行う。今年度はGeoGebraを活用した授業づくりを行う。(参集・終日)		9/26(金)終日	総合教育センター	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	103 算数・数学
2146 00	B	授業改善講座(高　理科) ～実験は楽しい！実験の実践例から学ぶ～	理科の面白さを感じたり、理科の有用性を認識したりすることにつながる演示実験を実践できるようにするため、優れた授業実践者から学ぶ。また、受講者同士が実験の実践例を交流することによって、今後の授業改善にもつなげる。			11月上旬	県立高等学校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	104 理科
2147 00	B	授業改善講座(高　音楽) ～資質・能力を確実に育成するために、音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動の充実～	音楽科で育成したい資質・能力を育成するために、音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動の具体や、よりよい題材構想の在り方について講義や実践交流を通して考え、実践力を高める。 ・指導と評価の一体化に関する講義 ・実践交流　等 ★指導と評価の一体化 ※214107「教科指導基礎力向上講座(高)音楽」と同時開催			11/14(金)PM ※214107「教科指導基礎力向上講座(高)音楽」と同時開催	総合教育センター	―	―	―	◆	◆	―	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	106 音楽
2148 00	A	授業改善講座(高　美術) ～生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を目指して～	造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力の育成する指導力を向上するために、個別最適な学びや協働的な学びの実現、ＩＣＴの利活用について、講義や演習、実践交流等を通して共に考える。 ★指導と評価の一体化			7/2(水)PM	総合教育センター	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	107 図画工作・美術
2149 01	A	授業改善講座(家庭・福祉) ～「主体的・対話的で深い学び」の授業実践～	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のために今年度は「金融」について講義や演習、実践交流を通して学ぶ。	01:集合研修		7/28(月) PM	総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	108 家庭・福祉
2149 02	A			02:オンライン研修			勤務校	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	108 家庭・福祉
2149 03	B		「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のために今年度は「認知症」について講義や演習、実践交流を通して学ぶ。	03:集合研修		10/15(水) PM	総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	108 家庭・福祉
2149 04	B			04:オンライン研修			勤務校	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	108 家庭・福祉

講座番号 （☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～ （◆：履歴に残さない講座）	内　　容 （ねらい、形態、日程等）		対　象	期　　日	会　　場	校　種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検　索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
2150 01	B	授業改善講座(高　工業) ～ＩＣＴの活用や学習活動と評価の工夫により、魅力ある授業をデザインする～	ＩＣＴの活用や学習活動と評価の工夫によって授業改善を図るため、魅力ある授業デザインについての実践事例を学び、自身の授業力の向上につなげる。 ★指導と評価の一体化 ※本研修講座は、授業力向上推進プロジェクト成果発表会(工業)と合同開催です。	01:集合研修		1/22(木)	総合教育センター	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	114 工業
2150 02	B			02:オンライン研修			勤務校	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	114 工業
2151 01	A	授業改善講座(高　情報) ～実践に学ぶ！資質・能力を育む情報の授業！～	高等学校及び特別支援学校の情報科の教育を推進するため、学習指導要領を踏まえた生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や学習評価について講義や演習、実践交流、授業研究を通して学び、日々の実践に生かすための指導力を身に付ける。 ★指導と評価の一体化	01:はじめての情報Ⅰ授業担当研修		4/4(金)PM	勤務校	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	112 情報
2151 02	A			02:外部装置(micro:bit)授業づくり		5/15(木)PM	総合教育センター	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	112 情報
2151 03	B			03:情報ⅡとDX授業づくり		12月前半	総合教育センター	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	112 情報
2151 04	A			04:専門教科とDX授業づくり		9/11(木)	勤務校	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	112 情報
2151 05	B			05:授業研究①		11～1月頃	県立高等学校	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	112 情報
2151 06	B			06:授業研究②		11～1月頃	県立高等学校	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	112 情報
2152 00	A	授業改善講座(高　商業) ～実践から学ぶ、資質・能力を育成する授業！～	ＩＣＴ機器の活用を踏まえながら、育成したい資質・能力を意識した授業について学ぶ実践講座。新しい授業の在り方について研究し、授業力を高める。 ★指導と評価の一体化 ※授業力向上推進プロジェクトと合同で開催。			①7/4(金) ②11月頃 ③12月頃	①総合教育センター ②高等学校(未定) ③高等学校(未定)	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	115 商業
2153 00	B	英語指導力向上講座(高)① ～生徒の学びを深める発問とは～	「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、生徒の思考を深める発問を核とした授業づくりについて、講義やワークショップを通して、経験豊富な外部講師から体験的に学ぶ。			9/8(月)PM	総合教育センター	－		◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	111 外国語活動・外国語
2154 01	A	英語指導力向上講座(高)② ～テーマに関する実践事例やアイディアについて共有・交流しませんか～	指導と評価の改善を図るため、具体的な方策やアイディアについて放課後の４５分間で各回１つのテーマを扱い、実践交流や協議を通じてを共に考える。 ★指導と評価の一体化	01:ペーパーテストの工夫・改善		7月頃 16:00～16:45	勤務校	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	111 外国語活動・外国語
2154 02	A			02:帯活動の活用		8月頃 16:00～16:45	勤務校	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	111 外国語活動・外国語
2154 03	B			03:生徒のライティング添削		9月頃 16:00～16:45	勤務校	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	111 外国語活動・外国語
2155 01	A	技術力向上講座(家庭・福祉) ～シンプルなシャツを作って着よう～	「被服分野」の指導内容における知識と技術力を高めるために、講義や演習、実践交流を通して学び、指導力の向上を図る。			8/22(金)	岐阜女子大学	－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	108 家庭・福祉
2155 02	A	技術力向上講座(家庭・福祉) ～介護テクノロジー・介護ロボットについて学ぶ～	「福祉分野」の指導内容における知識と技術力を高めるために、講義や演習、実践交流を通して学び、指導力の向上を図る。			7/25(金) PM	総合教育センター	－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	108 家庭・福祉
2156 01	A	技術を生かした農業の授業づくり講座(高　農業) ～農業の「深い学び」につなげる専門力・授業力の向上～	農業の見方・考え方を働かせ、農業の各分野で活用する知識・技術を身に付けるため、指導方法について、講義や演習、実践交流、授業研究を通して共に考える。	01:生産系		①7/31(木) ②10/6(月)	飛騨高山高等学校他	－	－	－	◆	－	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	113 農業
2156 02	A			02:加工系		①7/28(月) ②10/20(月)	加茂農林高等学校他	－	－	－	◆	－	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	113 農業
2156 03	A			03:森林・環境系		①8/19(火) ②10月頃終日	恵那農業高等学校他	－	－	－	◆	－	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	113 農業
2157 01	A	モノづくりスキルアップ講座 ～各専門分野の技術や技能を学び、モノづくりスキルアップ！～	授業や実習等における、モノづくりの各専門分野に関する知識・技能の深化を目指し、機械系、電気系、建築系、化学系の各技術・技能について講義や実技を通して習得し、将来を担う生徒たちが産業界におけるスペシャリストとして活躍できるよう、教員自身の「モノづくり」指導力を向上させる。 ※工業高校との連携を踏まえて、小中義特学校の教員も受講可能。	01:自動車整備（機械系）		8/20(水)	岐南工業高等学校	－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	114 工業
2157 02	A			02:電気工事実技（電気系）		8/20(水)	可児工業高等学校	－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	114 工業
2157 03	A			03:木材加工(建築系)		8/18(月)	岐阜県立森林文化アカデミー	－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	114 工業
2157 04	A			04:化学分析（地域産業系）		8/25(月)	可児工業高等学校	－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	114 工業

講座番号 （☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～ （◆：履歴に残さない講座）	内　　容 （ねらい、形態、日程等）	対　象	期　　日	会　　場	校　種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検　索
							幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
2158 00	B	マーケティング戦略講座(高　商業) ～地域に人を呼ぶ、地域のファンを作る実践的マーケティング授業～	地域資源等を活用して、地域に人を呼び、地域のファンを作るためのファンマーケティングを実践的・体験的に学習する指導方法及び創造力向上に向けた授業改善の視点を身に付ける。		9/5(金)	総合教育センター	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	115 商業
2159 00	A	「特別の教科　道徳」の授業づくり (小･義)～「考え、議論する道徳」の実現を目指して～	道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるために、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める授業づくりのポイントについて、講義や演習、実践交流を通して共に考える。		6/2(月)PM	総合教育センター	―	◆	―	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	116 道徳
2160 00	A	「特別の教科　道徳」の授業づくり (中･義)～「考え、議論する道徳」の実現を目指して～	道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるために、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める授業づくりのポイントについて、講義や演習、実践交流を通して共に考える。		6/18(水)PM	総合教育センター	―	―	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	116 道徳
2161 00	A	授業改善講座　道徳教育と「特別の教科　道徳」(小･中･義:理論編)	学校の道徳教育の充実と道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるために、道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める授業づくりについて、講義や演習を通して学ぶ。 岐阜聖徳学園大学　河合宣昌　先生		①5/23(金)PM ②9/24(水)PM ③11/14(金)PM	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	116 道徳
2162 00	B	授業改善講座　道徳教育と「特別の教科　道徳」(小･中･義:実践編) ～自分の知見や経験を生かし、互いに学び合う～	学校における道徳教育の充実、道徳教育の要としての「特別の教科　道徳」の指導の充実を図るために、講義や実践発表、実践交流を通して協議し、共に考える。		11/17(月)PM	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	116 道徳
☆2163 00	A	道徳教育の推進講座 ～道徳教育の充実を図るための指導体制の在り方を学び合おう～	各学校の全教育活動における道徳教育の推進を図るために道徳教育推進教師を中心に指導体制を充実させる方策等を講義や実践発表、交流を通して学ぶ。	道徳教育推進教師及び道徳教育について学びたい教員	5/13(火)PM	勤務校	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	116 道徳
2164 01	A	総合的な学習の時間(小・中・義) ～探究的な学習の充実に向けた指導～	探究的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業を構築するために、探究課題の設定や情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の具体やカリキュラムの見直しについて、講義や演習、実践交流等を通して共に考え、改善する。 ★指導と評価の一体化 01:授業づくりの悩みを解決するために、学習指導要領解等の資料を読解し、単元計画や授業デザインの演習を行い、授業改善に取り組む。 （終日参集）		5/16(金)終日	総合教育センター	―	◆	◆	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	117 総合的な学習・探究の時間
2164 02	B		02:自校の全体計画を基に、評価や年間指導計画等を見直し、次年度に向けてカリキュラムを改善する。主に総合的な学習の時間の担当者を対象とする。 （終日参集）		7/3(木)終日	総合教育センター	―	◆	◆	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	117 総合的な学習・探究の時間
2165 00	B	総合的な探究の時間(高・特) ～探究から始まる学びの充実～	探究の見方・考え方を働かせ、授業を構築するための指導のポイントや課題の設定方法について、講義や演習、実践交流を通して考える。		11/5(水)	森林文化アカデミー	―	―	―	◆	◆	○	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	117 総合的な学習・探究の時間
2166 01	B	日本の伝統音楽のよさを学ぶ ～日本の伝統音楽のよさを体験！講師から学ぶ「和太鼓」「箏」「篠笛」「邦楽発声」の基礎講座～	我が国の伝統音楽の基礎的な表現を体験することを通して、我が国の伝統音楽のよさや美しさを実感し、音楽の授業等を通して、和楽器や謡のよさや美しさを児童生徒に伝えることができるよう指導力の向上を図る。 01:篠笛		9/11(木)PM	総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	106 音楽
2166 02	B		02:邦楽発声、箏		9/10(水)終日	総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	106 音楽
2166 03	B		03:邦楽発声、和太鼓		9/10(水)終日	総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	106 音楽
2167 00	A	家庭科実技講習会(小・中・義・高・特) ～家庭科の基礎的な実技の指導力を身に付けよう～	小学校、中学校及び義務教育学校並びに高等学校、特別支援学校の家庭科において、教科指導の基礎的な内容及び教科指導の上で必要な実技指導に関する研修を通して、日々の実践に生かす指導方法を学ぶ。		5/30(金)	岐阜県学校給食会	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	108 家庭・福祉
2168 00	A	法曹三者から学ぶ司法の仕組み ～法曹三者の話から、司法の仕組みに対する理解を深めよう～	各校種における法教育の在り方について、検察官、弁護士、裁判官の講義や、裁判所や検察庁の見学を通して、具体的な実践方法について考える。		8/21(木)終日	岐阜地方検察庁	◆	◆	◆	◆	◆	―	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	102 社会・地理歴史・公民

講座番号 （☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～ （◆：履歴に残さない講座）	内　　容 （ねらい、形態、日程等）		対　象	期　　日	会　　場	校　種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検　索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
2170 01	A	ALTとの授業デザイン研修 ～授業を実際のコミュニケーションの場とするためにALTとどんな授業ができるのか～	ＡＬＴとのティームティーチングをより効果的に行うため、授業の進め方や言語活動の設定について、講義やワークショップを通して、経験豊富な外部講師から実践的に学ぶ。	01:小学校外国語活動・外国語科		①7/4(金)PM ②9/26(金)PM	①②総合教育センター	―	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	111 外国語活動・外国語
2170 02	A			02:中学校・高等学校外国語科		①7/4(金)PM ②9/26(金)PM	①②総合教育センター	―	―	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	111 外国語活動・外国語
2171 00	B	ＪＥＴプログラム 岐阜県外国語指導助手の指導力向上研修 ～ALTとの関係づくり、授業づくりに向けて～	ＪＥＴプログラムに参加しているＡＬＴが効果的な授業を行うため、必要な知識・指導技術について、講義・演習や教材交流を通して実践的に学ぶ。 【申込方法については別途案内】			①10/17(金) ②3/13(金)	①②総合教育センター	―	◆	◆	◆	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	111 外国語活動・外国語
2172 00	A	薬物乱用防止教室講習会(体育保健領域・特別活動等) ～薬物乱用防止教室のさらなる充実のために～	薬物乱用防止教育の更なる充実に向け、薬物乱用防止教室を行うための最新の知見と実践力を身に付ける。			9月から11月頃予定	美濃地区中学校	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	♥	―	―	▲	―	―	110 体育・保健体育
2174 01	B	養護教諭・栄養教諭の実践から学ぶ ～健康教育・食育の在り方～	健康教育・食育の在り方について、養護教諭、栄養教諭が行っている実践から学び、交流することを通して、自身の保健室経営や食育に生かす。		2～6年目	12/10(水)	全日：総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	―	―	―	―	―	―	―	―	♥	♥	―	―	▲	―	―	207 健康教育
2174 02	B		健康教育・食育の在り方について、養護教諭、栄養教諭が行っている実践から学び、交流することを通して、自身の保健室経営や食育に生かす。		12年目までの栄養教諭・学校栄養職員	12/10(水)	午前：県給食会 午後：総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	♥	♥	▲	―	―	207 健康教育
2182 00	A	理科実践講座(小・中・義　理科) ～教材開発、授業改善、指導力向上の自己課題に取り組む～	教材開発、指導力の向上や授業改善のために、扱う教材の理解や発達段階に応じた系統的な指導等について、講義や演習、実践交流等を通して参加者同士で考えると共に、自己課題を設定し、研究を進め、理科教員としての資質・能力を向上させる。 ※受講者の要望に応じ、担当者が相談にのります。 ※事前に自己課題に関する調査を提出してもらい、抽選をします。 （①自己課題に応じた年間テーマの設定、児童生徒の実態や課題の交流、実践方途等の検討：午後参集、②中間実践交流、評価の演習等：午後参集、③実践のまとめの発表、小中高の交流：終日参集） ★指導と評価の一体化			①7/2(水)PM ②10/27(月)PM ③1/28(水)終日	①総合教育センター ②総合教育センター ③総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	104 理科
2184 00	A	理科教育講座(高　理科) ～ 生徒も自分も納得する授業づくり！ ～	教材開発、指導力を身に付けるために、研究会や実践交流等を通して自己課題を設定し、研究を進める。県内の理科教育の推進に貢献できる実践の普及を図る。			①6/13(金) ②9/18(木) ③11/12(水) ④1/28(水)	①総合教育センター ②総合教育センター ③総合教育センター ④総合教育センター	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	104 理科
2185 01	A	研究開発講座(高　理科実験教材開発) ～協働で開発しよう、実験教材～	生徒が観察、実験を中心とした探究の過程を通じて課題を解決したり、新たな課題を発見したりする経験をより充実させるため、理科演示実験や実験書の開発・改善について研究を行う。		指定者	①5/28(水) ②7/2(水) ③11/21(金)	①オンライン ②総合教育センター ③総合教育センター	―	―	―	◆	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	―	104 理科
2185 02	A				岐阜北地区の実習教諭および実習助手	①5月下旬 ②7月上旬 ③11月中旬	①県立高等学校 ②県立高等学校 ③県立高等学校	―	―	―	◆	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	―	104 理科
2185 03	A				中濃地区の実習教諭および実習助手	①5月下旬 ②7月上旬 ③11月中旬	①県立高等学校 ②県立高等学校 ③県立高等学校	―	―	―	◆	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	―	104 理科

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
2186 01	B	授業改善講座校内研修(高・特)～教科担当主事が訪問し、講義やワークショップ、授業研究会を行います！～	教科担当主事による講義やワークショップ等を通して学習指導要領実施上の課題や疑問等についての解決策など各校の実態を踏まえながら共に考え、指導計画や学習指導の改善を図る。※申込みは別途開催要項ＨＰに掲載の申込用紙(様式1)にて。	01:国語		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 02	B			02:地歴公民		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 03	B			03:数学		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 04	B			04:理科		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 05	B			05:外国語		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 06	B			06:保健体育		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 07	B			07:音楽		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 08	B			08:美術		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 09	B			09:書道		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 10	B			10:家庭		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 11	B			11:福祉		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 12	B			12:農業		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 13	B			13:工業		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 14	B			14:商業		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 15	B			15:情報		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 16	B			16:生活単元学習		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
2186 17	B			17:自立活動		希望日	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	100 教科全般
選択研修　生徒指導																													
☆2201 00	A	生徒指導特別講座～生徒の危機管理能力を育てる～	SNS等による犯罪実行者募集による犯罪への加担や、ネット上の様々なトラブルを防ぐために、生徒に身に付けさせたいモラルやリテラシー、及びそれらを育成するための具体的な実践について学ぶ。			6/16(月)	勤務校	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	204 生徒指導
2203 00	A	特別活動　指導力向上講座(小･中･義)～集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成する特別活動の在り方～	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせながら、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育むことができる特別活動の充実を図るために、講義や交流等を通して共に考える。			7/2(水)PM	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	118 特別活動
2204 00	B	学級経営講座(小･義)～児童がよりよく生きる力を獲得することができる学級経営の在り方を学ぼう～	学習や生活の基盤として、教師と児童との信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係を育てる学級経営の充実を図るためのポイントを講義や演習、実践交流を通して学ぶ。			5/14(水)PM	総合教育センター	―	◆	―	―	―	○	○	○	○	♥	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	118 特別活動
2205 00	B	学級経営講座(中･義)～生徒がよりよく生きる力を獲得することができる学級経営の在り方を学ぼう～	学習や生活の基盤として、教師と生徒との信頼関係及び生徒相互のよりよい人間関係を育てる学級経営の充実を図るためのポイントを講義や演習、実践交流を通して学ぶ。			6/12(木)PM	総合教育センター	―	―	◆	―	―	○	○	○	○	♥	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	118 特別活動
2206 00	A	高等学校のホームルーム経営	教職の基礎形成を図るため、ホームルーム経営に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、実践的指導力を高める。			7/3(木)	勤務校	―	―	―	◆	―	○	―	―	―	―	♥	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	118 特別活動
2208 01	B	キャリア教育基礎講座(基礎形成)～自校での教育活動をみつめ、キャリア教育をすすめよう～	学びや経験の積み重ねで形成されるキャリアとその教育について概論を学ぶとともに、中央研修に参加した教員の実践事例報告を通して自校の実践を振り返り、今後の指導力向上を目指す。	01:小・中・義におけるキャリア教育		11/13(木)AM	勤務校	―	◆	◆	―	―	○	○	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	118 特別活動
2208 02	B			02:高・特におけるキャリア教育		11/13(木)PM	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	118 特別活動
2209 00	B	キャリア教育実践講座～キャリア発達を促すキャリアカウンセリングの充実を！～	子どものキャリア形成の過程や、キャリアカウンセリングの理論、キャリアパスポートの活用法等について、演習を通して具体的に学ぶ。			11/17(月)	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	―	○	○	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	118 特別活動

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）	対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
2210 01	B	生徒指導基礎講座(小中義) ～事例を通して学ぶいじめへの対応～	生徒指導の基盤となる「児童生徒理解」や「児童生徒の居場所づくり・絆づくり」について、生徒指導提要を基にしながら学ぶとともに、「いじめ」の問題に対し、どのように対応していくとよいのか、具体的な事例等を通してその対応力を身に付ける。 ※特別支援学校小学部・中学部の教職員も受講可能 ※午前、午後同一内容	午前の部	9/24(水) 10:00～12:00	総合教育センター 1棟4階大研修室	―	◆	◆	―	◆	○	○	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	204 生徒指導
2210 02	B			午後の部	9/24(水) 14:00～16:00	総合教育センター 1棟4階大研修室	―	◆	◆	―	◆	○	○	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	204 生徒指導
2211 00	A	生徒指導基礎講座(高・特) ～事例を通して学ぶ問題行動対応～	生徒指導の基盤となる「生徒指導理解」「より良い人間関係づくり」「児童生徒との信頼関係づくり」や「いじめ・虐待の問題」について学び、生徒指導の基本的な知識や対応を身に付ける。		6/25(水)PM	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	700 基本研修
2212 00	A	「魅力ある学校づくり」講座 ～「チーム学校」を基盤とした、いじめ未然防止と不登校支援～	国立教育政策研究所が推進する「魅力ある学校づくり調査研究事業」をもとに、いじめ未然防止や不登校支援について理解を深め、実践力を身に付ける。		6/24(火)PM	勤務校	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	204 生徒指導
2213 01	B	臨床心理士による児童生徒の発達特性を踏まえた教育相談の在り方 ～子供の実態を捉えた教育相談の在り方を見つめ直そう～	教職の基礎を固めるために、教育相談を実際にどのように行うのか、具体的事例を踏まえながら、子供の特性に応じた聞き取り方、答え方、導き方など、児童生徒の心と向き合った教育相談が実践できる能力を身に付ける。 01:岐阜・西濃		11/26(水)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	♥	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	202 教育相談
2213 02	B		02:美濃・可茂			中濃総合庁舎																						202 教育相談
2213 03	B		03:東濃			恵那総合庁舎																						202 教育相談
2213 04	B		04:飛騨			飛騨総合庁舎																						202 教育相談
2214 01	A	教育相談基礎講座 ～子どもたちの心の成長を支えるために～	学校における教育相談に関する基本的な知識、より良い人間関係づくりのための技法等の基礎を学び、実践に生かす。(※いずれかのみの受講も可能) 01:学校におけるトラウマインフォームドケア 講師：板倉憲政氏（岐阜大学教育学部）		6/12(木)	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	202 教育相談
2214 02	B		02:子どもの困難さを支援するアセスメント（見立て）～不登校、発達障がい、重層課題～ 講師：石丸千絵氏（岐阜県スクールカウンセラースーパーバイザー、臨床心理士、公認心理師）		9/26(金)	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	―	202 教育相談
2215 01	A	教育相談実践研修会 ～教育相談課題の理解と対応～	児童生徒の心に関わる今日的課題に焦点を当て、専門家による講話から実践に活かせる具体的な知識の習得、資質の向上を目指す。(※いずれかのみの受講も可能) 01:自傷行為、自殺予防、地域連携、メンタルヘルス 講師：松本拓真氏（岐阜大学教育学部）		7/2(水)	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	202 教育相談
2215 02	B		02:児童生徒・学校の先生を支えるメンタルケア 講師：小塩靖崇氏（国立精神・神経医療研究センター）		9/10(水)	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	202 教育相談
2215 03	B		03:子どもの脳を傷つけない子育て～マルトリートメントによる脳への影響と回復へのアプローチ～ 講師：友田明美氏（福井大学子どものこころの発達センター）		11/21(金)	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	202 教育相談
2216 00	A	児童生徒理解講座 ～子どもたちの心の理解のために～	長年の現場経験と脳科学の視点から、子どもの自律を支援するために、教員が子どもと保護者にできる効果的な働きかけについての基本を学び、実践に生かす。 講師：工藤勇一氏（横浜創英中学・高等学校　元校長） （※令和６年度に開催した工藤氏の２つの講座を、１つのオンデマンド講座として開催）		9/10(水)まで	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	202 教育相談
2217 00	B	児童生徒への対応講座 ～子どもたちの心を育てるために～	長年の現場経験と脳科学の視点から、子どもの自律を支援するためにできる効果的な働きかけ、子どもと保護者との信頼を深める具体的な言葉を学び、実践に生かす。 講師：工藤勇一氏（横浜創英中学・高等学校　元校長）		9/11(木)	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	202 教育相談

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
2218 01	A	外国人児童生徒等への指導力向上講座 ～児童生徒一人一人を大切にした日本語指導・学習指導について学ぼう～	全ての教員が日本語指導の対象となる児童生徒に対して、適切な適応指導や日本語指導ができるようになるために、外国人児童生徒等の日本語能力の把握の仕方や日本語指導基礎について、講義・演習を通して学ぶ。01、02、03の受講奨励。	01:（参集）適切な適応指導や日本語指導ができるようになるために、外国人児童生徒等の日本語能力の把握の仕方や日本語指導基礎について、講義・演習を通して学ぶ。		5/29(木)終日	総合教育センター	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	111 外国語活動・外国語
2218 02	B			02:（参集）適切な適応指導や日本語指導ができるようになるために、日本語指導の計画づくりと授業での具体策について、講義・演習を通して学ぶ。また、自己探求課題を作る。		9/12(金)終日	総合教育センター	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	111 外国語活動・外国語
2218 03	B			03:（参集）適切な適応指導や日本語指導ができるようになるために、互いに実践してきた内容を交流・発表し、講師から評価をもらい、自己の指導の参考にしていく。		12/11(木)終日	総合教育センター	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	111 外国語活動・外国語
2219 01	A	国際理解教育講座 ～国際理解教育、多文化共生を理解・体験する～	広い視野で異文化を理解し、多文化共生社会を推進するための手法を身に付けるために、学校で実践できるアクティビティや推進のための考え方について、JICAメンバーと学校の実践者を講師として招き、ワークショップを通して学ぶ。また、JICAの開発教育支援メニューを知ることで、実践の参考にする。01、02の両方を受講することも可。	01:（参集）ベーシック編(学校で明日から使える国際理解教育の手法、アクティビティを、JICA講師によるワークショップを通して体験的に獲得する。)		7/31(木)終日	総合教育センター	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	111 外国語活動・外国語
2219 02	A			02:（参集）スタンダード編(学校で国際理解教育を実践している経験者とJICA講師によるワークショップを通して、多文化共生社会の実現のための手法を学ぶ。)※01、02の両方を受講することも可。		8/1(金)終日	総合教育センター	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	111 外国語活動・外国語
選択研修　経営・分掌																														
2301 00	A	研修主事サポート出前講座(小・中・義)～学び合いの文化の醸成をめざして～	各校の要望に応じて指導主事が学校に出向き、学び合い文化の醸成を図るための方途を研修主事と共に考える。また、年間を通じて関わりをもち、各校の特色ある教育活動や校内研究なども支援する。（研修主事を支える講座） ※申込みは別途開催要項HPに掲載の申込用紙(様式1)にて		研修主事（申込は、研修主事が行ってください。）	希望日(複数日)	勤務校	—	◆	◆	—	—	○	○	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	▲	▲	100 教科全般
2302 00	B	人権教育講座 ～人権教育でこそできる 「人間尊重の気風がみなぎる学校づくり」～	学校における人権教育を全教育活動で推進する指導者としての資質を、講義、研修を通して身に付ける。			12/12(金)	岐阜県総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	—	○	○	—	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	203 人権教育
2303 00	A	教師力を高めるメンタリングを身に付けよう！(高・特)～メンタリングを通した「学ぶ力と育てる力」の向上～	学校組織における職員間の関係を良好に築き、対話による気づきと助言により、自発的で自律的な成長を促す方法や手立てを学び、学校運営や教育活動に生かす。			7/4(金)	総合教育センター	—	—	—	◆	◆	○	—	—	—	—	♥	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
☆2304 00	B	ファシリテーション・グラフィック講座 ～要点を図示・構造化することで、会議の成果を明確にしよう！～	授業や会議等における議論の内容を、すばやく可視化することで、内容を理解しやすく時間短縮することをめざして、わかりやすくまとめ・表現する力を身に付けるよう、講義や演習を通して学ぶ。（230800ファシリテーション講座内のグループ討議におけるペーパー等への可視化・構造化について詳しく学ぶ講座です。）			12/8(月)終日	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	—		♥	—	♥	—	—	—	—	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
☆2305 01	B	カリキュラム・マネジメント基礎講座 ～各学校の資源、特色を生かしたカリキュラム・マネジメントを考える～	日々の教育実践の改善を基盤とした学校における自律的・持続的なカリキュラム・マネジメントの在り方を学ぶとともに、中央研修に参加した教員の実践事例報告を通して自校の実践を振り返り、専門性向上を目指す。	01:小・中・義におけるカリキュラム・マネジメント		1/23(金)AM	勤務校	—	◆	◆	—	—	○	○	○	—	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	500 スキル向上・ICT
☆2305 02	B			02:高・特におけるカリキュラム・マネジメント		1/23(金)PM	勤務校	—	—	—	◆	◆	○	○	○	—	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	500 スキル向上・ICT
☆2306 00	A	問いのデザイン講座	予測困難な社会で生き抜く子供たちを育成するために、授業等において、新たな課題を発見し意欲的に学習に取り組むために必要不可欠な「問い」に焦点を当てて、演習を中心に学ぶ。			10/27(月)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	—	♥	—	♥	—	—	—	—	▲	▲	—	500 スキル向上・ICT

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
2307 01	B	保護者との信頼度向上講座 ～保護者との協力体制を築こう！～	保護者と協力して指導に当たために、初期対応を適切に行い、問題の早期解決を図ることや、保護者とうまく関係を築く方法について、講師の様々な学校現場の事例研究をもとに学ぶ。	01:希望者(新任教頭研修対象者を除く)	左記のとおり	12/11(木)終日	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	—	♥	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2307 02	A			02:新任教頭研修対象者	左記のとおり	12/11(木)終日	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	○	—	♥	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2308 00	A	ファシリテーション講座 ～「場のデザイン力」「対人関係」「構造化」「合意形成」で、議論を活性化させよう～	学校・学年等の組織を支える人と人との相互関係促進を図るために、手立てや、学校・学年等の運営の視点についていて、講義と演習から学ぶ。			6/30(月)終日	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2309 00	B	コーチング講座 ～力を引き出しモチベーションアップ！コーチングを身に付け 学校組織を豊かに～	相手の優れた能力を引き出しながら、自発的な行動を促すコミュニケーションスキルであるコーチングを様々な角度から学び、学校マネジメントに生かす。			9/18(木)	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	500 スキル向上・ICT
2310 00	A	ＤＩＧ(災害図上訓練)初級編 ～タブレットを活用したDIG研修～	ＤＩＧ(災害図上訓練)の講義を通して、学校や地域の防災に対する着眼点及び対策を学ぶ。また、タブレットを活用しながら児童生徒の自助・共助の態度を養うための指導について考える。			6/20(金)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	—	—	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	206 防災教育
2311 00	A	ＨＵＧ(避難所運営シミュレーション)初級編 ～被災地から学ぶHUG研修～	講師の被災地での実体験から、学校が避難所になったときに起こり得る事象について学び、事前に何をすればよいのか、実際どのように動くのかについて考えていく。			6/6(金)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	206 防災教育
2312 01	A	防災教育スペシャリスト養成研修1 ～子どもの命を守りきる防災教育～	自校の「命を守る訓練」をより実践的なものにするために、現在のプランを見直す中で、事前の安全対策や防災教育の在り方について学ぶ。	01:希望者	左記のとおり	6/13(金)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	—	○	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	206 防災教育
2312 02	A			02:新任教頭研修対象者	左記のとおり	6/13(金)PM	総合教育センター																						206 防災教育
2317 01	A	防災教育スペシャリスト養成研修2 ～関係機関と連携した災害時の学校の対応の在り方～	気象情報等から、岐阜地方気象台との連携の中で、どのような判断・対応が考えられるかを検討する。	01:希望者	左記のとおり	7/28(月)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	—	○	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	206 防災教育
2317 02	A			02:新任教頭研修対象者	左記のとおり	7/28(月)PM	総合教育センター																						206 防災教育
2318 01	B	防災教育スペシャリスト養成研修3 ～危機管理マニュアルの見直し・ワークショップ～	危機管理マニュアルの具体的な見直しの方法・手順などを学ぶとともに、自校の危機管理マニュアルを実際に見直す。	01:希望者	左記のとおり	9/5(金)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	—	○	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	206 防災教育
2318 02	A			02:新任教頭研修対象者	左記のとおり	9/5(金)PM	総合教育センター																						206 防災教育
2319 01	B	防災教育スペシャリスト養成研修4 ～災害時の教育の確保と復旧・復興 能登半島地震の事実から考える～	災害時における対応の在り方や学校の再開に向けた取組などについて、石川県穴水町立穴水中学校における実践から学ぶ。	01:希望者（参集）	左記のとおり	11/6(木)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	—	○	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	206 防災教育
2319 02	B			02:希望者（オンライン）	左記のとおり	11/6(木)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	○	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	206 防災教育
2319 03	A			03:新任教頭研修対象者（参集）	左記のとおり	11/6(木)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	—	○	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	206 防災教育
2319 04	A			04:新任教頭研修対象者（オンライン）	左記のとおり	11/6(木)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	○	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	206 防災教育
☆2320 00	B	市町村立小中学校等事務職員ミドルリーダー研修	共同学校事務室等組織及び学校におけるミドルリーダーとして、問題解決のための企画・提案及び調整能力や事務職員等への指導・助言及び支援ができる能力を高めるとともに、ミドルリーダーとしての使命感の高揚を図る。		主任の希望者 ※主任研受講年度は対象外	11/21(金)PM	総合教育センター	—	◆	◆	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	301 事務職員
2321 00	B	市町村立小中学校等事務職員リーダー研修	共同学校事務室等組織のリーダーとして、組織的な校務運営への参画及び人材育成に必要な連絡調整及び指導・助言・支援ができる能力を高めるとともに、各地域のリーダーとしての使命感の高揚を図る。		主査以上の希望者 ※主査研受講年度は対象外	12/1(月)終日	総合教育センター	—	◆	◆	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	301 事務職員

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）	対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
☆2322 00	A	進めよう！コミュニティ・スクール 地域学校協働活動 ～WIN-WINでつながる地域とともにある学校～	地域の力を、「学校支援」から「連携・協働」に変える学校の体制づくり、地域学校協働活動を持続可能にするためのポイントを、事例を通して学ぶ。 ※ぎふ地域学校協働活動センター(県・岐阜大学共同設置)共催。 ※講師：文部科学省CSマイスター　森　万喜子　氏		7/23(水)	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	500 スキル向上・ICT
☆2323 00	B	岐阜県地域学校協働活動フォーラム２０２５	講演、実践発表を通して、コミュティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進についての理解を深め、活動の推進を図る。 ※ぎふ地域学校協働活動センター（県・岐阜大学共同設置）共催。		9/16(火)	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	500 スキル向上・ICT
2324 01	A	学校司書資質向上研修	学校図書館運営に関わる先進事例や、運営に必要な知識を身に付け、実務に生かす。	01:県立学校司書【高特】（臨時・再任用・会計年度任用職員含む）	県立学校司書（高・特）	6/6(金)PM	県図書館	－	－	－	◆	◆	－	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2324 02	B			02:学校司書【小中義高特】（臨時・再任用・会計年度任用職員・図書整理員等を含む）	学校司書(小・中・義・高・特)	9/19(金)PM	総合教育センター	－	◆	◆	◆	◆	－	－	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
選択研修　特別な配慮や支援を必要とする幼児児童生徒への対応																												
2401 01	B	ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり ～明日から生かせる理論と実践～	ユニバーサルデザインの視点に基づいた授業づくりや個に応じた支援や環境設定について学び、教職の基礎形成や資質向上を図る。また、多様な子供たちに対し、個性を生かした学びの実現に向けて、具体的な支援方法や実際の改善方法の在り方を学ぶ。		11/7(金)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	－	－	♥	－	－	♥	－	－	－	－	－	▲	▲	－	201 特別支援教育
2401 02	B					中濃総合庁舎	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	－	－	♥	－	－	♥	－	－	－	－	－	▲	▲	－	201 特別支援教育
2401 03	B					飛騨総合庁舎	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	－	－	♥	－	－	♥	－	－	－	－	－	▲	▲	－	201 特別支援教育
2402 00	B	発達障がいのある幼児児童生徒への支援 ～発達と感覚統合について作業療法士の視点から学ぶ～	発達障がいのある幼児児童生徒の困り感や多様なニーズに応えるために、困難さの要因分析の考え方や支援方法について専門家(作業療法士等)の視点から学び、教職の基礎形成や資質向上を図る。		10/8(水)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	－	－	－	♥	－	♥	－	－	－	－	－	▲	－	－	201 特別支援教育
2403 00	B	発達障がいのある児童生徒の発達段階を踏まえた指導の在り方	発達障がいのある子どもの発達段階を踏まえた指導について学び、具体的な指導の改善方法や支援の在り方を学ぶ。		11/28(金)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○			♥	－	－	♥	－	－	－	－	－	▲	－	－	201 特別支援教育
2404 00	B	発達障がいのある子の性教育	医学の専門家による講話と演習を通して、発達障がいのある幼児児童生徒の性教育について学び、指導・支援に生かす。		10月頃	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	－	○	－	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	▲	▲	201 特別支援教育
2405 00	B	発達障がいのある子の「見る力」に対する指導	オプトメトリストによる講話と演習を通して、発達障がいのある幼児児童生徒の見る力について学び、指導・支援に生かす。		11月頃	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	－	○	－	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	▲	▲	201 特別支援教育
2406 00	B	発達障がいのある学生に対する支援の実際 ～高等教育機関における発達障がい学生に対する支援の実際～	心理学の専門家による講話と校種間を越えたグループでの支援の検討を通して、高等教育機関における発達障がい支援について学び、長期的な視点をもって学齢期の支援に生かす。		9月頃	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	－	○	－	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	▲	▲	201 特別支援教育
☆2408 00	A	レッツ！ポジティブ行動支援 ～望ましい行動を引き出すアプローチ～	一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導や支援を目指し、気になる行動の背景を理解し、望ましい行動を引き出す支援方法について学ぶ。		①6/12(木)PM ②11/12(水)PM	①勤務校 ②総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	－	♥	－	♥	－	－	－	－	－	▲	▲	－	201 特別支援教育
2409 00	A	個別の教育支援計画の作成･活用 ～支援をつなぎ､理解を深める～	作成した個別の教育支援計画に基づき、支援を必要とする幼児児童生徒に対しての有効な支援方法や活用方法について多角的な視点から資質向上を図る。		7/4(金)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	－	－	○	○	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	－	▲	－	201 特別支援教育
2410 00	B	医学･福祉の視点から学ぶ特別支援教育	医学や福祉の専門家による講座で知識を深め、様々な発達段階における支援の在り方や教育との連携について考えると共に、特別な支援に関する具体的な指導力の向上につなげる。		9/5(金) 終日	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	▲	－	－	201 特別支援教育
2411 00	A	特別支援教育講座　医療的ケア専門研修 ～学校における医療的ケア～	医療的ケアの基本的事項(重度の障がい・疾病のある児童生徒)についての医療上の専門的な対応方法に関する具体的な知識、理解を深める。		8/21(木)	岐阜県立看護大学	◆	◆	◆	◆	◆	－	○	－	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	－	▲	－	－	201 特別支援教育

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）	対象	期日	会場	校種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検索
							幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
2412 00	A	交流及び共同学習 ～共に学び、互いに成長し合える交流であるために～	「通常の学級と特別支援学級」「交流籍交流や学校間交流」の交流及び共同学習の実践から、共に学び、互いに成長し合える交流及び共同学習の在り方について学ぶ。		7/2(水)	勤務校	―	◆	◆	◆	◆	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	―	201 特別支援教育
2413 00	A	特別支援学級の実践者から学ぶ授業づくり	特別支援学級の実践者より、ＨＲ・学級経営の内容と果たす役割や児童生徒の実態分析から授業づくりについて学び、自らの実践に役立てる。		7/2(水)PM	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
2414 00	A	集まれ！言語通級指導教室集合研修 ～地域、県内でつながり、互いに学び合おう～	言語通級指導教室の授業の進め方から自己課題に応じた研修(発音・吃音・コミュニケーション)を通して実践力を高めるとともに、地域や県内の言語通級指導者とのつながりを深める。		7/25(金)終日	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
☆2415 00	A	高等学校の実践者から支援を学ぶ～通級における指導～	高等学校の実践者や通級指導担当者から、通級における指導の実態や支援方法について学び、自らの実践に役立てる。		7/9(水)PM	勤務校	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	―	201 特別支援教育
2416 00	B	多様なニーズに応じた特別支援教育オンデマンド研修	特別支援教育の基礎的な知識について、国立特別支援教育総合研究所のコンテンツを基に、自らのニーズや障がい種に応じて、概論的に学ぶ。		5/1～1/30	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	201 特別支援教育
2417 00	A	知的障がいのある児童生徒の学び ～学習指導要領を基にした目標設定とキャリア発達支援～	知的障がいのある児童生徒の学習指導要領に基づいた目標設定やキャリア発達支援について学ぶ。		7/31(木)PM	勤務校	―	―	―	―	◆	○	○	―	―	♥	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	―	201 特別支援教育
2418 00	A	特別支援学校の実践者から学ぶ授業づくり	特別支援学校の実践発表から知的障がい学級の授業づくりについて学び、教科別の指導や各教科等を合わせた指導の実践力を高める。		8/20(水)PM	総合教育センター	―	―	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
☆2419 00	A	特別支援教育セレクト講座	コア・スクール(視覚障がい・聴覚障がい・病弱・肢体不自由・軽度知的障がい)の各専門分野領域におけるコア・ティーチャーから具体的な支援方法について学び、特別支援教育に携わる教員としての専門性向上を図る。		①9/24(水)PM ②10/23(木)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	―	201 特別支援教育
☆2420 00	A	重複障がい学級の指導 ～コア･スクールで基礎を学ぼう～	肢体不自由教育のコア・スクールで各専門分野領域のコア・ティーチャーから重度重複障がい学級の指導に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを基盤とした実践的指導力を身に付ける。		7/30(水)終日	岐阜希望が丘特別支援学校	―	―	―	―	◆	○	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
2421 00	A	重複障がい学級の指導 ～実践者から学ぶ｢からだ｣の授業～	専門的な知識や技能を有し、重複障がい学級の指導を実践してきた実践者から「からだ」についての知識や技能を学ぶとともに実践の悩みや自己課題についての助言を受けて、明日からの授業実践力を高める。		7/24(木)終日	総合教育センター	―	―	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
2422 00	A	重複障がい学級の指導 ～作業療法士と共に考える｢個別課題｣の授業～	重度重複障がい児に対する身体の動きの困難さの要因分析から適した姿勢づくりや手指操作課題について専門家(作業療法士等)の視点から学び、個に合わせた指導や授業実践力を高める。		7/28(月)終日	総合教育センター	―	―	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
2423 00	A	重複障がい学級の指導 ～スイッチ教材をつくろう～	スイッチ教材を実際に作りながら、効果的な活用法をコア・ティーチャーから学ぶ。		8/25(月)PM	岐阜希望が丘特別支援学校	―	―	―	―	◆	○	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
2424 00	A	基礎から学ぶ動作法～動作法の概論、実技を学ぶ～	心理リハビリテーションスーパーバイザーから動作法概論、実技を学び、実践に生かす。		8/21(木)終日	総合教育センター	―	―	―	―	◆	○	○	―	―	♥	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
2425 01	A	動作法を活用した「からだ」の授業～実技演習を通して学ぶ～	心理リハビリテーションスーパーバイザーから動作法を活用した「からだ」の授業についての実技演習から、専門的な知識、技能を学び授業実践力を高める。	01:岐阜地区、西濃地区、美濃地区の特別支援学校教員	左記のとおり	8/18(月)終日	総合教育センター	―	―	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
2425 02				02：可茂地区、東濃地区、飛騨地区の特別支援学校教員	左記のとおり	8/22(金)終日	総合教育センター	―	―	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育

選択研修　ＩＣＴや情報・教育データの利活用

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
2501 01	A	生成AIの教育における活用講座	生成AI(人工知能)を用いたプロンプトエンジニアリングの演習を通して、生成AIについて理解を深めるとともに、教育における活用の可能性を学ぶ。	01:集合研修 01及び02は同一内容		8/28(木)PM	総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	500 スキル向上・ICT
2501 02	A			02:オンライン研修 01及び02は同一内容			勤務校	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	500 スキル向上・ICT
2501 03	A			03:集合研修		8/29(金)PM	総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	500 スキル向上・ICT
2502 01	A	【基礎形成】これでばっちり！情報教育の基礎 ～ＩＣＴ活用・著作権・情報管理の基礎を学ぶ～	ＩＣＴを活用した授業、学校教育における著作権、情報セキュリティについての基礎基本の理解を深め、以後の教育実践や業務の見直しを図る。 ※高校･特支学校は、初任研と内容が重複しますので受講対象外です。01、02、03は同一内容です。			5/14(水)	総合教育センター	―	◆	◆	―	―	○	―	―	―	♥	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	500 スキル向上・ICT
2502 02	A					5/29(木)																							500 スキル向上・ICT
2502 03	A					5/30(金)																							500 スキル向上・ICT
2503 01	A	◆放課後学べる！ミニICT講座 ～短時間でＩＣＴツールの基本的な使い方や使い慣れたソフトの新機能を学ぶ～	短時間で、ＩＣＴツールについて学ぶ、オンライン(オンデマンド)研修。今さら聞けないソフトの基本的な使い方や使い慣れたソフトの新機能について、学校にいながら学ぶ。 ※おもな研修内容がＩＣＴツールの基本的な操作や機能であることや、各自治体によって、ICTツール整備環境が異なりますので、自校に整備され利用できる環境であるかを踏まえて、受講を検討してください。 ※本研修講座は、中堅教諭資質向上研修等の「自己課題に応じた研修」には代替できません。 ※育休明け、役職定年等でＩＣＴにブランクのある方も、気軽に参加してください。 【30分程度のミニ研修講座のため、研修履歴には残りません】	01:Webex		6/2(月)15:50～	勤務校	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	500 スキル向上・ICT
2503 02	A			02:Microsoft Forms		6/4(水)15:50～		―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	500 スキル向上・ICT
2503 03	A			03:MetaMoJi ClassRoom		6/9(月)15:50～		―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	500 スキル向上・ICT
2503 04	A			04:ipad		6/13(金)15:50～		―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	500 スキル向上・ICT
2503 05	A			05:ロイロノート		6/16(月)15:50～		―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	500 スキル向上・ICT
2503 06	A			06:百問繚乱		6月		―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	500 スキル向上・ICT
2503 07	A			07:manaba		6/23(月)15:50～		―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	500 スキル向上・ICT
2503 08	A			08:SKYMENU Cloud		6/24(火)15:50～		―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	500 スキル向上・ICT
2503 09	A			09:Power Automate		7/2(水)15:50～		―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	500 スキル向上・ICT
2503 10	A			10:MEXCBT		7/4(金)15:50～		―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	500 スキル向上・ICT
2503 11	A			11:Google WorkSpace		7/11(金)15:50～		―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	500 スキル向上・ICT
2504 00	A	◆放課後学べる！ミニ著作権講座 ～短時間で学校教育における著作権について学びます～	短時間で、著作権について学ぶ、オンライン(オンデマンド)研修。学校教育における著作物の取り扱いについて、学校にいながら学ぶ。 ※本研修講座は、中堅教諭資質向上研修等の「自己課題に応じた研修」には代替できません。 【30分程度のミニ研修講座のため、研修履歴には残りません】			7/14(月)15:50～	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	▲	500 スキル向上・ICT

講座番号 （☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～ （◆：履歴に残さない講座）	内　　容 （ねらい、形態、日程等）		対　象	期　　日	会　　場	校　種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検　索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
2505 01	B	ＩＣＴ活用実践研修(小・中・義・高・特) ～1人1台端末と連携する学習支援ソフトの活用指導力を高める～	ＧＩＧＡスクール構想やオンライン学習等の整備に伴い、県内小学校、中学校、義務教育学校、高等学校のＩＣＴ活用指導力の向上を図るため、1人1台端末と連携する学習支援ツールの活用実践を通して、実践に生かすための活用指導力を身に付ける。	01,02:ipad (01及び02は同一内容)		9/3(水)PM	総合教育センター	－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2505 02	B					9/4(木)PM																							500 スキル向上・ICT
2505 03	B			03,04,05:ロイロノート (03, 04及び05は同一内容)		9/10(水)PM		－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2505 04	B					9/18(木)PM																							500 スキル向上・ICT
2505 05	B					9/22(月)PM																							500 スキル向上・ICT
2505 06	B			06,07:MetaMoJi ClassRoom (06及び07は同一内容)		9/24(水)PM		－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2505 07	B					10/9(木)PM																							500 スキル向上・ICT
2505 08	B			08:SKYMENU Cloud		10/23(木)PM		－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2505 09	B			09,10:Microsoft Teams (09及び10は同一内容)		11/20(木)PM		－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2505 10	B					11/28(金)PM																							500 スキル向上・ICT
2505 11	B			11:Chrome Book		11/21(金)PM		－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2506 00	A	ICT活用実践研修(特) ～1人1台端末の活用と実践～	GIGAスクール構想やオンライン学習等の急速な整備に伴い、特別支援学校のICT活用指導力の向上を図るため、1人1台端末と連携する学習支援ツールの活用実践を通して、実践に生かすための活用指導力を身に付ける。			①7/29(火)終日 ②12/12(金)PM	①総合教育センター ②勤務校	－	－	－	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	♥	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2507 01	A	小学校プログラミング講座 ～教育課程への位置付けを実践的に行う～	プログラミング教育を推進するため、「小学校プログラミング教育の手引」や様々な実践事例を基に学び、各教科等における論理的な思考力を高めるための指導力を身に付ける。	01:microbit		6/30(月)	総合教育センター	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2507 02	A			02:Scratch		7/7(月)	総合教育センター	－	◆	◆	－	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2508 00	B	校務DX(デジタルトランスフォーメーション)推進講座	文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」を参考に、校務DX(デジタルトランスフォーメーション）に関する講義と演習を通じて、校務の効率化や働き方改革を推進する。			10/10(金)	総合教育センター	－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2509 00	A	ホームページによる県立学校の情報発信講座 ～WordPressを活用した効率的な学校情報の発信～	WordPressの仕組みや基本的な作成技能等について実習を通して学び、効率的な学校情報の発信を行うための実践力を身に付ける。			6/27(金)	総合教育センター	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2510 01	A	統合型校務支援システム活用講座 ～成績入力・名簿機能の活用から校務の効率化を図る～	小・中・義務教育学校に導入されている統合型校務支援システムの更なる活用のため、成績入力と名簿機能、特別支援機能等の基本機能について確認し、活用方法について考える。	01:小・義務教育学校(前期課程)における機能の活用について取り扱う。		6/25(水)PM	総合教育センター	－	◆	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	▲	－	500 スキル向上・ICT
2510 02	A			02:中・義務教育学校(後期課程)における機能の活用について取り扱う。		6/30(月)PM	総合教育センター	－	－	◆	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	▲	－	500 スキル向上・ICT
2511 01	A	校務のための表計算活用講座 ～校務処理の時短に役立つ機能の活用～	実用的な関数の利用、クロス集計やフィルターなどの各種機能など基礎的内容を学び、校務の効率化に役立つ知識と技術を身に付ける。GIGAスクール構想における3つのOSそれぞれの表計算アプリについて取り扱う。	01及び02は同一内容		6/6(金)	総合教育センター	－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT
2511 02	B			01及び02は同一内容		10/24(金)	総合教育センター	－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	♥	－	－	－	－	▲	－	－	500 スキル向上・ICT

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）	対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
2512 00	B	メディア情報リテラシー ～デジタル・シティズンシップ教育の視点から情報モラルを学ぼう～	「よりよいデジタル市民になるために」と考えたときに、情報モラルの育成にフォーカスすると、本講座のタイトルにある「メディア情報リテラシー」にいきつく。第一人者からワークショップを交えて学ぶ。		12/18(木)PM	総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	500 スキル向上・ICT
2513 00	B	新しい学びの時代における著作権教育講座 ～1人1台端末環境、オンライン学習における著作権について学ぶ～	ICT環境を用いた授業や、オンラインを活用した学習活動を行う際に気を付けるべき著作権について学ぶ。		1/19(月)	勤務校	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	500 スキル向上・ICT
2514 00	B	ICTで実現する教育データの活用 ～教育データの収集・分析・フィードバック～	ＧＩＧＡスクール構想で整備された環境を活用した「個別最適な学び」を生かし、未来を担う子どもたちを育成する学校教育の在り方について学ぶ。		11月	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	500 スキル向上・ICT
2515 00	A	情報モラル教育指導者養成講座 ～事例から学ぶ、ネット社会の危険性とその対応～	ネット社会の危険性に関する講話や実践を通して、教職員や児童生徒、保護者を対象としたネットトラブル等の対処法の講話を行うときに必要な知識やスキルを身に付け指導力を高める。	―	①6/16(月) ②10/10(金) ③1/27(火)	勤務校	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	500 スキル向上・ICT
2516 00	B	学習者用デジタル教科書活用講座 ～デジタルの強みを生かした教科書をいかに活用するか～	学習者用デジタル教科書の「つくり」や、何を期待して各種機能が込められているのか、有識者から学ぶ。		10/6(月)PM	総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	500 スキル向上・ICT
2517 01	B	伝わる！作れる！動画の撮影や編集のポイント ～教材としての動画活用のために～	わかりやすく伝わりやすい教材動画を作成するためのポイントを、専門講師の講義と実技演習を通して学ぶ。 01及び02は同一内容		9月	総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	500 スキル向上・ICT
2517 02	B		01及び02は同一内容		11月																							500 スキル向上・ICT
2518 00	B	デジタル・シティズンシップ教育のすすめ	デジタル社会を生き抜いていく子供たちに必要なデジタル・シティズンシップ教育について専門講師の講義を通して学ぶ。		11/5(水)PM	総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	500 スキル向上・ICT
2519 00	B	クラウドを活用した個別最適な学びと協働的な学び	GIGAスクール構想による整備後の先にあるICT活用について理解を図り、今後の実践に生かすための知識を身に付ける。		9/29(月)PM	総合教育センター	―	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	▲	―	―	500 スキル向上・ICT
2520 00	B	e-Learning リスキリングＩＣＴ講座 ～文書作成、表計算、プレゼンテーション～	文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトとウェアの活用について、基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。学び直したい方におすすめ。ＧＩＧＡスクール構想における3つのＯＳすべてに対応する。		6/2(月)～1/30(火)	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	―	○	○	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	500 スキル向上・ICT
選択研修　育児休業からの復帰支援のための研修																												
2601 00	A	育児休業からの復帰支援のための研修 ～育児と仕事の両立に向けて自分に合った働き方を考えよう～	現在の教育をめぐる社会の動向や岐阜県の児童生徒の実態、育児と仕事の両立を支援する制度等を知り、復帰後の不安や戸惑いを解消するため、講義や実践交流を通し、自分に合った働き方について考える。		7/4(金) PM	自宅等	◆	◆	◆	◆	◆														―	▲	▲	302 育児休業
連携研修（大学）																												
3001 01	A	スクールリーダー養成研修A	岐阜大学教職大学院との協働により、「教育法規(コンプライアンス・労務管理)」・「リーダーシップ論」・「教育改革(ＩＣＴ教育)」・「インクルーシブ教育」に係る講話・演習を通して、スクールリーダーとしての資質向上を図る。 (新任三主任(高特)は講座番号 300102,300202,300302 から一つ以上選択してください)	小中義	7/28(月)終日	勤務校	―	◆	◆	―	―	―	―	○	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3001 02	A			新任三主任(高特)	7/28(月)終日	勤務校	―	―	―	◆	◆	―	―	○	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3001 03	A			高特	7/28(月)終日	勤務校	―	―	―	◆	◆	―	―	○	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3002 01	A	スクールリーダー養成研修B	岐阜大学教職大学院との協働により、「組織マネジメント」・「学校評価」・「学校の危機管理」・「学校の事件・事故」に係る講話・演習を通して、スクールリーダーとしての資質向上を図る。 (新任三主任(高特)は講座番号 300102,300202,300302 から一つ以上選択してください)	小中義	7/31(木)終日	勤務校	―	◆	◆	―	―	―	―	○	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3002 02	A			新任三主任(高特)	7/31(木)終日	勤務校	―	―	―	◆	◆	―	―	○	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3002 03	A			高特	7/31(木)終日	勤務校	―	―	―	◆	◆	―	―	○	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）	対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
3003 01	A	スクールリーダー養成研修C	岐阜大学教職大学院との協働により、「今日的教育課題」・「カリキュラム・マネジメント論」・「授業開発論」・「地域との連携・協働」に係る講話・演習を通して、スクールリーダーとしての資質向上を図る。 （新任三主任(高特)は講座番号 300102,300202,300302 から一つ以上選択してください）	小中義	8/19(火)終日	勤務校	―	◆	◆	―	―	―	―	○	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3003 02	A			新任三主任(高特)	8/19(火)終日	勤務校	―	―	―	◆	◆	―	―	○	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3003 03	A			高特	8/19(火)終日	勤務校	―	―	―	◆	◆	―	―	○	―	♥	♥	♥	♥	♥	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
連携研修（県美術館・県図書館・県博物館等の文化施設）																												
3101 00	B	授業に生かす考古学講座【文化財保護センター】 ～本物に触れる感動を！興味・関心を高める授業づくり～	本物の遺物に触れる活動を通して、ふるさとの文化財から学ぶことのよさを実感する。また、発掘調査の成果を授業で生かす具体的な方法を知ることで、社会科以外の教科においても体験や実物から学ぶ意義について考える機会とし、ふるさと教育に関する指導力の向上を図る。		11/7(金)終日	文化財保護センター	―	◆	◆	◆	◆	―	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3102 01	A	博物館活用講座【岐阜県博物館】 ～自然観察やバックヤード見学等を通して博物館の魅力・活用方法を学ぶ～	学校や園での岐阜県博物館の活用を目指し、博物館周辺の自然観察や館内収蔵物、館内展示物の見学を通して、博物館の魅力や活用方法を理解するとともに、学校や園での博物館の活用について考える。 (01と02は同一内容の講座です。開催時期が違うため、野外観察時に観察する動植物の対象が変わることがあります。) 01:学芸員から学ぶ　春 自然観察や館内見学、博物館の活用例の紹介から、学校や園での活動や教科等の活用について交流する。 （終日参集）		5/23(金)終日	岐阜県博物館	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3102 02	B		02:学芸員から学ぶ　秋 自然観察や館内見学、博物館の活用例の紹介から、学校や園での活動や教科等の活用について交流する。 （終日参集）		10/10(金)終日	岐阜県博物館	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3103 00	B	博物館活用講座【瑞浪市化石博物館】 ～地層の観察、化石採集・化石クリーニングを体験して博物館の魅力・活用方法を学ぶ～	地質に関する演習を学校や園の活動につなげることを目指し、瑞浪市化石博物館や地層の見学、化石採集・化石クリーニングを通して、地質や自然観察等に関する指導力を向上させる。 （終日参集）		10/3(金)終日	瑞浪市化石博物館	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3104 01	A	先端科学技術体験講座(光触媒、電子顕微鏡)【サイエンスワールド】 ～好奇心をくすぐる体験！～	先端技術を体験し、新たな知識に触れることで、学校や園における探究的な活動の指導力の向上を図る。 01:「酸化チタン」がもつ光触媒作用やコーティングによる干渉色の違いなどの特性について学ぶ。		6/27(金)	サイエンスワールド	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3104 02	B		02:「電子顕微鏡」を操作し、身近なものや生物を観察することで、その特徴を理解する。		11/20(木)	サイエンスワールド	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3105 01	A	ものから学ぶサイエンス体験講座【サイエンスワールド】 ～どんぐり・プラスチックについて様々な見方を働かせ、体験する～	学校や園での施設の利用や科学技術や環境問題、森林保護等に関する活動の工夫を目指し、どんぐりやプラスチックの特徴を様々な見方を働かせて捉える体験を通して、探究的な活動の指導力を向上させる。 01:プラスチックから学ぶ科学 プラスチックの特徴を知る実験等を行い、科学技術や環境問題について話し合い、学校や園での活用方法を考える。 （午前参集）		6/6(金)AM	サイエンスワールド	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3105 02	A		02:どんぐりから学ぶ生態 どんぐりの特徴や生態を知る観察やものづくりを行い、森林保護等について話し合い、学校や園での活用方法を考える。 （午後参集）		6/6(金)PM	サイエンスワールド	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3106 00	B	美術館活用講座【岐阜県美術館】 ～感性を働かせて、美術館で活動に浸る一日～	美術館と学校との連携による創造活動の充実を知り、さらに鑑賞指導力を高めるために、岐阜県美術館の展示をもとに「対話型鑑賞」の体験や演習等を行い、美術館と連携した鑑賞活動や指導方法を共に考える。		10/9(木)終日	岐阜県美術館	―	◆	◆	◆	◆	―	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携
3107 00	B	美術館活用講座【岐阜県現代陶芸美術館】 ～感性を働かせて、美術館での活動に浸る一日～	美術館と学校との連携による創造活動の充実を知り、さらに鑑賞指導力を高めるために、岐阜県現代陶芸美術館の展示をもとに「対話型鑑賞」の体験や作陶体験を行い、美術館と連携した鑑賞活動や指導方法を共に考える。		11/14(金)終日	岐阜県現代陶芸美術館	―	◆	◆	◆	◆	―	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	400 大学・施設連携

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
3108 01	B	野外で学ぶ体験講座【森林文化アカデミー】 ～01：自然遊びを考えよう～ ～02：屋外を活用した授業展開を考えよう～	指導者の自然体験を深めるとともに、自然体験学習の理論と指導法を身に付け、各校種における指導力向上と学校現場での活用を目指す。	01:自然の中で、体を動かし心を動かす実践活動を学ぶ。		10/24(金)	森林文化アカデミー	◆	◆	―	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	400 大学・施設連携
3108 02	B			02:屋外のメリットを活用した授業展開の体験と手法を学ぶ。		11/6(木) 11/7(金) の2日間	①森林文化アカデミー ②美濃加茂市立山之上小学校 森林文化アカデミー	◆	◆	◆	―	◆	○	○	○	○	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	400 大学・施設連携
☆義務教育課の研修																													
4001 00	A	「指導と評価の一体化」研修会	指導と評価の一体化について有識者から学ぶ。			6/3(火)PM	勤務校	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	100 教科全般
4002 00	A	「生成AI の利活用に関する実証研究事業」講演会	生成ＡＩが教育に与える影響や倫理的な懸念等について有識者から学ぶ。			8/21(木)AM	勤務校	―	◆	◆	―	―	○	○	○	○	♥	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	500 スキル向上・ICT
☆高校教育課の研修																													
4101 01	A	高等学校・特別支援学校 人権教育教員研修	高等学校、特別支援学校における人権教育の推進を図るため、部落差別(同和問題)をはじめとした様々な人権課題に関する正しい理解と認識を深め、各校の人権教育の推進状況、具体的な取組などについて実践交流を行い、人権教育の一層の充実に資する。		各高等学校、特別支援学校の人権教育担当教諭又は常勤講師	5/28(水) 13:30～16:00	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	203 人権教育
4101 02	B				各高等学校、特別支援学校の理科の担当教諭又は常勤講師	11/6(木) 13:30～16:00	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	203 人権教育
4102 00	B	高等学校・特別支援学校 人権教育担当者連絡会	高等学校及び特別支援学校における人権教育の推進について連絡、協議等を行い、人権教育担当者の資質向上及び人権教育の一層の充実に資する。		各高等学校、特別支援学校の人権教育担当教諭又は常勤講師	1/30(金) 13:30～16:00	勤務校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	203 人権教育
4103 00	B	高等学校道徳教育教員研修	高等学校における人間としての在り方生き方に関する教育の推進を図るため、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の在り方についての理解を深める。		各高等学校、特別支援学校の道徳教育推進教師又はそれに準ずる教員	未定(10月～12月)	西濃地区の公立高等学校	―	―	―	◆	◆	○	○	○	○	♥	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	116 道徳
☆特別支援教育課の研修																													
4200 00	A	発達障がい支援担当教員養成事業スタンダード研修	オンデマンド動画の視聴や自己課題に基づいた選択型の研修を通して、発達障がい支援の基本的な内容の習得及び専門性、実践的指導力の向上を図る。			7月頃	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	201 特別支援教育
4210 00	A	発達障がい支援担当教員養成事業ベーシック研修【幼稚園等】	研修講師の訪問支援や講義、オンデマンド動画の視聴等を通して、発達障がい支援の基本的な内容の習得及び専門性、実践的指導力の向上を図る。			①6月頃 ②7月頃 ③8月～ ④10月 ⑤11月 ⑥2月 ※③は講師と調整の上決定	勤務園	◆	―	―	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	▲	201 特別支援教育

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目								開催方法			検索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
4220 01	A	発達障がい支援担当教員養成事業 ベーシック研修【小中義】	発達障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活上や学習上の困難を改善又は克服するための指導について、コア・ティーチャーの授業の参観や講義、オンデマンド動画の視聴を通して学び、日々の指導に生かす。	01:岐阜地区	発達障がい支援について、コア・ティーチャーの授業の参観や講義、オンデマンド動画の視聴を通して学びたい者	①8月 ②9月 ③10月 ④11月 ⑤12月 ⑥2月	コア・ティーチャー勤務校 勤務校	―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	▲	201 特別支援教育
4220 02	A			02:西濃地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	▲	201 特別支援教育
4220 03	A			03:美濃地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	▲	201 特別支援教育
4220 04	A			04:可茂地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	▲	201 特別支援教育
4220 05	A			05:東濃地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	▲	201 特別支援教育
4220 06	A			06:飛騨地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	▲	201 特別支援教育
4221 01	A	発達障がい支援担当教員養成事業 スタート研修	発達障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活上や学習上の困難を改善又は克服するための適切な知識や実践的な指導力及び教室経営力について、コア・ティーチャーの訪問支援等を通して身に付ける。	01:岐阜地区	発達障がいを対象とする通級指導教室の担当1年目の者（悉皆）	①5月 ②6月 ③7月～9月 ④9月～1月 ※③④はコア・ティーチャーと日程調整後決定。	コア・ティーチャー勤務校 勤務校	―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
4221 02	A			02:西濃地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
4221 03	A			03:美濃地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
4221 04	A			04:可茂地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
4221 05	A			05:東濃地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
4221 06	A			06:飛騨地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	―	―	201 特別支援教育
4222 01	A	発達障がい支援担当教員養成事業 ステップアップ研修	発達障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活上や学習上の困難を改善又は克服するための適切な知識や実践的な指導力及び教室経営力について、コア・ティーチャーの授業参観や課題追究形式の研修を通して、身に付ける。	01:岐阜地区	発達障がいを対象とする通級指導教室の担当2年目以上の希望者	①7月 ②9月以降 ③9月 ④12月 ⑤1月 ⑥2月 ※②は総合教育センター講座からの選択して研修	コア・ティーチャー勤務校 勤務校	―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	▲	▲	201 特別支援教育
4222 02	A			02:西濃地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	▲	▲	201 特別支援教育
4222 03	A			03:美濃地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	▲	▲	201 特別支援教育
4222 04	A			04:可茂地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	▲	▲	201 特別支援教育
4222 05	A			05:東濃地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	▲	▲	201 特別支援教育
4222 06	A			06:飛騨地区				―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	▲	▲	201 特別支援教育
4223 00	A	発達障がい支援担当教員養成事業 レベルアップ研修	特別支援学級及び、言語障がいを対象とする通級指導教室の担当教員を対象とし、自己課題に応じた研修を実施することにより、専門性及び実践的指導力の向上を図る。 ※オンラインシステムによる参加と参集による参加を選択			①6月頃 ②8月頃 ③9・10月 ④1月頃 ※③は調整の上決定	勤務校もしくは総合教育センター	―	◆	◆	―	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	▲	▲	―	201 特別支援教育
4224 00	A	発達障がい支援担当教員養成事業 マネジメント研修　～聞きたい　知りたい　特別支援教育～	管理職を対象とし、特別な教育的ニーズのある児童生徒の支援のポイントや校内マネジメントの仕方について学ぶ。		小・中・義務教育学校の校長（副校長）・教頭・主幹教諭（他校種の管理職も受講加）	①5/22(木)PM ②8月頃 ③9月頃 ※②はオンデマンド動画の視聴	総合教育センター		◆	◆			―	―	―	○				♥						▲		▲	201 特別支援教育
4230 00	A	発達障がい支援担当教員養成事業 ベーシック研修【高等学校】	研修講師の講義やオンデマンド動画の視聴等を通して、発達障がい支援の基本的な内容の習得及び専門性、実践的指導力の向上を図る。			①7月頃 ②8月頃 ③9月頃 ④10月頃 ⑤11月頃 ⑥2月	勤務校	―	―	―	◆	―	―	○	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	▲	201 特別支援教育

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種 幼認	小義	中義	高	特	キャリアステージ 形成	向上	充実	貢献	本研修において重点を置いている指標項目 学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	開催方法 集合	同双	オデ	検索
4240 01	A	新任特別支援教育コーディネーター研修会【幼小中義】	発達障がいを含め、障がいのある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応するとともに、校内支援体制の整備を推進するため、特別支援教育コーディネーターとして必要な最新の知識や情報の習得と実践力を身に付ける。	01:岐阜地区	令和７年度に新しく特別支援教育コーディネーターに指名された幼稚園、幼保連携型認定こども園、幼稚園型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校の教員。	①5/30(金)PM ②10/31(金)PM	勤務校	―	◆	◆	―	―	―	―	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	▲	201 特別支援教育
4240 02	A			02:西濃地区				―	◆	◆	―	―	―	―	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	▲	201 特別支援教育
4240 03	A			03:美濃地区				―	◆	◆	―	―	―	―	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	▲	201 特別支援教育
4240 04	A			04:可茂地区				―	◆	◆	―	―	―	―	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	▲	201 特別支援教育
4240 05	A			05:東濃地区				―	◆	◆	―	―	―	―	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	▲	201 特別支援教育
4240 06	A			06:飛騨地区				―	◆	◆	―	―	―	―	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	▲	201 特別支援教育
4241 00	A	新任特別支援教育コーディネーター研修会【高特】	発達障がいを含め、障がいのある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応するとともに、校内支援体制の整備を推進するため、特別支援教育コーディネーターとして必要な最新の知識や情報の習得と実践力を身に付ける。		令和７年度に新しく特別支援教育コーディネーターに指名された特別支援学校及び高等学校の教員。	①5/23(金)PM ②10/24(金)PM	勤務校	―	―	―	◆	◆	―	○	○	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	▲	▲	201 特別支援教育

☆体育健康課の研修

講座番号	抽選日	講座名	内容		対象	期日	会場	幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ＩＣＴ等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	検索
4311 01	A	運動部活動指導技術向上講習会～指導の引き出しをふやそう～	講義と演習を通して、種目の特性に合わせた合理的かつ効果的・効率的な指導方法や練習内容について学ぶ。	01:トレーニング法		6/6(金)PM	ＯＫＢぎふ清流アリーナ	―	―	◆	◆	◆	○	○	―	―	♥	―	♥	―	―	―	♥	―	―	▲	―	―	110 体育・保健体育
4311 02	A			02:バレーボール		6/9(月)PM	ＯＫＢぎふ清流アリーナ	―	―	◆	◆	◆	○	○	―	―	♥	―	♥	―	―	―	♥	―	―	▲	―	―	110 体育・保健体育
4311 03	B			03:陸上競技【女子指導法】		11/12(水)PM	ＯＫＢぎふ清流アリーナ	―	―	◆	◆	◆	○	○	―	―	♥	―	♥	―	―	―	♥	―	―	▲	―	―	110 体育・保健体育
4312 00	A	部活動ガイドラインに沿った研修会	「岐阜県高等学校部活動ガイドライン」及び「学校の部活動に係る指導指針」に則り。各学校の特色を活かした取り組みの実践を目的とした研修会		管理職 部活動担当者	6/19(木)	総合教育センター(1棟第3研修室) 勤務校	―	―	―	◆	◆	―	―	―	―	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	110 体育・保健体育
4321 00	B	遊びを活用した体力向上指導者講習会～楽しい体育授業の極意～	体力向上を図るための遊びを活用した楽しい体育授業の手法を、講義と実技を通して学ぶ。			10/8(水)PM	ＯＫＢぎふ清流アリーナ	―	◆	◆	―	◆	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	110 体育・保健体育
4322 00	B	武道(柔道)指導者講習会～安全で楽しい柔道の指導方法を学ぶ～	学習指導要領の内容に則した安全で楽しい柔道の指導方法を、講義と実技を通して学ぶ。			11/7(金)PM	羽島市柔剣道道場	―	―	◆	◆	◆	○	○	―	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲		―	110 体育・保健体育
4323 01	B	幼児運動遊び(ＡＣＰ)指導者講習会～遊びを通した体力向上マネジメントの在り方～	日々の教育活動及び資源を一体的にマネジメントし、生活の中で様々な運動機会の確保を図ったり、多様な動きを経験できるような指導の充実を図ったりするなど、幼児期からの体力向上を図るための手法を講義、実技、授業参観等を通して習得する。	01:西濃地区開催		6/5(木)PM	安八町立名森小学校	◆	◆	◆	―	◆	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	110 体育・保健体育
4323 02	A			02:東濃地区開催		10/24(金)PM	未定	◆	◆	◆	―	◆	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	―	―	―	▲	―	―	110 体育・保健体育
4324 00	B	令和7年度高等学校体育実技指導者講習会及び体力向上マネジメント講習会	各高等学校の保健体育担当教員を対象に、学習指導要領を踏まえ、生徒の運動やスポーツに親しむ資質・能力の育成につながる授業づくりの方法の習得、学校の資源を一体的にマネジメントした各学校や地域の実態等に即した子供たちの体力向上を図るための手法の習得することにより、保健体育担当教員の資質及び指導力の向上を図る。		保健体育科教職員	11/26(水)	ＯＫＢぎふ清流アリーナ	―	―	―	◆	◆	○	○	○	―	♥	―	―	―	―	―	♥	―	―	▲	―	―	110 体育・保健体育

講座番号（☆：新しい講座）	抽選日 A/B	講座名～サブタイトル～（◆：履歴に残さない講座）	内容（ねらい、形態、日程等）		対象	期日	会場	校種					キャリアステージ				本研修において重点を置いている指標項目									開催方法			検索
								幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オデ	
4330 00	A	栄養教諭・学校栄養職員研修会	学校給食の衛生管理や適正な給食管理について研修する。また、学校給食を活用した効果的な食に関する指導の在り方について研修する。		公立学校の栄養教諭・学校栄養職員	6/10(火)	岐阜県庁 ミナモホール	—	◆	◆	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	♥	♥	▲	—	—	207 健康教育
4341 00	A	学校保健講習会(高校・特支)	健康教育の方針と重点及び学校保健の課題について行政説明を行い周知徹底するとともに学校保健安全指導の諸問題についての理解を深める。		養護教諭 保健主事	①6/24(火) ②2/5(木)	①ミナモホール ②勤務校	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	—	—	—	—	—	♥	♥	—	—	▲	—	▲	207 健康教育
☆学校安全課の研修																													
4400 01	A	岐阜県小・中・義・高・特生徒指導研修会	生徒指導上の喫緊の課題について、現状と対策を研修する。また、研修後は各地区の指導的立場として、学校等において研修会を実施し、研修内容に係る普及啓発や専門的な立場からの助言を行い、生徒指導体制づくりの推進を図るように努める。 01～04は集合型 05はオンライン 校種別に申込んでください。	01:小学校	小学校の教職員	7/22(火) 14:00～16:00	総合教育センター 1棟4階大研修室	—	◆	—	—	—	—	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	204 生徒指導
4400 02	A			02:中・義務教育学校	中・義務教育学校の教職員	7/22(火) 14:00～16:00	総合教育センター 1棟4階大研修室	—	—	◆	—	—	—	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	204 生徒指導
4400 03	A			03:高等学校	高等学校の教職員	7/22(火) 14:00～16:00	総合教育センター 1棟4階大研修室	—	—	—	◆	—	—	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	204 生徒指導
4400 04	A			04:特別支援学校	特別支援学校の教職員	7/22(火) 14:00～16:00	総合教育センター 1棟4階大研修室	—	—	—	—	◆	—	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	204 生徒指導

重点講話

急速な社会変化及び複雑化する課題に、どう対応していくとよいかを有名講師と学びます。
原則「集合研修」ですが、園や学校で研修できるように「オンライン研修」でも行います。
※ 講座番号は、６桁中の上４桁を表示

講座番号 2001
① DX・情報社会

開催日：7月7日(月)
時　間：14:00～16:00
形　態：集合・オンライン研修

情報活用能力を段階的に育むには？

白鵬大学 教授 上野 耕史 氏
京都精華大学 教授 鹿野 利春 氏

小・中・高の発達段階に応じた情報活用能力の育成の在り方について、岐阜県内の実態をもとに、講師の対談から学ぶ。

講座番号 2002
② 教育課程

開催日：9月11日(木)
時　間：14:00～16:00
形　態：集合・オンライン研修

令和の日本型学校教育
～現行から次期学習指導要領を見据えて～

日本体育大学 教授 石田 有記 氏

現行の学習指導要領の理解と次期教育課程を見据えた教育実践の重要性について、元文部科学省教育課程課教育課程企画室長の講話を通じて学ぶ。

講座番号 2003
③ 人権教育

開催日：10月30日(木)
時　間：14:00～16:00
形　態：集合・オンライン研修

核兵器のない平和な世の中を願う
～新たな被爆者を生まないための活動を通して～

日本原水爆被害者団体協議会 事務局長 木戸 季市 氏

ノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会の事務局長の講演を通じて、核兵器の非人道性とその廃絶への訴えから、人権と世界の平和について考える。

講座番号 2004
④ 特別支援教育

開催日：11月6日(木)
時　間：14:00～16:00
形　態：オンライン研修

インクルーシブ教育の推進と学校現場での取り組み

福岡大学人文学部 教授 徳永 豊 氏

Sスケール(学習到達度チェックリスト)の活用方法を提唱する講師から、子供たちの学びの状況を把握し、目標に向かって授業を進めていく取り組みについて学ぶ。

確認
・団体で受講する場合は、参加者全員分の申し込みをしてください。
・オンライン受講の際、個人の場合は「所属名・氏名」、団体の場合は「団体名・団体参加」としてください。(※「〇〇立」は省略して下さい。)

スクールリーダーアラカルト研修

スクールリーダーとして対応を求められる学校諸課題に対して、選択講座を準備しました。管理職だけでなく、学校の中核を担う教諭・将来担うと期待される教諭も受講可能ですので、所属長から学校の中核を担う（将来担うであろう）教職員に受講を勧めてください。

講座番号 201100 【リスクマネジメント】学校外への説明責任 ［4/14（月）］ ※校長・副校長のみ 集合

■田中危機管理広報事務所
社長　田中 正博 氏

「明日、保護者説明会を開かなきゃ！」となった時に、焦らず保護者に話せますか。危機管理の専門家が指導する、実践的な演習です。

講座番号 201201～03 【業務改善】教員のウェルビーイングを高める「働きやすさ・働きがい」改革 ［6/11（水）］

■愛媛大学
教授　露口 健司 氏

「早く帰れ」と言えば言うほどギスギスする職員室。教職員が本当にやりがいをもって働ける職場をどのようにつくるか、事例を基に考えます。

講座番号 201401～03 【生徒指導】『生徒指導提要（改訂版）』が示すこれからの生徒指導の方向性 ［9/29（月）］

■関西外国語大学
教授　新井 肇 氏

「生徒指導が変わる」と言っても具体的にはどうすれば？『生徒指導提要』改訂に携わった講師から、生徒指導の新しい姿が示されます。

講座番号 201501～03 【人材育成】人を育てる仕事の在り方 ［11/17（月）］

■兵庫教育大学
特任教授　淺野 良一 氏

「後進育成と言われても…」 どのような手立てがあるのか悩んでいませんか。豊富な事例とデータを基に、人材育成の要諦を学びます。

講座番号 201601～03 【教育課程・ICT】 ICTによる授業改善と校内研修の改革 ［9/22（月）］ 集合

■熊本大学
特任教授　前田 康裕 氏

学校全体の授業レベルを上げたい！　人気シリーズ『まんがで知る教師の学び』の著者が、全ての教員を巻き込む授業改善の工夫を提示します。

講座番号 201701～03 【危機管理・わいせつ対応】性犯罪から子どもを守る［10/28（火）］

■奈良大学
准教授　今井 由樹子 氏

子どもにも、教職員にも大きなダメージを与えるわいせつ事案。事前の手立てとしてどのようなことが考えられるのか。理論と事例を紹介します。

講座番号 201800 【学校経営】令和の学校マネジメント（情報収集・企画） ［10/3（金）］ 集合
※校長・副校長・教頭のみ

■兵庫教育大学 教員養成・研修高度化センター
協力研究員

ご自身のマネジメント感覚には、ひょっとすると「偏り」や「癖」があるかもしれません。自身の気づきを通して、経営視野を広く、高くする演習です。

講座番号 201900【学校組織マネジメント】学校危機管理 ［5/29（木）］ ※校長・副校長のみ 集合

■常葉大学大学院
教授　久米 昭洋　氏

コーチングスキルを活かした組織づくりにより、危機に的確に対応できる人材育成や学校組織マネジメントを学び、いざという時に備えます。

※201100，201601～03、201800、201900は、岐阜県総合教育センターでの集合研修
※講座番号の下2桁01～03は、受講申込の区分、00は区分なし
※令和7年1月29日現在（講師の所属・役職は令和6年度のもの）

確認

・各研修の詳細については、当冊子の該当ページ［25～26ページ］を参照してください。

「学習指導」に関わる研修プログラムの案内（小・中・義）

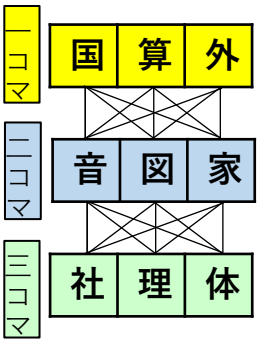
自ら学び続ける教職員の皆さん、自己課題に挑戦するための魅力的な講座を多数準備しました。多くの人たちと学び合いながら、一緒に成長していきましょう！皆さんの参加をお待ちしています！

小学校授業セレクト講座【210700】

小・義

初めての小学校勤務で不安ですか？得意教科以外の指導に悩んでいる先生方にぴったりの講座をご用意しました。楽しくて力のつく授業にするための指導の基礎を学びましょう。ニーズに応じて、1日に3教科を選んで受講できます。ぜひご参加ください！

例：①国語 ②図工 ③体育



各教科の実践に関わるオンライン相談会【210801～210811】

小・中・義

教科部会が一人で、相談できる相手がいない…単元や題材の組み立て方を知りたい…もっと効果的な指導法を考えたい…そんな先生方の悩みに応える相談会を開催します！各教科の指導主事と一緒に、解決策を見つけませんか？年に3回、放課後15:30～16:30に行います。途中からの参加や途中までの参加も大歓迎です。ぜひご参加ください！　※受講履歴には残りません。

ステージアップ講座【211101～211900、212201、212500～213802、214001、02】

小・中・義

「学習指導」の力量を一つ押し上げませんか？若手からベテランまでが一緒になって学ぶ講座です。①基礎・基本の理解　②領域や内容について学ぶ　③授業公開に向けての指導案検討や授業研究会を通して学ぶ等、教科ごとに多種多様な講座が開催されます。

若手からベテランまで、幅広いキャリアの先生方と一緒に学び合いながら、教科の指導力をさらに高めていきましょう。協働的な学びの場で、新たな発見と成長を楽しみましょう！

確認

- 講座によって研修内容や受講方式が異なります。教員研修申込システムの要項等でよく確認の上、申込手続を進めてください。
- 開催前２週間前に必ず実施要項、添付資料等を確認してください。

授業改善講座校内研修（高・特）

教科担当指導主事が訪問し、講義やワークショップ、授業研究会などを行います！
全教科等で対応します！

目的

教科担当主事による講義やワークショップ等を通して、学習指導要領実施上の課題や疑問等についての解決策など、各校の実態を踏まえながら共に考え、指導計画や学習指導の改善を図る。また、各校の校内研修として活用するなど、校内研修の活性化に役立てる。

実施期間

令和7年5月1日（木）から令和8年1月30日（金）

・研修は希望の日時で実施可能です。
・受講は教科単位の申込が基本ですが、1教科のみで、同日に複数教科で、又は全教科でまとめて等、各校の希望に応じて実施します。

内容

☆過去の実践例☆
・「ICTを活用した生徒の主体的な学びの実現と、ユニバーサルデザインをより意識した授業展開」の教科研究会
・「地歴を学ぶ意義とは何かをどのようにアプローチして気付かせるか」のワークショップ
・「外国にルーツを持つ生徒を対象にした授業の実践」の授業研究会
・「個別最適化に対応した授業方法について」の研究授業及び授業研究会　など

申込方法

研修申込システムの開催要項（講座番号218601～218617）から、申込用紙をダウンロードし、担当者までメールにてお申込みください。
記入例も掲載していますので参考にしてください。

研修を通して、学習指導上の不安を少しでも解消し、互いに指導力の向上を目指しましょう！

特別支援学校教員の専門性向上講座

特別支援学校に在籍する重度重複障がいを有する児童生徒の指導の在り方について、各分野の専門家による講義と演習を通して実技を学びます。

講座番号　242000
開催日：7月30日(水)
時　間：9:50～15:30
形　態：集合研修
（岐阜希望が丘特別支援学校）
対　象：肢体不自由教育を基礎から学びたい特別支援学校教員

重複障がい学級の指導 ～コア・スクールで基礎を学ぼう～

肢体不自由教育のコア・スクールで各専門分野領域のコア・ティーチャーから重度重複障がい学級の指導に必要な基本的な知識や具体的な支援方法を学ぶ。

講座番号　242100
開催日：7月24日(木)
時　間：9:50～15:50
形　態：集合研修
対　象：重複障がい学級を担当している特別支援学校教員

重複障がい学級の指導 ～実践者から学ぶ「からだ」の授業～

重複障がい学級の指導を実践してきた実践者から「からだ」についての支援方法学び、悩みや自己課題についての助言を受けながら実践力を高める。

講座番号　242200
開催日：7月28日(月)
時　間：9:50～15:50
形　態：集合研修
対　象：重複障がい学級を担当している特別支援学校教員

重複障がい学級の指導 ～作業療法士と共に考える「個別課題」の授業～

身体の動きの困難さの要因分析から適した姿勢づくりや手指操作課題について専門家（作業療法士等）の視点から学び、個に応じた指導や実践力を高める。

講座番号 242300

重複障がい学級の指導 ～スイッチ教材をつくろう～

様々なスイッチ教材や活用事例を学ぶ。
また実際にスイッチ教材を作りながら、効果的な活用をコア・ティーチャーから学ぶ。

講座番号 242400

基礎から学ぶ動作法 ～動作法の概論、実技を学ぶ～

心理リハビリテーションスーパーバイザーから動作法の概論、実技を学び、日々の実践に活かす。（実技演習あり）

講座番号　242501 242502

動作法を活用した「からだ」の授業 ～実技演習を通して学ぶ～

心理リハビリテーションスーパーバイザーから動作法を活用した「からだ」の授業についての実技演習から、専門的な知識や支援方法を学び実践力を高める。（実技演習あり）

確認
・特別支援学校教員を対象としています。その他の所属で、受講希望の方は、講座担当者に相談ください。開催日、時間は変更する場合があります。詳細は、開催要項をご確認ください。

DXやICT活用に係る研修講座

令和7年度も、教育におけるDX（デジタル・トランスフォーメーション）やICT活用など、Society5.0到来を見据え、教育現場での具体的な活用方法を学ぶ研修講座を開講します！各講座とも、その分野の専門家を講師としてお招きしておりますので、日本の最先端を大いに学びましょう！！

講座番号　250101～250103
基礎編：8月28日（木）
場所：01総合教育センター
02勤務地（オンライン）
応用編：8月29日（金）
場所：03総合教育センター
対象：小中義高特の教員

生成AIの教育における活用講座

岐阜市立女子短期大学　長谷川旭 氏

生成AI（人工知能）を用いたプロンプトエンジニアリングの演習を通して、生成AIについて理解を深めるとともに、教育における活用の可能性ついて学びます。

講座番号　251200
開催日：12月18日（木）
場所：総合教育センター
対象：小中義高特の教員

メディア情報リテラシー

～デジタル・シティズンシップ教育の視点から情報モラルを学ぼう～

岐阜聖徳学園大学 芳賀高洋 氏

「よりよいデジタル市民になるために」と考えたときに、情報モラルの育成にフォーカスすると、本講座のタイトルにある「メディア情報リテラシー」にいきつきます。

講座番号　251600
開催日：10月6日（月）
場所：総合教育センター
対象：小中義高特の教員

学習者用デジタル教科書活用講座

～デジタルの強みを生かした教科書をいかに活用するか～

放送大学 佐藤幸江 氏

学習者用デジタル教科書の「つくり」や、何を期待して各種機能が込められているのかについて、有識者から学びます。教科・校種を問わずご参加いただけます。

講座番号　251900
開催日：9月29日（月）
場所：総合教育センター
対象：小中義高特の教員

クラウドを活用した個別最適な学びと協働的な学び

春日井市教育委員会　水谷年孝 氏

GIGAスクール構想による整備後の先にあるICT活用について理解を図り、今後の実践に生かすための知識を身に付けます。

2024年度からの継続講座もぜひ

- ●251300 新しい学びの時代における著作権教育講座　著作権ナビ　原口　直 氏
- ●251400 ICTで実現する教育データの活用　外部有識者（未定）
- ●251800 デジタル・シティズンシップ教育のすすめ　岐阜聖徳学園大学　芳賀 高洋 氏

確認

・講座によって研修内容や受講方式等が異なります。よく確認の上で申込手続を進めてください。
・事前に必ず実施要項を確認してください。
・オンラインの講座については、各自で演習環境等の準備が必要となる場合があります。

DXやICT活用に係る研修講座【即実践】

教育におけるDXやICT活用などについて、教員のデジタルスキル向上を目指し、演習を通して体験的に学び、即時実践へと活かすことを目的とした研修です。各自の状況に応じて選択し、日々の教育実践の一助としてください。

講座番号　250301～250311

01:Webex、02:Microsoft Forms
03:MetaMoJi、04:iPadアプリ
05:ロイロノート、06:百問繚乱
07:manaba、08:SKYMENU Cloud
09:PowerAutomate、10:MEXCBT
11:GoogleWorkSpace
開催日:6～7月
場所:勤務校(オンライン・オンデマンド)
対象:小中義高特の教員

放課後学べる！ミニICT講座

県教育委員会　研修担当者

異動したら端末・ツールも変わってしまった！でも早く使えるようになりたい！という時のミニ講座。今さら聞けない・・・という方もどうぞ。放課後の時間を有効活用して、基礎・基本について学びます。
※経年研修における「自己課題に応じた研修」とすることはできません。
※育休明け、役職定年等でICTにブランクのある方も、お気軽に参加してください。

講座番号　250501～250511

01,02:iPad、03,04,05:ロイロノート
06,07:MetaMoJi
08:SKYMENU Cloud
09,10:Microsoft Teams
11:Chrome Book
開催日:9～11月
場所:総合教育センター(集合)
対象:小中義高特の教員

ICT活用実践研修(ツール別)

県教育委員会　研修担当者

県内小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員のICT活用指導力の向上を図るため、1人1台端末と連携する学習支援ツール等の活用実践を通して学びます。基礎・基本の操作を身に付けている前提で、思考力・判断力・表現力等の育成を目指した授業づくりを意識した研修内容です。

講座番号　250701
　　250702

01:microbit
　6月30日(月)
02:Scratch
　7月7日(月)
場所:総合教育センター
対象:小中義特の教員

小学校プログラミング講座

～教育課程への位置付けを実践的に行う～

県教育委員会　研修担当者

プログラミング教育を推進するため、「小学校プログラミング教育の手引き」や様々な実践事例を基に学び、各教科等における論理的な思考力を高めるための指導力を身に付けます。

講座番号　251101
　　251102

01:　6月 6日(金)
02:10月24日(金)
場所:総合教育センター
対象:小中義高特の教職員

校務のための表計算活用講座

～校務処理の時短に役立つ機能の活用～

県教育委員会　研修担当者

実用的な関数の利用、クロス集計やフィルター機能などを学び、校務の効率化に役立つ知識と技術を身に付けます。

講座番号　251701
　　251702

01:　9月上旬
02:11月上旬
場所:総合教育センター
対象:小中義高特の教員

伝わる！作れる！動画の撮影や編集のポイント

～教材としての動画活用のために～

KAKKO(E)合同会社　中村親也 氏

わかりやすく伝わりやすい教材動画作成のポイントを、専門講師の講義と演習を通して学びます。

確認

・講座によって研修内容や受講方式等が異なります。よく確認の上で申込手続を進めてください。
・事前に必ず実施要項を確認してください。
・オンラインの講座については、各自で実技演習環境の準備が必要となる場合があります。

スクールリーダー養成研修

岐阜大学教職大学院との協働により「教育法規」・「危機管理」・「カリキュラム・マネジメント」・「教育の今日的課題（いじめ、ICT教育、特別支援教育）」等に係る講話及び演習を通して、スクールリーダーとしての資質向上を図ります。

≪受講対象者≫

【小学校・中学校・義務教育学校】
■所属長が受講を認めた下記の者
主幹教諭・指導教諭・教務主任・研修主事
生徒指導主事・学年主任・養護教諭・栄養教諭・事務職員
市町村教育委員会指導主事・岐阜県教育委員会指導主事等

【高等学校・特別支援学校】
■所属長が受講を認めた下記の者
教務主任・研修主事
生徒指導主事・進路指導主事等

講座番号
300101～300103
ユニットA
開催日：7月28日（月）
時　間：9:30～16:30
場　所：勤務校
形　態：オンライン研修

※講師の所属は令和６年度のものです

❶【教育法規】講師：岐阜聖徳学園大学教授　篠原　清昭　氏
教職員のコンプライアンス意識向上のための法令及び具体的事例

❷【教育改革】講師：岐阜大学教授　益子　典文　氏
ICTを活用した教育の推進・授業デザインの在り方

❸【リーダーシップ論】講師：静岡大学教授　武井　敦史　氏
人材育成の観点からみる管理職の在り方やリーダーシップ

❹【インクルーシブ教育】講師：岐阜大学教授　平澤　紀子　氏
障がいのある児童生徒への合理的配慮の在り方及び校内支援体制

講座番号
300201～300203
ユニットB
開催日：7月31日（木）
時　間：9:30～16:30
場　所：勤務校
形　態：オンライン研修

❶【組織マネジメント】講師：教育総務課　教育主管　三島　晃陽　氏
学校の課題分析、社会に開かれた教育課程の実現

❷【学校評価】講師：岐阜大学教授　棚野　勝文　氏
PDCAサイクルを機能させたグランドデザインやマネジメントの具体

❸【学校の危機管理】講師：岐阜大学准教授　芥川　祐征　氏
学校の防災体制や危機管理マニュアルの整備と防災教育

❹【学校の事件・事故】講師：弁護士　小森　正悟　氏
法的根拠に基づく、いじめの未然防止や早期発見・早期対応等

講座番号
300301～300303
ユニットC
開催日：8月19日（火）
時　間：9:30～16:30
場　所：勤務校
形　態：オンライン研修

❶【授業開発論】講師：岐阜大学准教授　長谷川　哲也　氏
学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善や学力向上

❷【今日的教育課題】講師：岐阜大学教授　吉澤　寛之　氏
教職員のメンタルヘルス、不祥事防止のための校内体制

❸【地域との連携・協働】講師：岐阜大学教授　益川　浩一　氏
地域と連携した学校づくり、コミュニティ・スクールの取組

❹【カリキュラム・マネジメント論】講師：岐阜大学准教授　長倉　守　氏
学習指導要領の趣旨を踏まえたカリキュラム・マネジメントの在り方

確認

本講座の受講を通して、岐阜大学科目として単位認定を希望する方を対象に、【科目等履修制度】が適用されます（入学後、入学料・検定料免除の特別措置）。詳しくは、「岐阜大学教職大学院HP」で確認してください。　「岐阜大学教職大学院HP」 http://www.ed.gifu-u.ac.jp/kyoshoku/

（留意！）R5からユニットA、B、Cの科目構成が変わりました。そのため、R4までにユニットAを受けられた方で、今年度ユニットB、Cを受講し、単位認定を希望される方は、7月28日（月）に実施するユニットAの「インクルーシブ教育」も受講願います。ユニットAは、必修講座になります。

各課が主催する研修講座【新規】

各課が主催する研修講座の特徴や概要を紹介します。
各自の状況に応じて選択し、日々の教育実践の一助としてください。

40****　義務教育課

資質・能力を育む授業と学習評価の在り方、学校現場における生成AIの適切な利活用について、全国的な有識者の講演を通して、明日からの授業づくりに生かすことができます。

◆「指導と評価の一体化」研修会　　講師：大妻女子大学　教授　澤井　陽介　氏

◆「生成AI の利活用に関する実証研究事業」講演会

講師：東京大学　大学院工学系研究科　准教授　吉田　塁　氏

41****　高校教育課

高校教育課では、学校の教育活動全体を通じて行う人権教育や道徳教育の推進を図ることを目的とした研修を実施します。対象者は、各高等学校、特別支援学校の人権教育担当者や、道徳教育推進教師です。人権教育教員研修では、オンラインで講義やワークショップ、情報交換を実施します。道徳教育教員研修では、高等学校を訪問し、道徳教育の実践を参観したり、研究会に参加したりします。

42****　特別支援教育課

特別支援教育の専門性向上のための研修を行います。初めて特別支援教育コーディネーターに任命されたり、発達障がいを対象とする通級指導教室の担当になったりした方のための悉皆研修や、もっと発達障がいについて学びたい方への自己課題追究型の研修などを行います。今年度は新たに管理職を対象とした研修も準備していますので、ぜひ活用ください。

43****　体育健康課

【部活動】431101～

部活動の運営方法、効果的な指導法など、顧問の困り感を解消！指導の引き出しが確実に増えます！

【体育】432100～

「体育は楽しい!!」
まずは先生方が運動の楽しさにふれる実技中心の研修を用意しています。明日から使える指導方法をしっかり学べます！

【給食】433000

安心安全でおいしい給食の提供に向けた管理や指導に関わる様々なテーマが盛りだくさん！各分野の担当者が一つ一つ丁寧に説明します！

【保健】434100

今、子供たちの「健康」を守るために、何が求められるのか!?学校保健の諸問題について考え交流し、明日からの実践につなげます！

44****　学校安全課

岐阜県小中義高特生徒指導研修会

講師：元日本女子大学教授　坂田　仰(さかた たかし)氏

令和6年8月に「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」が改訂、令和7年4月に「岐阜県におけるいじめの防止等のための基本的な方針」が改定。年々複雑化する「いじめ問題」の対応について、教育法規のスペシャリストの坂田先生をお招きし、「法」の視点からいじめ問題の解決への道筋を探ります。

中堅教諭等資質向上研修（小・中・義）

「自己課題に応じた研修（4日以上）」について

教職経験満6～11年を経過した教員は、選択研修のうち、自己課題に応じた研修を受講することとしています。

1 「自己課題」を明らかにするため、「自己課題に応じた研修実施報告書」（様式3）を記入し、「自己課題に応じた研修」受講の計画を立てる。

- 学校内の若手教員を巻き込んで、授業実践について学んだり協議したりしたい。専門教科やコーチングの研修を受講しよう。
- 校内研究を任されることが増えてきた。新しい情報が得られる研修や先進的に取り組んでいる学校の発表会に参加して同僚に還元したい。
- 生徒指導、キャリア教育について知見を習得したい。 他校種の教育活動の参観を通して、児童生徒の成長の背景、発達の段階に応じた指導を学ぼう。

2 管理職との面談において、①の「自己課題」や「自己課題に応じた研修」を説明し、助言・承認を受ける。

3 研修受講や参観の申込を行う。

- 県、市町村教育委員会等が主催（共催・後援）する研修講座の受講
  - 「Plant全国教員研修プラットフォーム」等で申込。
    - 指標を確認し、「教職員研修計画2025」等から選択しましょう。
  - 主催が他の団体のものは、主催が示す方法で申込。
- 研究校・近隣校の授業を参観し研究会に参加する研修
  - 研修先の指定の申込方法で申込、または管理職を通じて受入れ依頼。
- 校種の異なる学校等を訪問して行う研修
  - 市町村（組合）立学校については、管理職を通じて受入れ依頼。
  - 専門学科設置校（高等学校）及び県立特別支援学校については、「Plant全国教員研修プラットフォーム」で申込。
    講座番号 210501
    他校種の教育活動から学ぶ
    （専門学科・総合学科設置高等学校）
    講座番号 210502
    他校種の教育活動から学ぶ
    （特別支援学校）
  - 専門学科・総合学科設置校（高等学校）及び県立特別支援学校については、当該校の学校ホームページ（※1）に案内されている参観可能日を確認し、所定の様式（※2）を用いて申込。詳細は次ページを参照。
    - 児童生徒の「一日入学」に先んじて、学校の様子を見学する機会にもなります。

4 計画した研修の実施後、「自己課題に応じた研修実施報告書」（様式3）を記入し、管理職に報告する。

※1 令和7年度に研修を受け入れる各学校のホームページには、参観可能日等が掲載されます。

※2 総合教育センターのホームページ「中堅教諭等資質向上研修要項・様式等」からダウンロード、または、「Plant全国教員研修プラットフォーム」の当該開催要項からダウンロードしてください。

他校種の教育活動から学ぶ　【新規】

～校種の異なる学校の教育活動の参観を通して、発達段階に応じた指導を学ぶ～

小・中・義務教育学校の6年目研修対象者、中堅教諭等資質向上研修（7～12年目）対象者、それ以外の希望者向けの講座です。

目的

学習指導や生徒指導、キャリア教育、特別支援教育等についての知見を習得するため、他校種の教育活動の参観を通して、児童生徒の成長の背景、発達段階に応じた指導を学びます。

内容

講座番号　210501
専門学科・総合学科設置高等学校（全日制・定時制）

専門学科には、農業や工業、商業、家庭、福祉、情報、芸術などの多様な学科があります。生徒たちは、実技、実習を中心とした学習など、専門性を高めるための十分な経験を積み、資格を取得したり、専門的な技術を身に付けたりします。総合学科では、普通科で学べる科目だけでなく、進路希望や興味・関心に応じて専門学科の科目も学びます。普通科と専門学科のよさをあわせもっています。

授業参観だけでなく、学校によっては実技体験や生徒による課題研究発表会の参観も計画されています。義務教育での学びが、どのようにつながるのかを考えてみませんか。

講座番号　210502　特別支援学校

「岐阜県が進めるインクルーシブ教育システム」の構築を目指し、一人一人の多様な教育的ニーズに応じて、学校資源や地域資源を効果的に活用したきめ細かな学びを目指した取組が行われています。特別支援学校では、可能な限り自立し社会参加ができるよう、障がいの状態や発達段階に応じた教育内容、方法により、手厚く、きめ細やかな教育を行っています。

学校説明や授業参観を通して、通常の学級、通級による指導、特別支援学級などに在籍する多様なニーズに応える学びの場の充実や学びの場を支える教員の専門性向上について考えてみませんか。

申込方法

①受講者は、総合教育センターのホームページより、研修受入可能な学校を確認し、参観を希望する学校を決定します。
②参観を希望する学校のホームページに案内されている参観可能日を確認します。
③受講者が研修できる日程であることを確認できたら、「Plant全国教員研修プラットフォーム」で申込みます。
④所定の様式「学校参観申込書（様式6）」（※注）に必要事項を記入し、参観を希望する学校の指定メールアドレスに送付します。
⑤参観を希望する学校から、受講者が指定したメールアドレスへ連絡事項が返信されます。

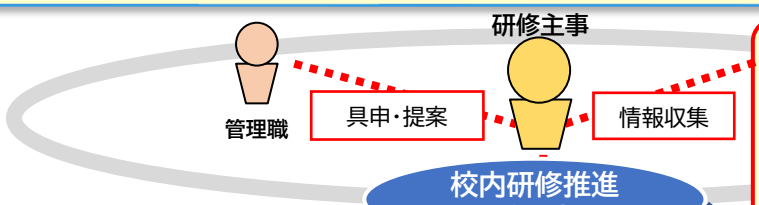
受講

※注　総合教育センターのホームページ「中堅教諭等資質向上研修要項・様式等」からダウンロード、または、「Plant全国教員研修プラットフォーム」の当該開催要項からダウンロードしてください。

※小・中・義務教育学校の中堅教諭等資質向上研修の選択研修「校種の異なる学校等を訪問して行う研修」とすることが可能です。
※小・中・義務教育学校の6年目研修の選択研修とすることが可能です。
※小・中・義務教育学校の基礎形成研修の校外研修には代替できません。

校内研修の活性化に向けて～学び合い文化の醸成を目指して～

研修主事が校内研修推進委員会及び校内の中心となって、自校の課題やニーズを基に、校内研修計画の策定や研修の在り方について検討・改善し、より効果的な校内研修を実践します。



校内のニーズ

【知りたいこと、学びたいことは？】
・〇〇のことを知りたい、学びたい
・〇〇について、効率よく学びたい
・学校課題の〇〇について学び合いたい

研修主事に相談してみましょう

職員会議の前後、職員打合せ等だけでなく、日常の様々な場面で働きかけることで、学び合いの文化を創り出していきます。

校外研修の学びをつなげる働きかけ

〇〇先生が、先日総合教育センターの◇◇の研修を受講され、□□のことが学べて、とても勉強になったと話してみえました。〇〇先生、少し時間をとりますので、先生が学ばれたことを紹介していただけませんか？(略)
〇〇先生、ありがとうございました。より詳しく知りたい先生は、〇〇先生にお声掛けください。

校内研修を日常につなげる働きかけ

先週行った校内研修では、ご自身の授業で取り入れたいことを考えました。今週、取り組まれてどうでしたか？私は、〇〇先生の授業を覗かせていただきました。〇〇先生は、◇◇のことを意識して取り組まれてみえました。〇〇先生、実際取り入れようとされて、どうでしたか？ここで少しお話をしていただけませんか？

人と人をつなげる働きかけ

〇〇先生が、△△の内容について、不安があり、学びたいといってみえます。同じような悩みをもってみえる先生がおみえにならないか、皆さんにも声を掛けてみます。□□先生、◇◇先生と一緒に、OJT研修として、一緒に考える場をつくっていただけませんか？

県総合教育センター、県教育委員会各課、教育事務所、市町村(組合)教育委員会

校外研修Off-JT ⇔ 往還 ⇔ 校内研修OJT

研修主事研修

対象　小中義:1日目 新任研修主事＋希望者(オンライン)
　　2日目 全研修主事(参集)
　　高特　:両日とも全研修主事(参集)
※詳細は開催要項にて確認をお願いします。

<1日目>高特4/18(金)終日　小中義5/1(木)PM
〇講話1「研修主事の職務と求められていること」
〇講話2「校内研修の活性化について」
〇事例発表
〇グループ協議「計画の交流」
　　「研修主事として取り組みたいこと」等

- **企画(ニーズの把握)**
- **研修の組み立て**
- **様々な研修運営の方法、研修形態等**
- **研修の評価の仕方**

このような内容を研修します！

<2日目>高特10/31(金)終日
　　小中義11/19(水)PM
〇実践交流「校内での取組事例の交流」
〇講話「次年度の研修計画について」
〇グループ協議「効果的・効率的な校内研修とは」等

- **研修の検討・改善**
- **次年度の計画**

このような内容を研修します！

校内研修計画の策定

↓

校内研修の実施(OJTを含む)

校内研修の実施(OJTを含む)

校内研修の実施(OJTを含む)

↓

今年度の振り返り
・成果と課題
・次年度の計画

OJTのイメージ例

・学年別に課題を検討し、テーマを決め、グループで相談したり、協議をしたりした。全体会で提案し、意見交流をした。先輩の教員からのアドバイスが大変役立った。

Off-JT⇔OJTのイメージ例

・生徒指導や教育相談の研修を受講した。学んだ知識を分掌内で共有し、校内全体で研修会を実施した。
・児童生徒の発達に関する研修会に参加した。最新の情報を学年で共有し、資料にまとめて全体で共有した。

学び合い文化の醸成・協働的な職場環境づくり

研修主事サポート出前講座（小・中・義）

～学び合い文化の醸成を目指して～

研修主事等が企画する研修会や研究会等に指導主事が複数回参加し、研修や研究をサポートします。気楽にご相談ください！

目的

研修主事を支えるために指導主事が学校を訪問し、研修会や研究会等への参加を通して、各校の実態を踏まえながら、効果的な校内研修の在り方を研修主事と共に考えます。

訪問期間

令和7年7月1日（火）から令和8年1月30日（金）

・学校の選定、日程の調整は4・5月中に行います。
・訪問日時は各校の希望で設定することができます。
・年間を通して継続した訪問に対応します。

内容

☆実践例☆

・各校の悩みに即して、主体的な校内研修になるよう、研修主事をバックアップします（相談、研修会参加など）。
・学び合い文化を醸成するために、複数の担当指導主事が訪問し、校内研修をバックアップします。
・校内研修等に参加し、研修主事と共に多様なスタイルでの学びに伴走します。

方法

☆実施方法☆

対象校　小学校・中学校・義務教育学校
形態　研究会、研修会、指導部会、教科部会、相談等
場所　依頼のあった学校、学園において
方法　学校の要望に応じ、年間を通じて行う。

申込方法

研修申込システムの開催要項（講座番号230100）から、申込用紙をダウンロードし、メールにて申し込んでください。記入例も掲載していますので参考にしてください。

校内研修や校内研究を活性化することで、学び合い文化の醸成を図り、互いに切磋琢磨できる協働的な職場を目指しましょう。

自ら学び続ける教職員研修支援事業

グループA

公務**外**の活動に補助金交付　R6は7Gが活動

若手教職員を含むグループが行う公務外の活動に対して最大10万円、支援します。教職員の育成、資質能力向上、学ぶモチベーションをアップする環境を整えます。

グループB

公務**内**の活動に金銭面で支援　R6は12Gが活動

研修主事等を中心としたグループが行う公務内の活動に対して最大10万円を支援します。校内研修で使える予算が欲しいというご要望に応え、多くの教職員を巻き込む環境を整えます。

流れ

申請	審査	採用	実践	報告
～4月30日	5月	5月下旬	6月1日～1月31日	2月

教職員一人一人の資質向上のため**「学び合い文化の醸成」「協働的な職場環境づくり」**が根付くように、研修を支援します！

	グループA	グループB
グループメンバー	若手教職員を含む	研修主事等を中心とする
活動	公務外	公務内
テーマ	自由	学校教育計画や校内研修計画等に則したもの
申請者	グループの代表者	学校長
提出先	教育研修課	小中義：各地区の教育事務所 高特：教育研修課
対象経費	報償費・交通費・資料費 会場借上費・消耗品費	報償費・交通費に限る
支援方法	補助金（最大10万円）	市町村（組合）立学校：教育研修課が直接執行 県立学校：令達（最大10万円）

問合せ先

事業の詳細は、岐阜県総合教育センターのHPを参照にしてください。
教育研修課　研修第二係　　058－271－3456

図書・教育資料室の利用について

県内唯一の教育専門図書室

- 教育に関する図書　約25,000冊
- 教育専門誌　約40誌
- 教科書（S40 以降）　永久保存

地元図書館で貸出・返却可能

無料!!

- 岐阜県内の公共図書館を通して、当室資料の貸出・返却ができます。

文献調査の専門員が支援

- お探しの資料や情報（先進事例、データなど）がありましたら、ご相談ください。
- メール・電話による問い合わせ可

◇開室時間

月曜日～金曜日　9:00～17:00

（祝日・年末年始 除く。臨時休室あり）

◇貸出冊数・期間　10冊、3週間

◇お問い合わせ先

総合教育センター第1棟3階

TEL：058-271-3404（直通）

E-mail：c17781@pref.gifu.lg.jp

教育支援相談について

困っていること、悩んでいることなど
気軽にご相談ください。

1　先生方ご自身の悩みについてサポートします。

普段、職場で困っていることや悩んでいること、育休からの復帰にあたり心配なことなどについて相談することができます。

2　電話相談と来室相談があります。

電話相談の場合　058－271－3450
「**内線34**」と伝えてください。（匿名でも結構です。）

来室相談の場合　直接、総合教育センター1棟2階　教育支援相談室へ
お越しください。（ご希望の方は電話で予約してください。）

3　教育支援相談室には、相談員が常駐しています。

月～金曜日　9:00～17:00（祝日・年末年始を除く。）

自分自身に関する悩み・不安について
仕事への意識や意欲、精神面、健康面、今後の進退　等

職場の人間関係に関する悩みについて
同僚との関係、上司や指導者との関係、保護者や地域の方との関係　等

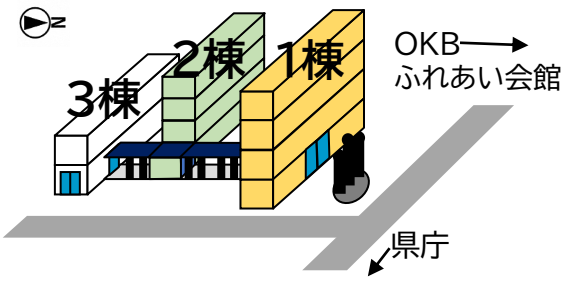
指導上の悩み・不安について
児童生徒理解、学習指導、生徒指導、
学級経営、進路指導、部活動指導　等

家庭の悩み・不安について
家族、子育て、介護　等

その他、お困りごと

※上記内容のお問合せ先：岐阜県教育委員会　教育研修課
058－271－3450「内線34」

岐阜県総合教育センター 見取図



2棟　1棟

4階

- 2棟：
- 1棟：大研修室、1棟4階 第1研修室

3階

- 2棟：2棟3階 第2研修室、2棟3階 第1研修室
- 1棟：1棟3階 第5研修室、1棟3階 第4研修室、PC 実習室Ⅲ、1棟3階 第3研修室、1棟3階 第2研修室、1棟3階 第1研修室、図書・教育資料室

3棟

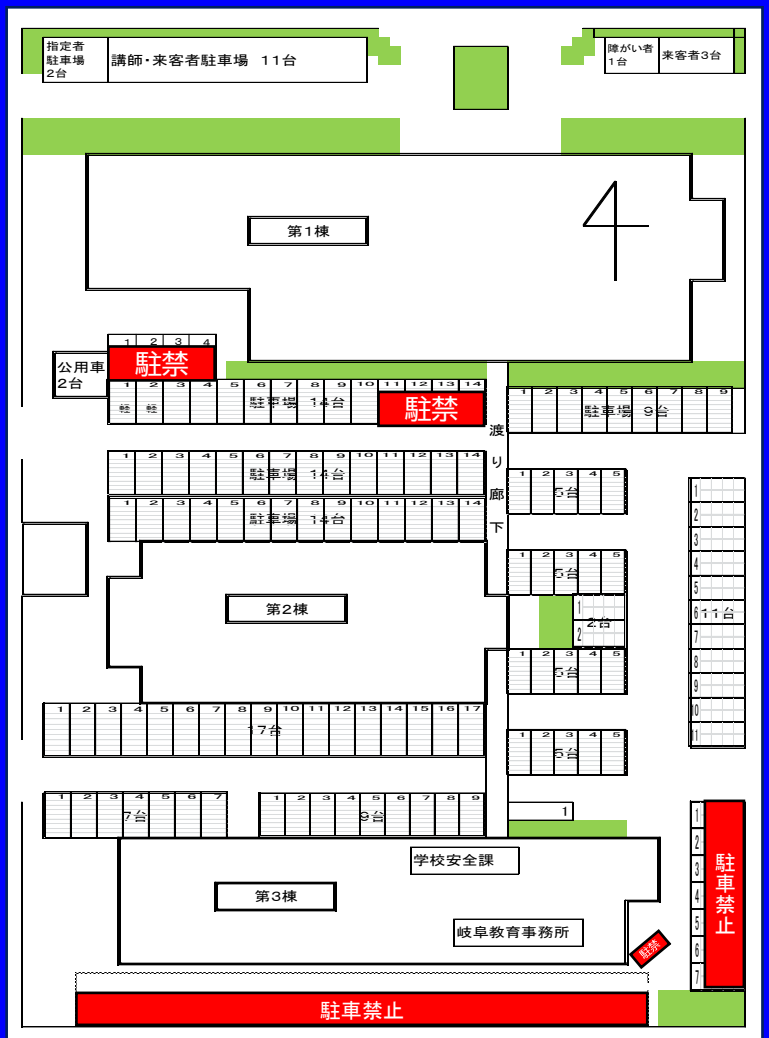
2階

- 3棟：相談室④、相談室③、相談室②、相談室①、待合室、検査室、学校安全課 教育相談室、多目的室、学習室、フリースペース、プレイルーム
- 2棟：2棟2階 第2研修室、2棟2階 第3研修室、2棟2階 第1研修室
- 1棟：1棟2階 第2研修室、PC 実習室Ⅰ、1棟2階 実技実習室、PC 実習室Ⅱ、教育支援 相談室、1棟2階 第1研修室、1棟2階 第3研修室

1階

- 3棟：教育支援課、学校職員課、学校職員課、所長室、会議室
- 2棟：2棟1階 第2研修室、2棟1階 第1研修室
- 1棟：オンライン ルーム、1棟1階 第2研修室、教育研修課 会議室、教育研修課、教育研修課

岐阜県総合教育センター駐車場



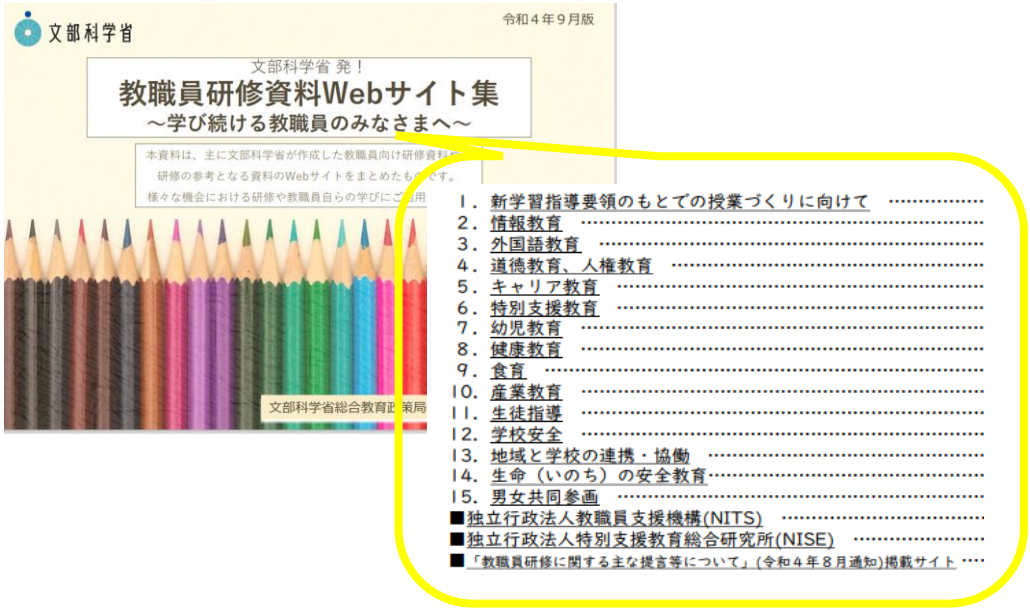
臨時駐車場

臨時駐車場

- ■ 使用できる駐車場が限られています。できる限り乗り合わせて参加してください。
- ■ 駐車禁止スペースは使用しないでください。
- ■ 混雑時は、臨時駐車場(OKBふれあい第13)や他の駐車場を案内することがあります。 ※ 徒歩約15分かかります。
- ■ 近隣の住宅付近では前向き駐車が必要か看板で確認してください。
- ■ その他の駐車場が割り当てられることもあります。開催要項で確認してください。

○独立行政法人教職員支援機構（NITS）
・校内研修シリーズ
・校内研修シリーズ（テーマ別） 他

○教職員研修資料Webサイト集（文部科学省）



○著作権に関する教材、資料等
（文化庁ホームページ・学校における教育活動と著作権）
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/pdf/92916001_01.pdf

※岐阜県教育委員会各課のホームページにも、研修に役立つ資料がありますので、活用してください。

G 12 「新たな教師の学び」に向けて　【参考資料】

○ 「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律（令和4年法律第40号）」により、教育委員会による教師の研修履歴の記録の作成と当該履歴を活用した資質向上に関する指導助言等の仕組みが、令和5年4月1日から施行されている。他方、中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会で取りまとめられた「『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて　審議まとめ」（令和3年11月15日）においては、「新たな教師の学びの姿」が求められている。

○ この**「新たな教師の学びの姿」**として求められているのは、**一人一人の教師が、自らの専門職性を高めていく営みであると自覚しながら、誇りをもって主体的に研修に打ち込むこと**であり、その鍵である教師の個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた「主体的・対話的で深い学び」の実現は、児童生徒等の学びのロールモデルとなることにもつながる。

○ こうした動きの中、本県では、文部科学省により策定された「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励のガイドライン」（令和4年8月）を受け、令和4年12月26日付け教研第187号にて**「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励について【岐阜県教育委員会版】」**（下記参照）を通知した。本通知は、**本制度改正に関する基本的考え方**を示した教育公務員特例法第22条の2第1項の指針に基づき、岐阜県としての**その具体的な内容や手続等の運用について**、主に任命権者が県教育委員会である教師を対象とした、研修履歴を活用して行う、教育公務員特例法第22条の6第2項に規定する**資質の向上に関する指導助言等の考え方**を示したものである。

○ また、教育公務員特例法第22条の4第2項として、任命権者が策定する教員研修計画には「資質の向上に関する指導助言等の方法に関して必要な事項」を定めることとされた。このことを受けて、「岐阜県『教員のキャリアステージ』における資質の向上に関する**指標**」及び**「第4次岐阜県教育振興基本計画」を踏まえ**、当該教職員の研修について、**体系的かつ効果的に実施するための計画**として定めていた教員研修計画に、この度、**資質の向上に関する指導助言等の方法**に関して必要な事項についても明確にし、**「教職員研修計画2024」**に定めた。本計画が「新たな教師の学びの姿」の実現につながる一助となることを願う。

○ なお、**広く教師の資質向上のための取組を「研修等」**とし、また、**このような資質向上のための取組の記録を「研修履歴」**、さらに、**資質向上に関する指導助言等を「対話に基づく受講奨励」**と表記する。

＊「新たな教師の学びの姿の実現のための研修推進体制～校内での学び合いの活性化に向けて～【小・中・義】【高・特】（イメージ）」参照

「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励について【岐阜県教育委員会版】」の概要

1 基本的考え方

研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の基本的考え方は、教師と学校管理職とが、研修履歴を活用して**対話を繰り返す中で、教師が自らの研修ニーズと、自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえながら、必要な学びを主体的に行っていくこと**にある。このため、研修履歴を記録・管理すること自体を目的化しない意識を十分にもち、指標や教員研修計画ともあいまって、適切な現状把握を主体的・自律的な目標設定の下で、新たな学びに向かうための「手段」として研修履歴を活用することが重要である。

2 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の内容・方法等

（1） 対象となる教師の範囲

① 法律上の対象範囲

○ 教育公務員特例法第22条の5の規定による研修履歴の記録及び同法第22条の6の規定による対話に基づく受講奨励の対象となる「公立の小学校等の校長及び教員」の範囲は、任命権者が県教育委員会である教師については、以下のとおりである。

ｉ）「公立の小学校等」とは、公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校である。

ⅱ)「校長及び教員」とは、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭及び講師(教育公務員特例法施行令第2条に規定する臨時的に任用された者等を除く。)である。

② その他の教師の扱い

○ 助教諭、養護助教諭及び講師(臨時的任用教員等)は、法律に基づく研修履歴の記録及び対話に基づく受講奨励の対象ではないが、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならないことに変わりないことから、研修の受講を奨励する。

○ 栄養職員、実習助手(実習教諭)及び寄宿舎指導員は、法律に基づく研修履歴の記録及び対話に基づく受講奨励の対象ではないが、直接的に児童生徒に指導する立場であり、資質の向上に努めなければならないことに変わりないことから、研修の受講を奨励する。

(2) 研修履歴の記録の目的

○ 研修履歴の記録は、対話に基づく受講奨励の際に活用することにより、**教師が自らの学びを振り返る**とともに、**学校管理職等が研修等の奨励を含む適切な指導助言を行うことにより、効果的かつ主体的な資質向上・能力開発に資すること**を目的としている。

(3) 研修履歴の記録の範囲

① 法律上の必須記録研修等

ⅰ) 研修実施者が実施する研修

ⅱ) 大学院修学休業により履修した大学院の課程等

ⅲ) 任命権者が開設した免許法認定講習及び認定通信教育による単位の修得

② その他任命権者が必要と認める研修等

ⅰ) 職務研修として行われる市町村(組合)教育委員会等が実施する研修等

ⅱ) 派遣研修等

※ ①ⅰ)のうち、県教育委員会が実施する研修とは、主に教員研修計画等に位置付けられるような教員の資質向上を目的とするもの、②ⅱ)とは、独立行政法人教職員支援機構、同法人国立特別支援教育総合研究所及び文化庁への派遣研修、岐阜県教育委員会主催の派遣研修を指す。

○ 改正教育公務員特例法の施行日(R5.4.1)以降に行われた研修を、原則として対象とする。

※ 研修実施者とは、岐阜市の県費負担教職員は岐阜市教育委員会、それ以外の教職員は岐阜県教育委員会を指す。

(4) 研修履歴の記録の内容

○ 原則として、研修名、主催者、受講年度及び所属名(受講時)とする。

(5) 研修履歴の記録の方法・時期

○ 研修履歴の記録は、基本的には、県教育委員会が運用する岐阜県教員研修申込システム(以下「システム」という。)にて行う。

○ (3)①ⅰ)に関する研修履歴については、通常の研修申込を行い、受講した後、研修実施者が修了認定をすることで、システムに記録される。(3)①ⅱ) ⅲ) ②ⅱ)の研修履歴については、県教育委員会により、システムに記録される。(3)②ⅰ)の研修履歴については、当該市町村(組合)教育委員会による方法で収集し、県教育委員会により、システムに記録される。なお、各研修履歴の記録は、研修を受講した年度内に完了する。

(6) 研修履歴の記録の提供・閲覧

○ 県教育委員会は、教師と学校管理職が行う対話に基づく受講奨励において活用するために、研修履歴の記録を当該教師及び学校管理職に提供する。また、当該記録については、常時閲覧することができる。服務監督権者である市町村(組合)教育委員会も、所管する学校の教師の当該記録について、常時閲覧可。

(7) 対話に基づく受講奨励の方法・時期

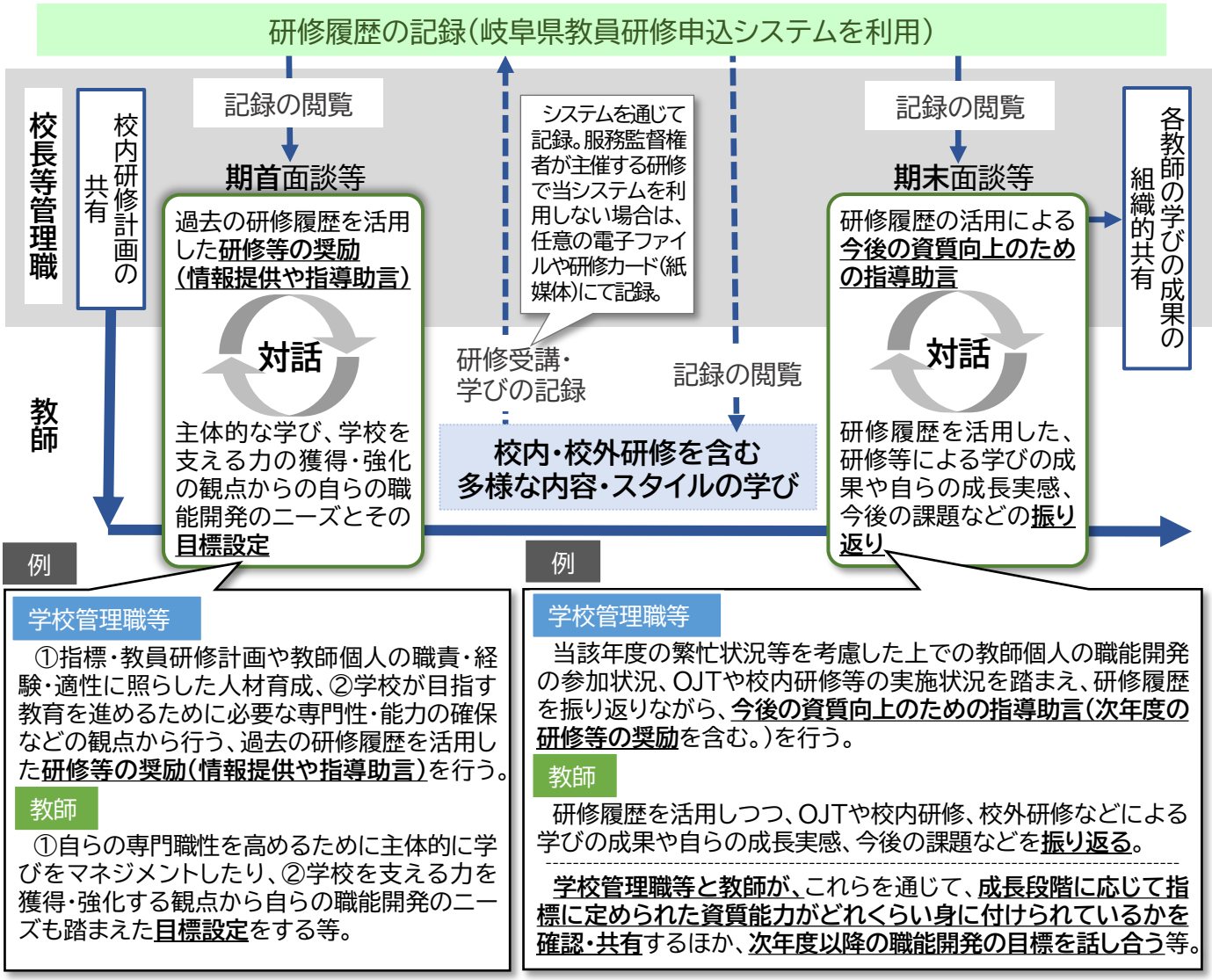
○ **対話に基づく受講奨励は、基本的に学校管理職が実施**する。

※ 人事評価制度との趣旨の違いに留意しつつ、例えば、期首面談や期末面談の機会を活用する。

＊「対話に基づく受講奨励の方法・時期(イメージ)」参照

対話に基づく受講奨励の方法・時期（イメージ）

※ 令和4年12月26日付け教研第187号通知内「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励と振り返りの流れ（イメージ）」より更新



※ 上記のほか、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励は、①教師の意欲や主体性の尊重、②学校組織としての総合的な機能の発揮、③教師個人の人材育成の観点などから、これらが調和した効果的な職能開発を行うためのプロセスであることから、定型的な面談のほか、**様々な機会を捉えて、対話に基づく受講奨励**を行う。

（8） 学校管理職以外の教師による対話に基づく受講奨励

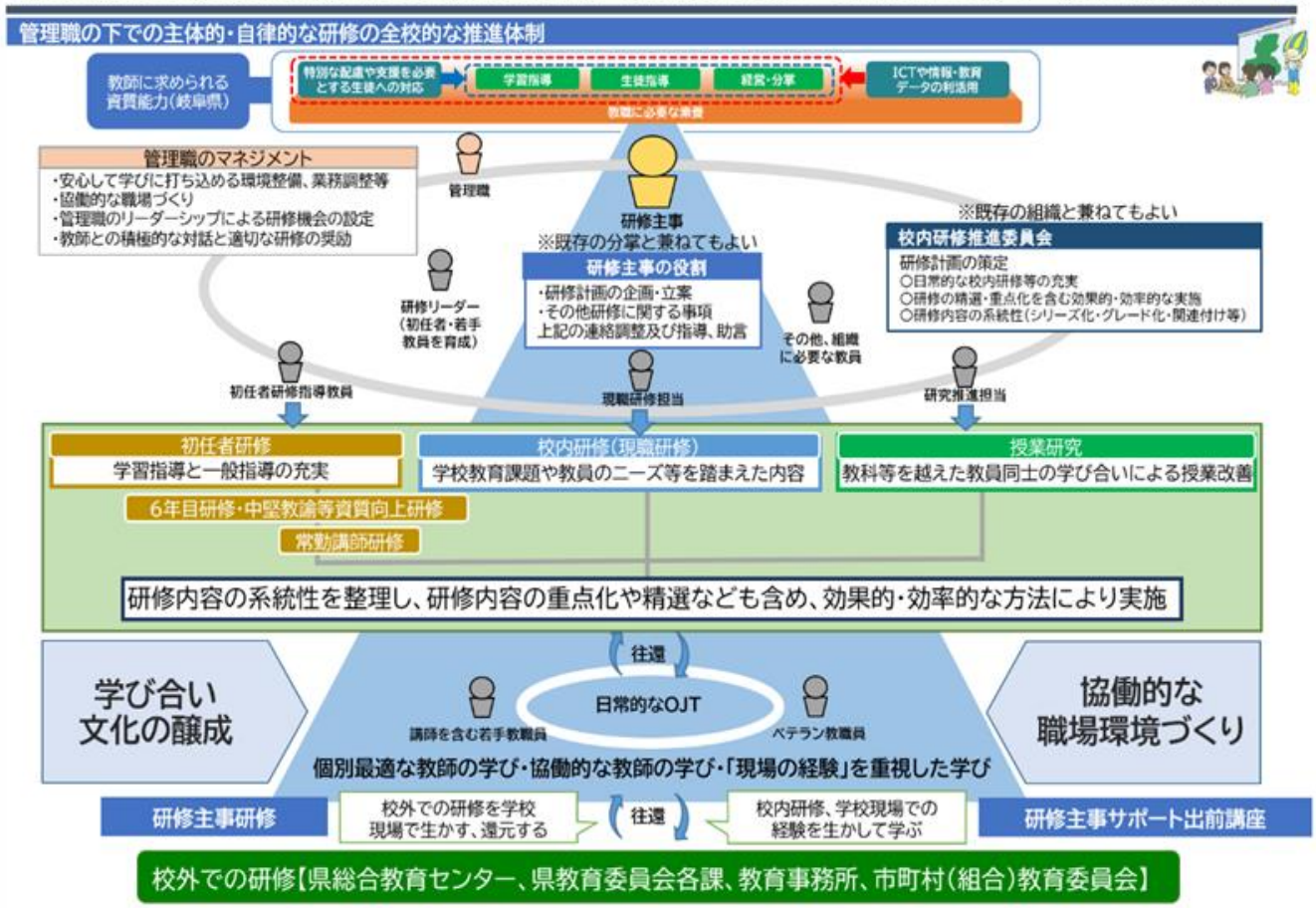
（様々な主体・機会による対話に基づく受講奨励）

○ 教師同士の学び合い文化を醸成する観点から、法律の規定とは直接関係なく、必ずしも研修履歴を活用することを前提としないが、例えばミドルリーダーやメンターなど**学校管理職以外の教師の協力を得て、当該教師を通じて、対話に基づく受講奨励を行う**ことも考えられる。その際、メンターチームを活用した**日常的な短い会話の機会や学年会など各学校等に適した様々な機会を活用**することが考えられる。

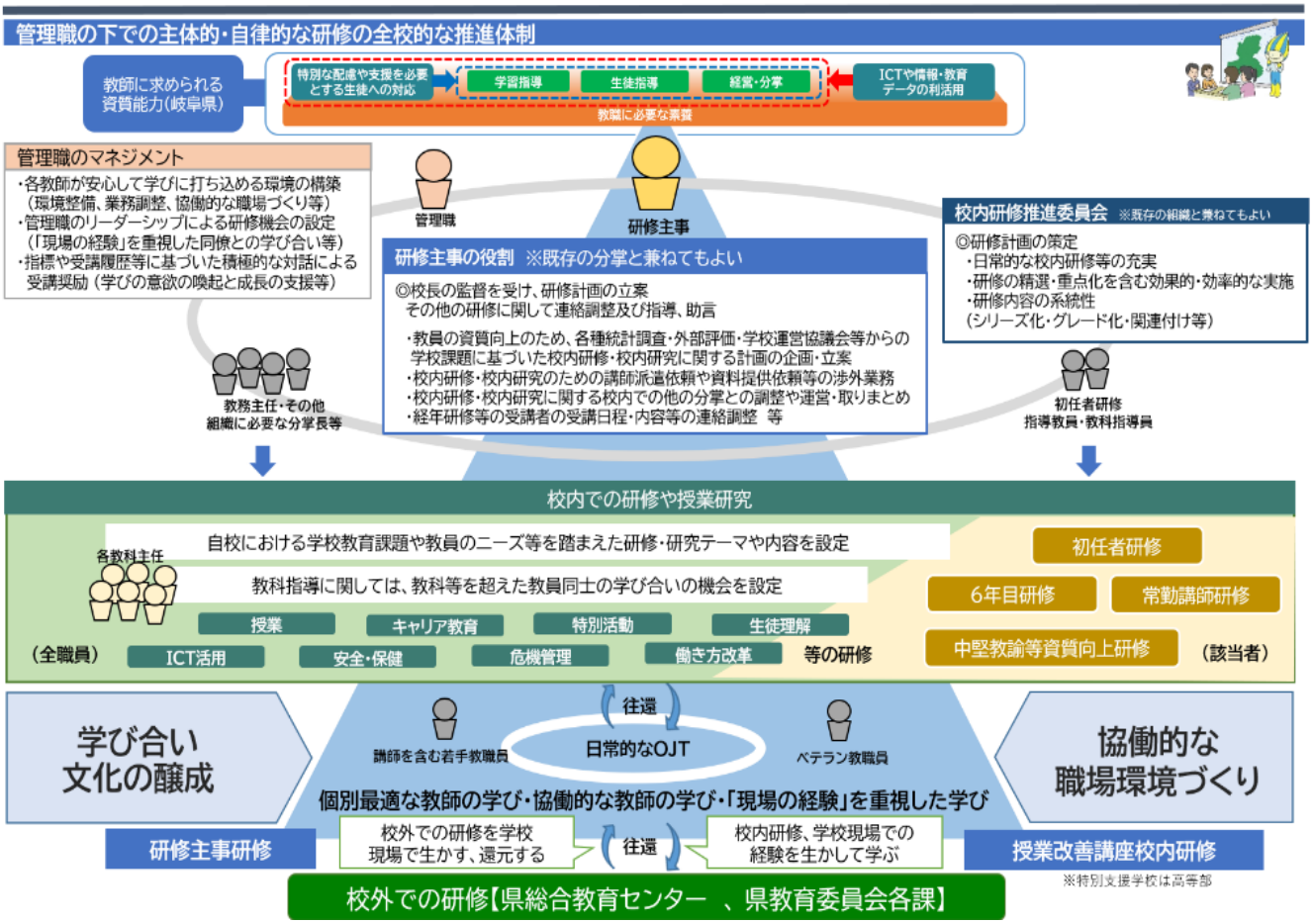
3 その他の留意事項

○ 任命権者が市町村教育委員会である学校・園及び幼保連携型認定こども園の教師についても、教育公務員特例法第22条の5の規定による研修履歴の記録及び同法第22条の6の規定による対話に基づく受講奨励の対象であり、その場合、市町村教育委員会が実施する研修は、任命権者が市町村教育委員会であることから、必須記録研修等と整理されること。市町村立幼保連携型認定こども園の保育教諭等についても、任命権者が市町村の長であることから、同様に整理されること。

新たな教師の学びの姿の実現のための研修推進体制～校内での学び合いの活性化に向けて～【小中義務】（イメージ）



新たな教師の学びの姿の実現のための研修推進体制～校内での学び合いの活性化に向けて～【高特】（イメージ）



「わたしの教員研修計画2025」

※自由に活用してください。

自分の強み

例：「生徒指導」「教科指導」による経験
※「指標」参考

自分の弱み

例：「特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応」
※「指標」参考

今後伸ばすべき力は？　学校で果たすべき役割は？　必要な学びは？

例：教育相談担当として特別な配慮や支援を必要とする生徒を理解し、指導の手立てについて考えたい。

自分が目指す教師になるために！

今年度受講したい研修

例：240101 ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり

-
-
-
-

今年度の振り返り

岐阜県教育委員会教育研修課
（岐阜県総合教育センター内）
〒500-8384 岐阜市薮田南 5-9-1
TEL： 058-271-3450
FAX： 058-276-6774
HP: https://www.gifu-net.ed.jp/ggec/